留学生の現状調査
結果報告
2022年

留学生支援コンソーシアム大阪

調査期間：2021年12月7日　～　2022年1月15日

目次

I	**調査概要**	5
II	**回答者について**	8
	• 性別	9
	• 出身地	10
	• 通っている教育機関の種類	12
	• 回答者の学校名とその人数	17
	• 出身国・地域の最終学歴	18
	• 日本への滞在期間	21
	• 日本語能力試験の取得率	23
III	**留学生の悩みごとについて**	25
	• 留学生の悩みごと	27
	• 留学生が求めている支援	33
IV	**留学生の満足度について**	35
	• 留学生の満足度	36
	• コロナ対策に関する満足度	48

目次

V	**就職活動について**	51
	• 日本での就職意志	52
	• 希望する方向	55
	• 就職のステータス	58
	• 就職で困っていること	61
VI	**留学生支援コンソーシアム大阪の取り組みについて**	64
	• Studyinosaka.comの認知度	65
	• OGSAの認知度	67
	• OGSANの認知度	69
	• ネットワーキング及び交流に参加する意思	72
VII	**留学生の収支について**	76
	• 奨学金について	77
	• 仕送りについて	81
	• アルバイトについて	83
	• 家賃について	85
	• 学費について	87
	• 支出合計について	90
	• 留学斡旋業者への支出	92
VIII	**質問項目**	96

用語定義

用語	解説
OGSA:	公益財団　大阪観光局が事務局を務めている留学生支援コンソーシアム大阪のこと（略称：Osaka Global Student Support Association）。
OGSAN:	留学生支援コンソーシアム大阪が作った留学生のアンバサダーネットワークのこと（略称：Osaka Global Student Ambassador Network）。
留学生:	調査時点で日本に在留している外国人学生（留学生ビザ保持者）。オンラインで授業等に参加している学生は含まれない。
統計学的に有意な差:	有意水準（α）を0.05（5%）とする。

Ⅰ

調査概要

調査概要

コロナ禍のため、新規の留学生の入国ができず大阪にいる留学生数も2万人程度に減っています。自国に戻ることもできず日本に留まり学習している彼らには頭が下がります。

2020年4月に立ち上げた我々「留学支援コンソーシアム大阪」では、アジアNO．1の留学生都市を目指し、オール大阪で留学生の支援を行うことにし、今年度は留学生ウィーク（YOLOフェス、イングリッシュキャンプ、ENMUSUBIインターンシップ発表会、Future Design、国際紅白歌合戦など）や外国人留学生エキスポなど様々なイベントを実施しました。それらでは高い満足度を得ています。また、留学生組織OGSANも立ち上げ、200名以上のアンバサダーとは直接やり取りができるようになり、彼らの生の声を聞くこともできるようになりました。そんな彼らの声と昨年の現状調査を踏まえて、今年は彼らの困りごと、就労、収入や支出など深掘りしたアンケート内容にしました。
留学生から高い満足度を得ることが「留学生支援コンソーシアム大阪」の目的でもあります。アンケートの分析から留学生は何に困り、何を求めて いるのかなどが浮き彫りにし、その解決策を講じることで留学生が生活しやすく、そして就職したくなる満足度の高い留学生都市に一歩でも近づきます。

今回のオンラインでのアンケートを実施に際しては、大学コンソーシアム大阪、南大阪地域大学コンソーシアム、大阪府 専修学校各種学校連合会（大専各）に甚大なご協力いただきました。この場をお借りして深謝いたします。

調査概要

概要

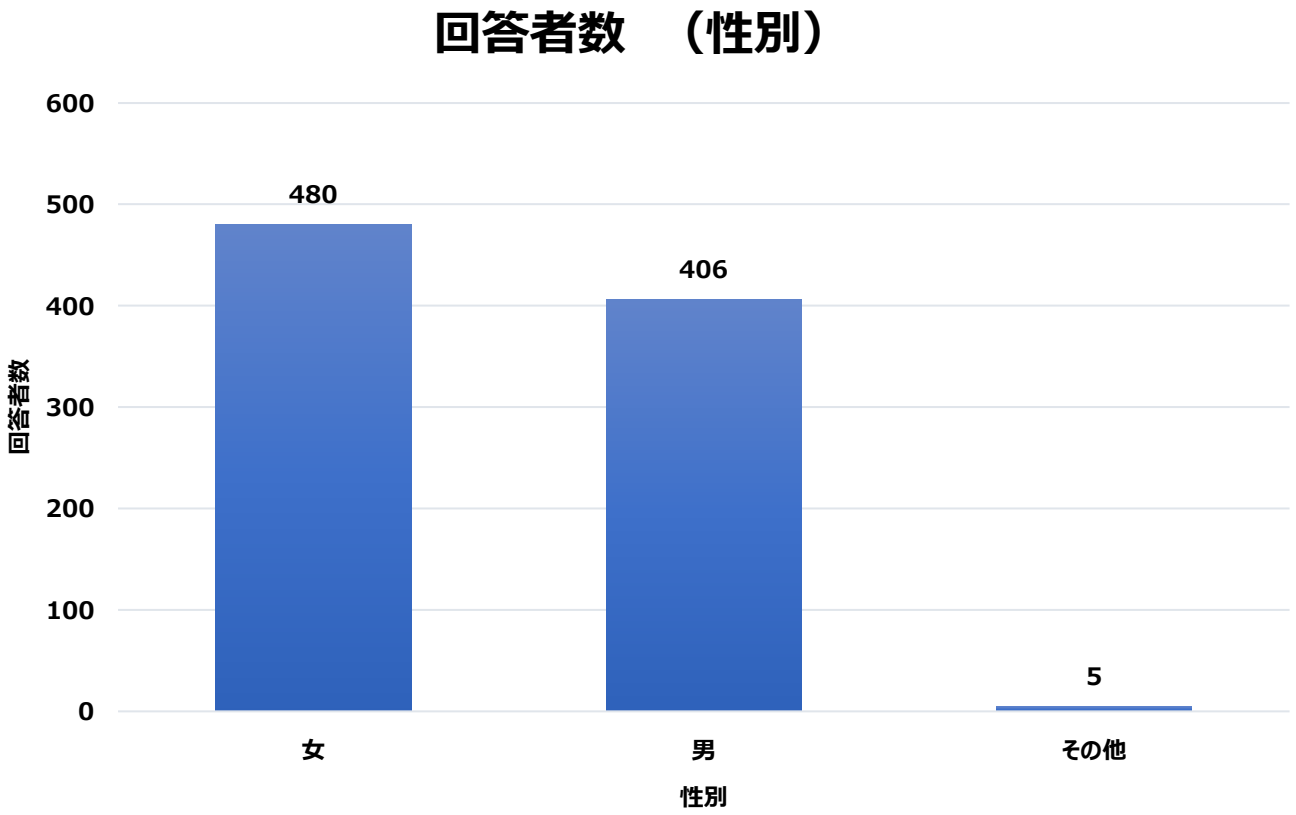
調査期間：	2021年12月7日～2022年1月15日
合計回答件数：	966件
内有効回答者数：	891人※
協力した教育機関の数：	97校
調査の方法：	オンラインアンケート調査
媒体：	リアルタイム評価支援システム (REAS) https://reas3.ouj.ac.jp/
言語対応：	日本語、英語
質問の種類：	選択問題、自由に記入できる問題
質問数：	33問
対象者：	大学、大学院、専門学校、日本語学校に所属している外国人留学生
協力者：	大学コンソーシアム大阪、南大阪地域大学コンソーシアム、大阪府専修学校各種学校連合会（大専各）、各協力団体、各教育機関

【注】
※有効回答者数とは下記の件数を除いた回答者の数である
- 複数回アンケートを送信した方
- 名前及びメールアドレスのみを記入した方

II

回答者について

性別

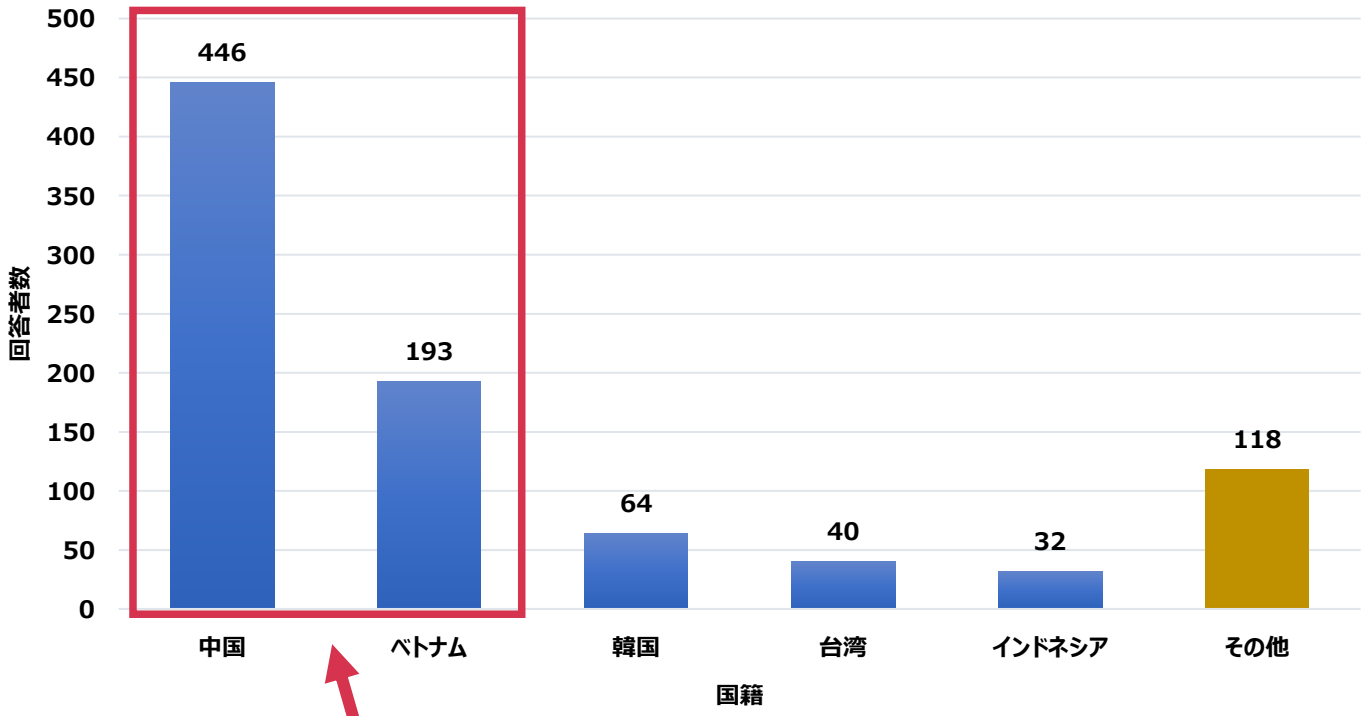


N = 891

性別	回答者数	割合
女	480	54%
男	406	46%
その他	5	1%

出身地

回答者数　（国別）



N = 891

トップ10

	国・地域	回答者	割合
1	中国	446	50%
2	ベトナム	193	22%
3	韓国	64	7%
4	台湾	40	4%
5	インドネシア	32	4%
6	ネパール	19	2%
7	香港	17	2%
8	ミャンマー	12	1%
9	マレーシア	11	1%
10	スリランカ	8	1%

回答者は約**30ヶ国**の人々

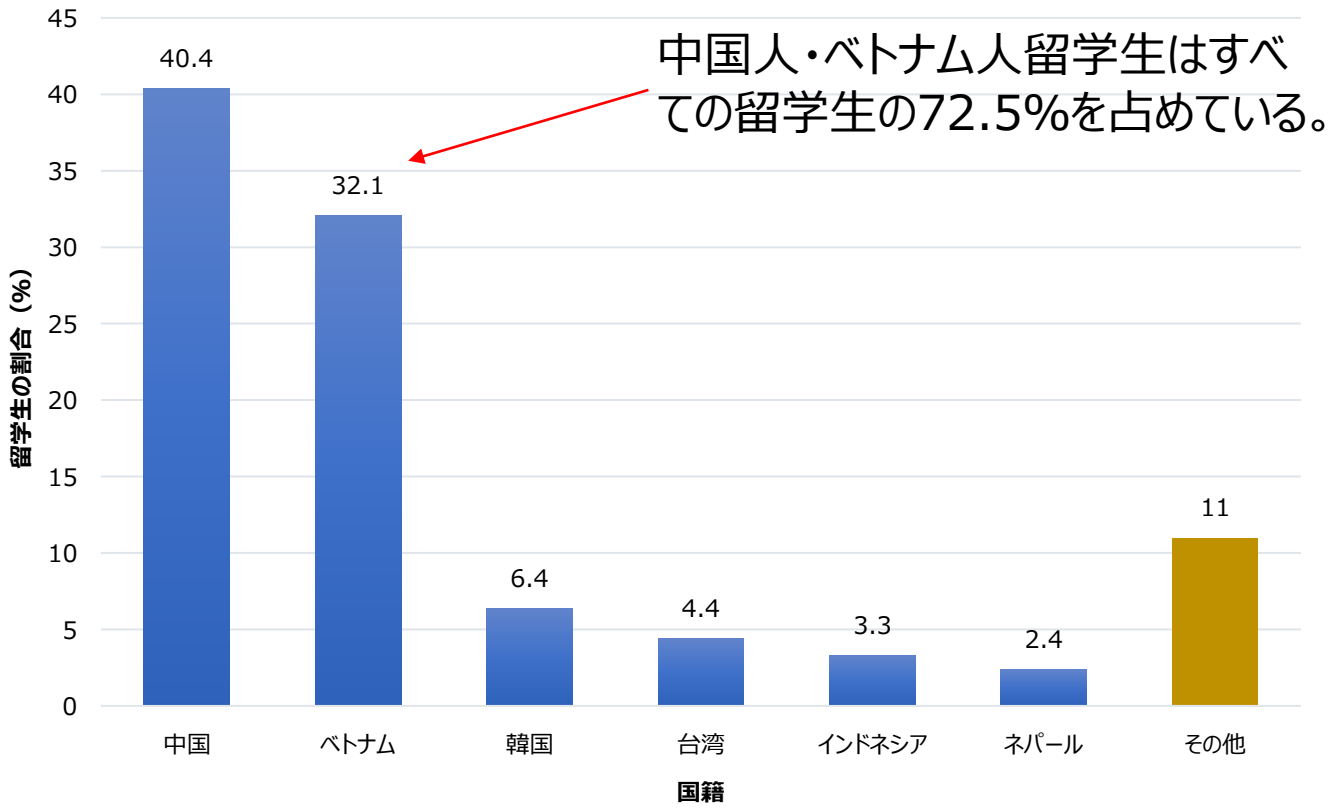
中国人・ベトナム人の留学生は回答者の**72%**を占めている。これは大阪の現状に近い割合である。（次頁参照）

付属①：大阪の留学生数（国籍別）2019年

順位	国と地域	留学生数	割合
1	中国	9,843	40.4%
2	ベトナム	7,811	32.1%
3	韓国	1,571	6.4%
4	台湾	1,076	4.4%
5	インドネシア	815	3.3%
6	ネパール	586	2.4%
7	フィリピン	369	1.5%
8	アメリカ合衆国	263	1.1%
9	タイ	221	0.9%
10	ミャンマー	211	0.9%
11	マレーシア	143	0.6%
12	フランス	105	0.4%
13	スリランカ	101	0.4%
14	インド	93	0.4%
15	バングラデシュ	93	0.4%
16	シンガポール	88	0.4%
17	モンゴル	73	0.3%
18	ロシア	57	0.2%
19	ウズベキスタン	55	0.2%
20	ドイツ	47	0.2%

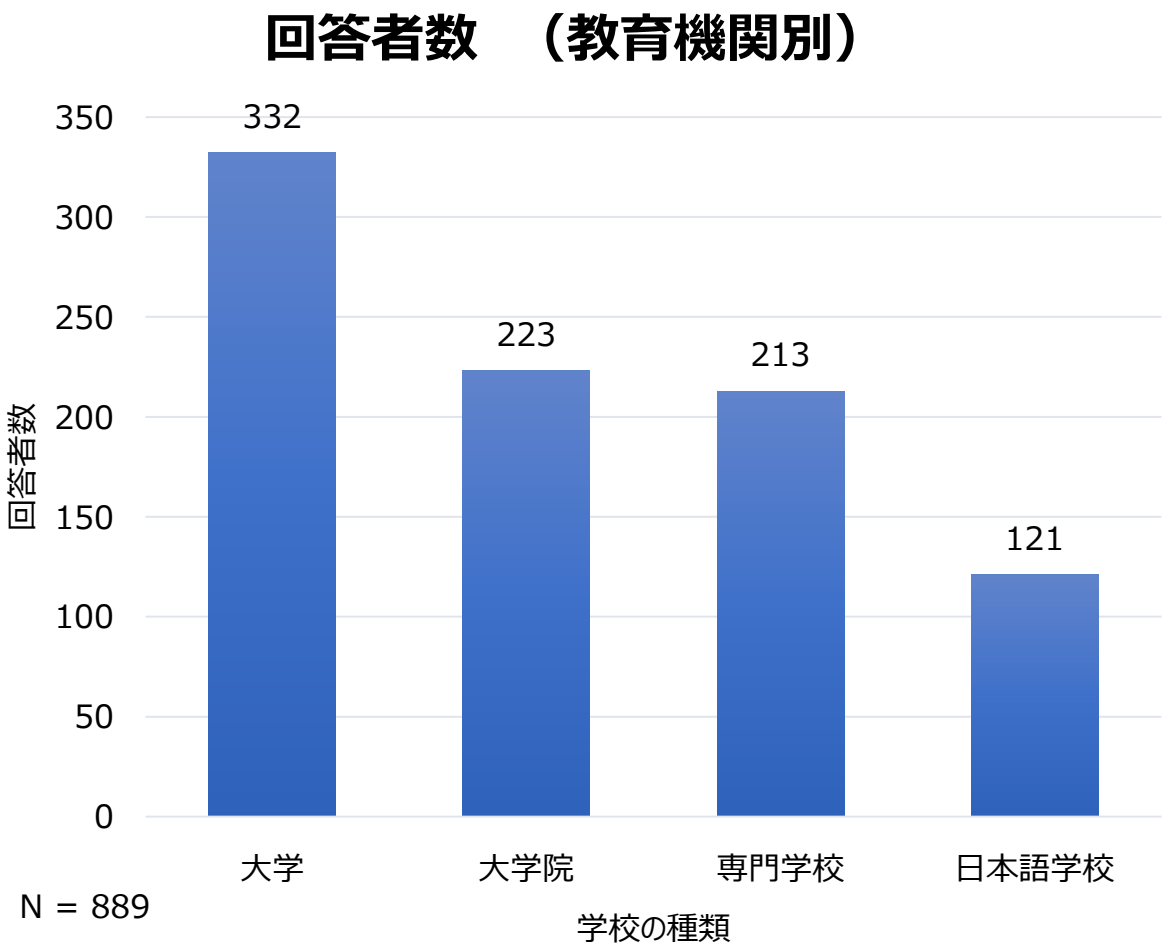
72.5%

留学生の国別の割合



出典：　令和元年度　大阪府内留学生数等について：
http://www.pref.osaka.lg.jp/attach/5408/00000000/2019ryugakuseisutou.pdf

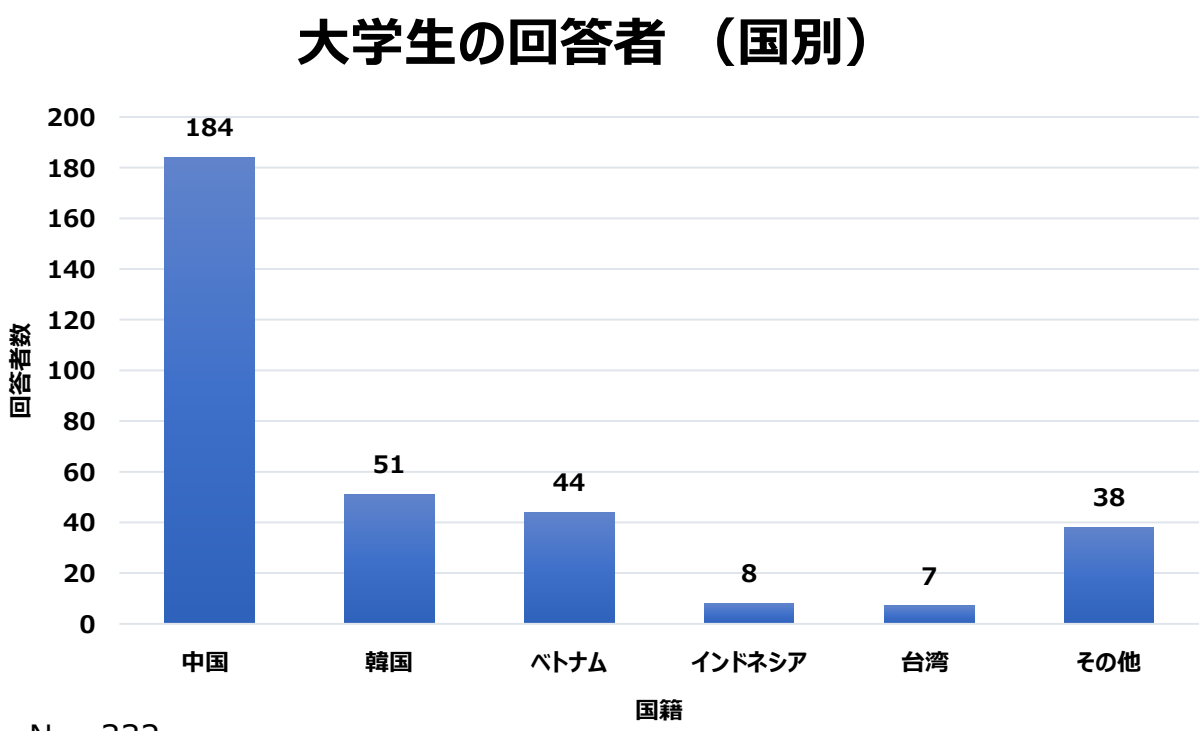
通っている教育機関の種類



学校の種類

	校種	回答者	割合
1	大学	332	37%
2	大学院	223	25%
3	専門学校	213	24%
4	日本語学校	121	14%

大学生回答者の国別割合

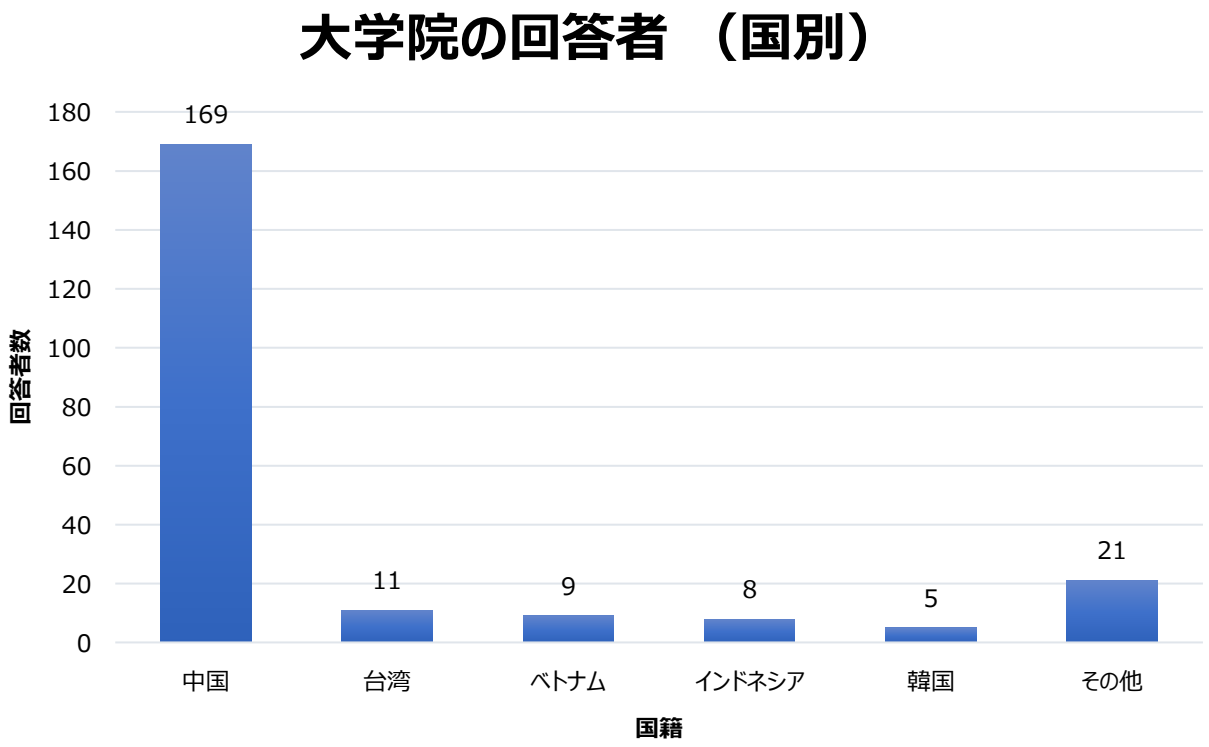


N = 332

トップ10

	国・地域	回答者	割合
1	中国	184	55%
2	韓国	51	15%
3	ベトナム	44	13%
4	インドネシア	8	2%
5	台湾	7	2%
6	香港	6	2%
7	ネパール	5	2%
8	マレーシア	5	2%
9	バングラデシュ	4	1%
10	インド	3	1%

大学院生回答者の国別割合

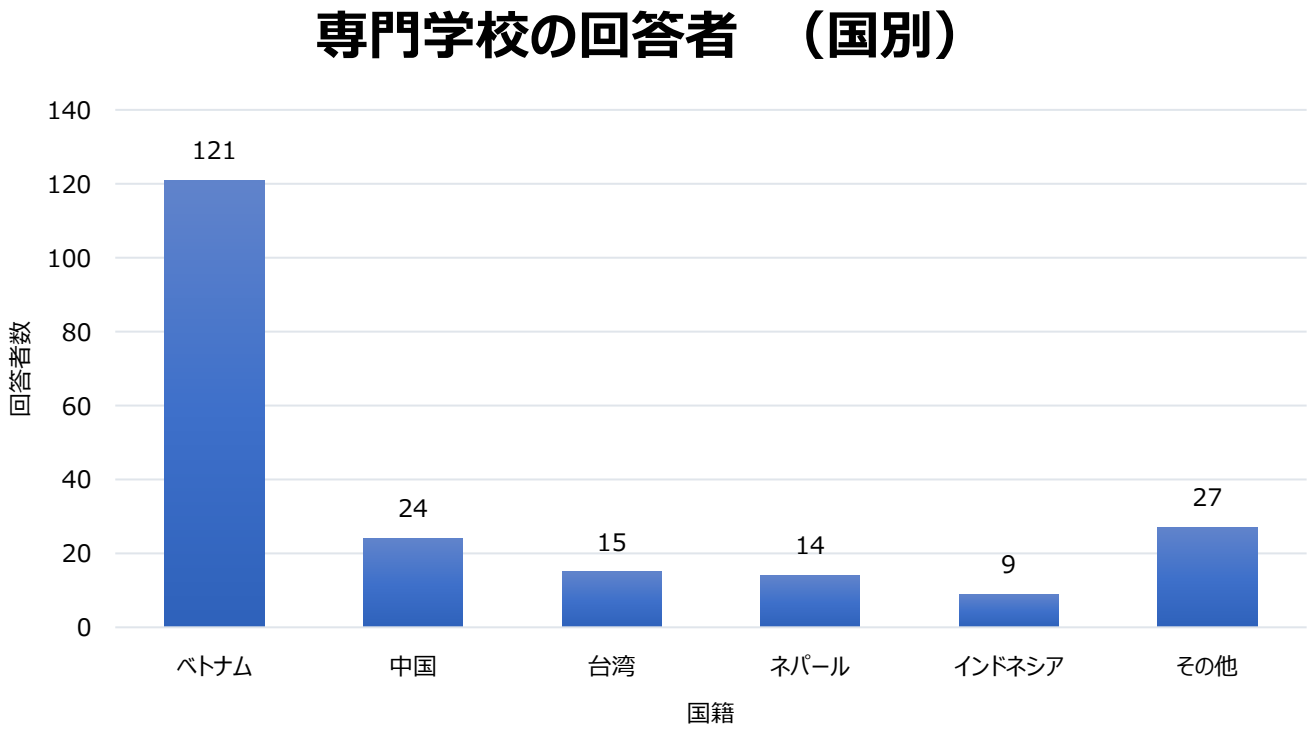


N = 223

トップ10

	国・地域	回答者	割合
1	中国	169	76%
2	台湾	11	5%
3	ベトナム	9	4%
4	インドネシア	8	4%
5	韓国	5	2%
6	マレーシア	4	2%
7	その他　（アジア）	3	1%
8	その他　（南アメリカ）	2	1%
9	フィリピン	2	1%
10	エジプト	1	0%

専門学校生回答者の国別割合



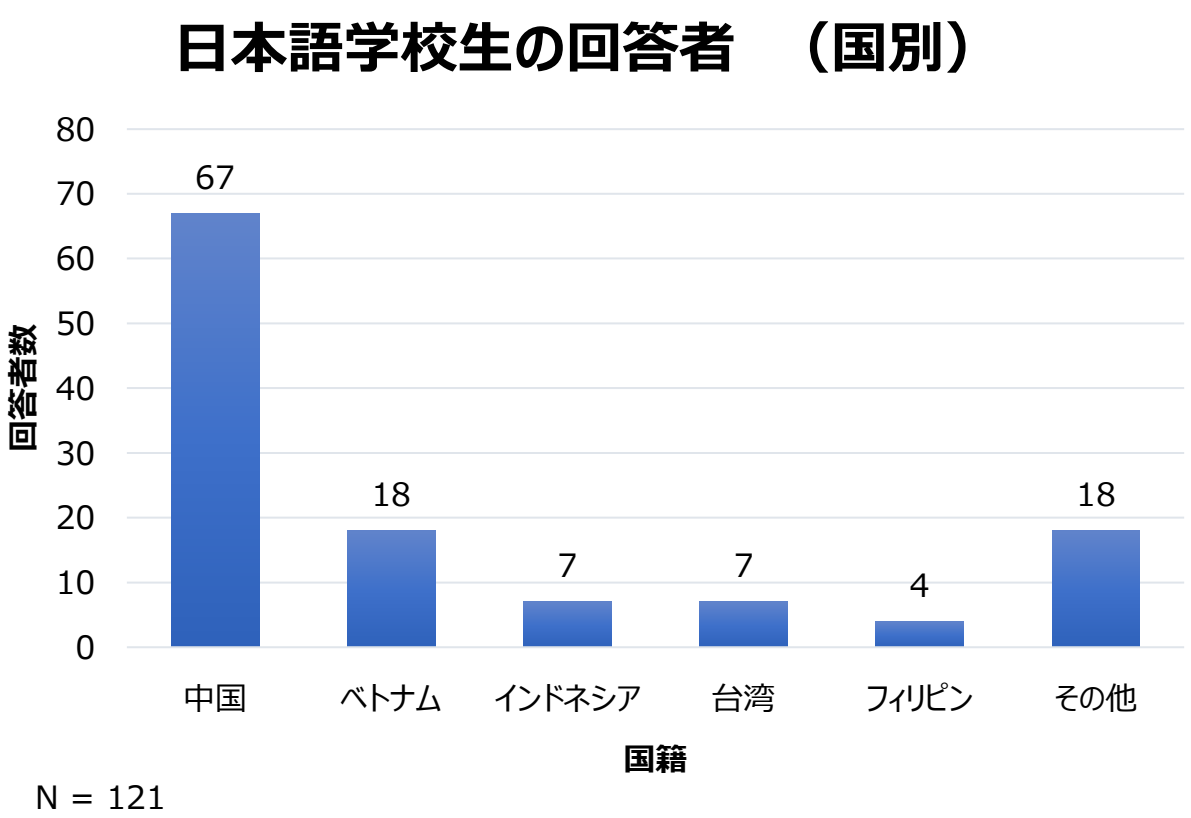
N = 213

トップ10

	国・地域	回答者	割合
1	ベトナム	121	57%
2	中国	24	11%
3	台湾	15	7%
4	ネパール	14	7%
5	インドネシア	9	4%
6	韓国	7	3%
7	ミャンマー	6	3%
8	香港	6	3%
9	スリランカ	3	1%
10	その他　（アジア）	3	1%

- 大学、大学院、日本語学校は回答者の多くが中国人なのに対して、**専門学校ではベトナム人が圧倒的に多い**。
  従って、学校の種類別の回答を見る時、国別の特徴もその回答に影響があることに注意すべきである。

日本語学校生回答者の国別割合



N = 121

トップ10

	国・地域	回答者	割合
1	中国	67	55%
2	ベトナム	18	15%
3	インドネシア	7	6%
4	台湾	7	6%
5	フィリピン	4	3%
6	ミャンマー	4	3%
7	香港	4	3%
8	パキスタン	2	2%
9	アメリカ合衆国	1	1%
10	インド	1	1%

回答者の学校とその人数

大学	関西大学	67
大学	大阪教育大学	36
大学	近畿大学	34
大学	大阪大学	29
大学	大阪産業大学	17
大学	同志社大学	15
大学	追手門学院大学	14
大学	大阪芸術大学	12
大学	大阪女学院大学	12
大学	東大阪大学短期大学部	11
大学	東大阪大学	8
大学	大阪経済大学	7
大学	大阪国際大学	7
大学	大阪府立大学	6
大学	大阪成蹊大学	5
大学	羽衣国際大学	5
大学	関西学院大学	5
大学	相愛大学	4
大学	立命館大学	4
大学	大阪樟蔭女子大学	3

大学	京都大学	2
大学	阪南大学	2
大学	鹿屋体育大学	2
大学	大阪学院大学	2
大学	大阪観光大学	2
大学	大阪市立大学	2
大学	大阪女学院大学短期大学	2
大学	摂南大学	1
大学	ノートルダム女子大学	1
大学	兵庫県立大学	1
大学	高野山大学	1
大学	静岡大学	1
大学	摂南大学	1
大学	大阪成蹊短期大学	1
大学	和歌山大学	1

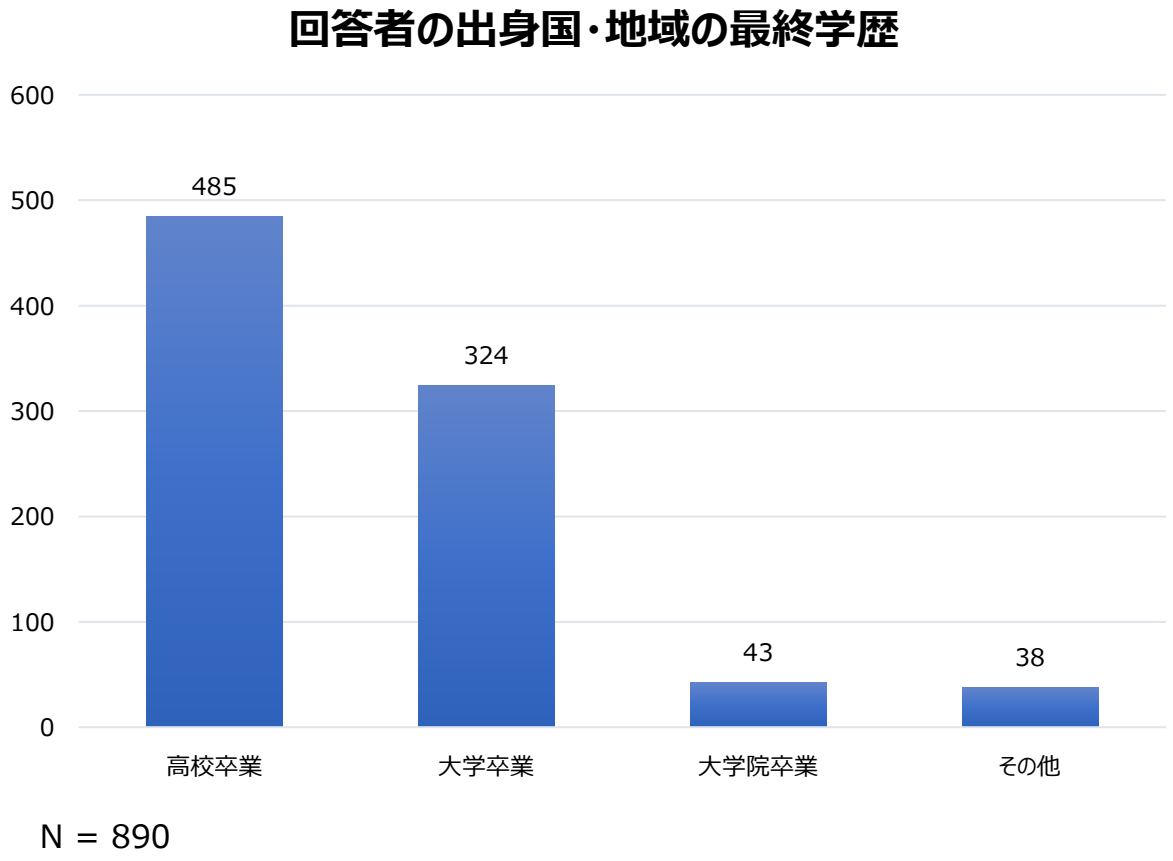
大学院	関西大学	75
大学院	大阪大学	65
大学院	大阪教育大学	14
大学院	大阪府立大学	14
大学院	大阪経済大学	10
大学院	近畿大学	8
大学院	大阪市立大学	6
大学院	大阪芸術大学	5
大学院	大阪体育大学	2
大学院	立命館大学	2
大学院	和歌山大学	2
大学院	神戸市外国語大学	1
大学院	三重大学	1
大学院	京都情報大学院大学	1
大学院	京都府立医科医科大学	1
大学院	嵯峨美術大学院	1
大学院	大阪医科薬科大学	1
大学院	大阪産業大学	1
大学院	大阪女学院大学	1
大学院	大阪電気通信大学	1
大学院	奈良女子大学	1
大学院	奈良先端科学技術大学院大学	1
大学院	兵庫県立大学	1
大学院	鳴門教育大学	1

専門学校	中央工学校OSAKA	64
専門学校	駿台観光&外語ビジネス専門学校	35
専門学校	大阪YMCA国際専門学校	25
専門学校	関西外国専門学校	19
専門学校	清風工科情報学院	15
専門学校	エール学園	13
専門学校	大阪ホテル専門学科	8
専門学校	辻学園	6
専門学校	上田安子服飾専門学校	4
専門学校	大阪観光専門学校	3
専門学校	大阪キャリナリー製菓調理専門学校	2
専門学校	大阪バイオメディアカル専門学校	2
専門学校	ECCコンピュータ専門学校	1
専門学校	ＥＣＣ国際外語専門学校	1
専門学校	ホスピタリティツーリズム専門学校大阪	1
専門学校	関西経理専門学校	1
専門学校	関西社会福祉専門学校	1
専門学校	森ノ宮医療学園ウェルランゲージスクール	1
専門学校	大阪デザイナー専門学校	1
専門学校	大阪工業技術専門学校	1
専門学校	大阪調理製菓専門学校	1
専門学校	奈良コンピュータ専門学校	1

日本語学校	ヒューマンアカデミー日本語学校	52
日本語学校	清風工科情報学院	33
日本語学校	大阪文化国際学校	12
日本語学校	ＥＣＣ国際外語専門学校	5
日本語学校	関西大学　留学生別科	5
日本語学校	大阪YMCA国際専門学校	4
日本語学校	エール学園	2
日本語学校	ファーストスタディ日本語学校	2
日本語学校	京都ランゲージアカデミー京都中央	2
日本語学校	大阪YWCA専門学校	2
日本語学校	万和国際教育学院	2
日本語学校	BASIC日本語学院	1
日本語学校	JAC教育学院	1
日本語学校	JIN東京日本語学校大阪校	1
日本語学校	大阪バイオメディアカル専門学校	1

N = 871

出身国・地域の最終学歴



N = 890

	国・地域	回答者	割合
1	高校卒業	485	54%
2	大学卒業	324	36%
3	大学院卒業	43	5%
4	その他	38	4%

- ほとんどの回答者（54%）は母国にある高校を卒業した直後、日本に留学している。
- 母国で大学を卒業してから留学に来た人の約50%（161人）は大学院生である。

出身国・地域の最終学歴 （国別）

中国

	国・地域	回答者	割合
1	高校卒業	203	46%
2	大学卒業	202	45%
3	その他	22	5%
4	大学院卒業	19	4%

N = 446

ベトナム

	国・地域	回答者	割合
1	高校卒業	139	72%
2	大学卒業	38	20%
3	その他	9	5%
4	大学院卒業	6	3%

N = 193

韓国

	国・地域	回答者	割合
1	高校卒業	57	89%
2	大学卒業	4	6%
3	その他	2	3%
4	大学院卒業	1	2%

N = 64

- 中国人の場合、母国の大学を卒業してから留学に来た人が割合に多い理由は、中国人回答者に大学院生が占める割合が高いからである。

- 62%のベトナム人留学生回答者は専門学校に通っており、また大学院生が少ないので、母国の高校を卒業してからそのまま来日して、日本語学校を経た人が多いと思われる。

- 韓国の場合は高校での日本語教育も盛んであり、高校卒業後に日本の大学に入学することが多い。

出身国・地域の最終学歴　（校種別）

大学（332）

	国・地域	回答者	割合
1	高校卒業	259	78%
2	大学卒業	51	15%
3	その他	19	6%
4	大学院卒業	2	1%
5	(空白)	1	0%

専門学校（213）

	国・地域	回答者	割合
1	高校卒業	139	65%
2	大学卒業	58	27%
3	その他	9	4%
4	大学院卒業	5	2%
	(空白)	2	1%

大学院（223）

	国・地域	回答者	割合
1	大学卒業	161	72%
2	大学院卒業	35	16%
3	高校卒業	26	12%
4	その他	1	0%

日本語学校（121）

	国・地域	回答者	割合
1	高校卒業	57	47%
2	大学卒業	54	45%
3	その他	9	7%
4	大学院卒業	1	1%

N = 890

今後の課題

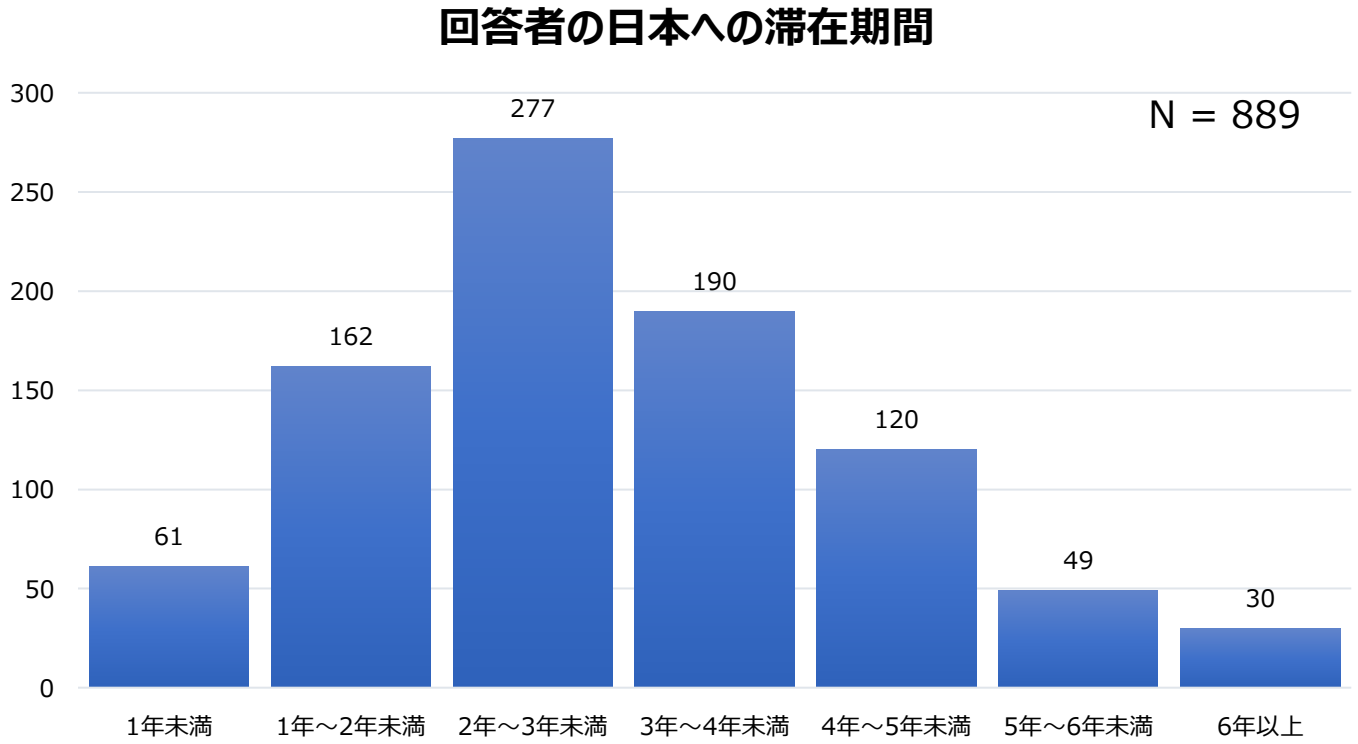
実際に留学生はどのような夢を持っているのか、またどのようなことを学校で学んでいるのかについてさらに調査することは重要である。労働人口が減少している中、留学生は日本で必要とされている分野を補うことに繋がるのか、また人材不足の分野に貢献することになるのかを調べた方が良い。

勉強している科目は日本社会が必要としている分野、また人材が不足している分野に貢献することになるのかの知見も求められる。

日本語学校に通っている人の半数もが大学卒業生である。日本語学校に通っている人は何を目的に日本に留学しているのかについてさらに調べた方が良い。進学や就職など最終的な目的は何かについて研究すれば良い。

日本への滞在期間

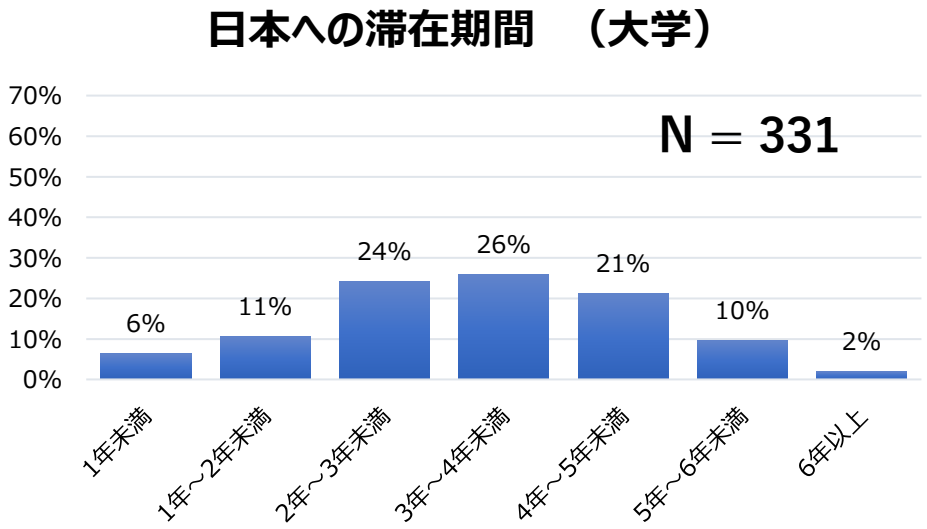
	滞在期間	回答者数	割合
1	1年未満	61	7%
2	1年～2年未満	162	18%
3	2年～3年未満	277	31%
4	3年～4年未満	190	21%
5	4年～5年未満	120	13%
6	5年～6年未満	49	6%
7	6年以上	30	3%

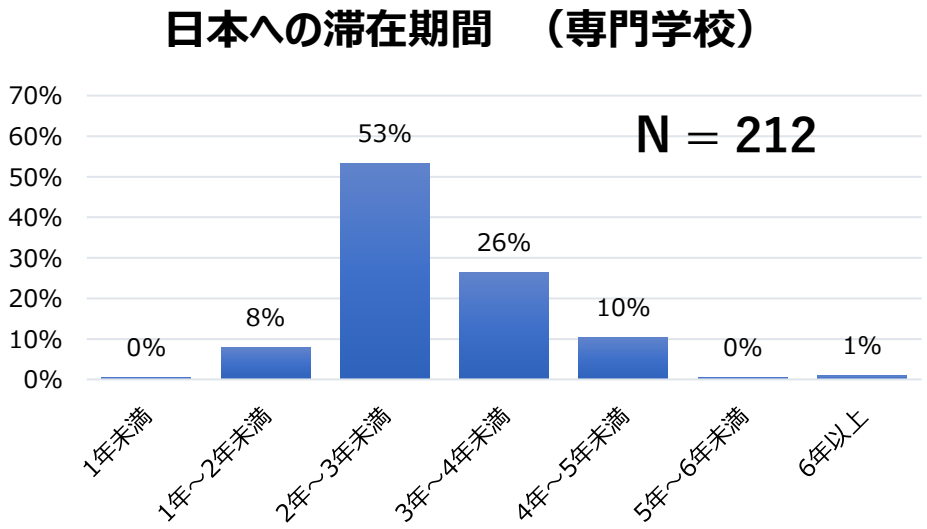


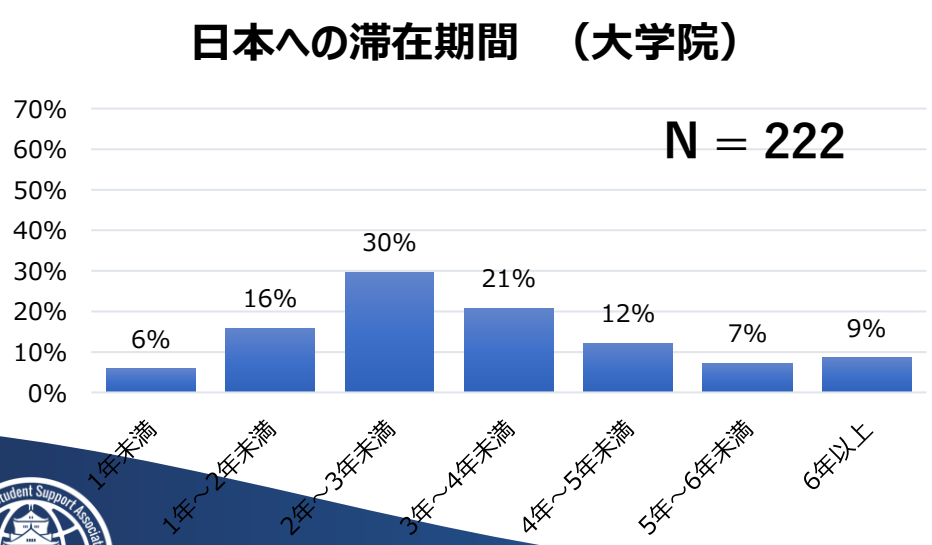
52%の回答者は2年～4年未満の滞在者である。1年未満と回答した人が少ないのはコロナウィルスの影響で対象者となる留学生が例年に比べて減少している可能性があるが、留学生支援コンソーシアム大阪が持っている留学生のメーリングリスト（その多くのメンバーは留学生の現状調査2021年で集めた）には1年未満の留学生が少ないだけの可能性もある。つまり、「1年生」という層には留学生支援コンソーシアム大阪(OGSA)がまださほど浸透していないと言える。大阪に来たばかりの留学生にどのようにリーチし、知ってもらえば良いのか考える必要がある。

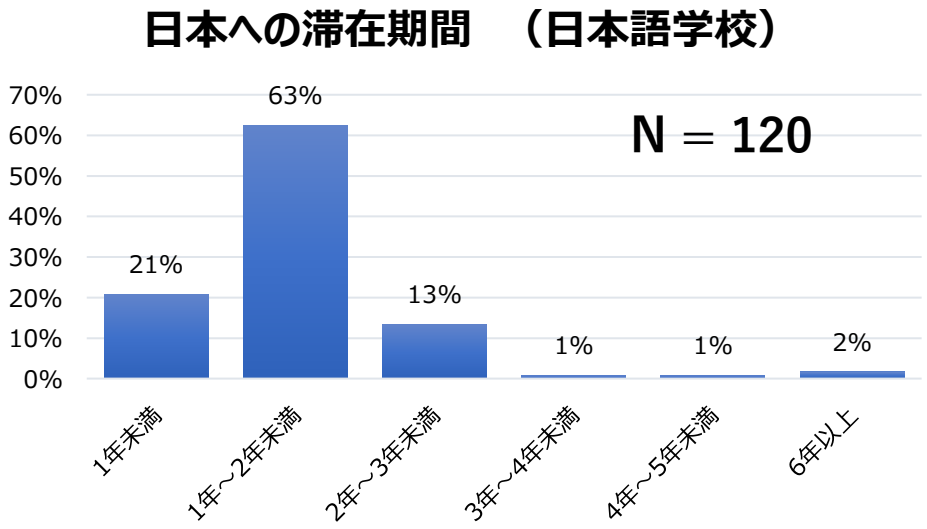
例えば、毎年の新しく来る留学生へのOGSAの紹介を各教育機関から配布してもらうこともその一つである。

日本への滞在期間 校種別









１年未満と回答した割合が校種によって大きく異なる。

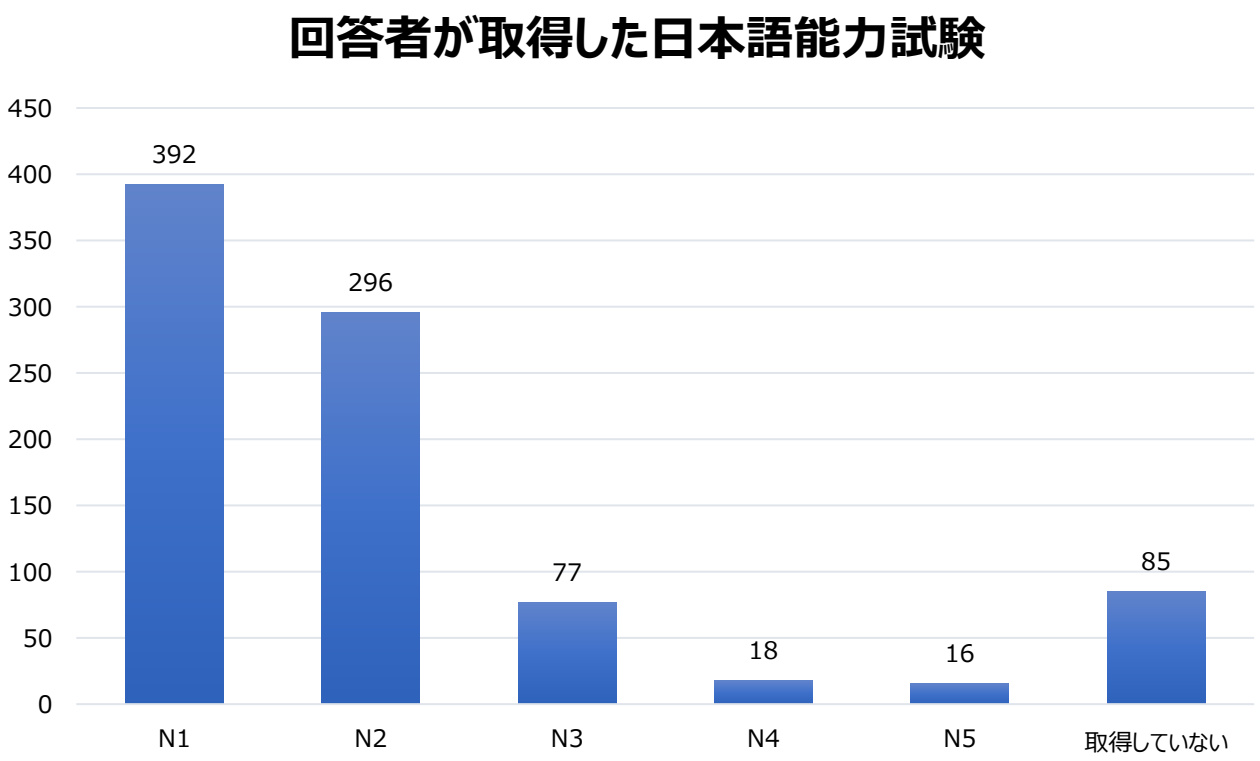
日本語学校では「1年生」が21%も存在する。彼らは、2020年の年末に一時期入国出来た留学生の可能性がある。そして、日本語学校では就学期間が2年未満がほとんどのため、2年目以降の滞在期間の割合が激減する。

専門学校の場合、日本語学校卒が多いので、1年未満の留学生がほとんどいないと考えられる。

大学・大学院では、少数の1年生が見られるのは、国費留学生かもしれない。

注意：
日本への滞在期間
≠　現在の教育機関での学年

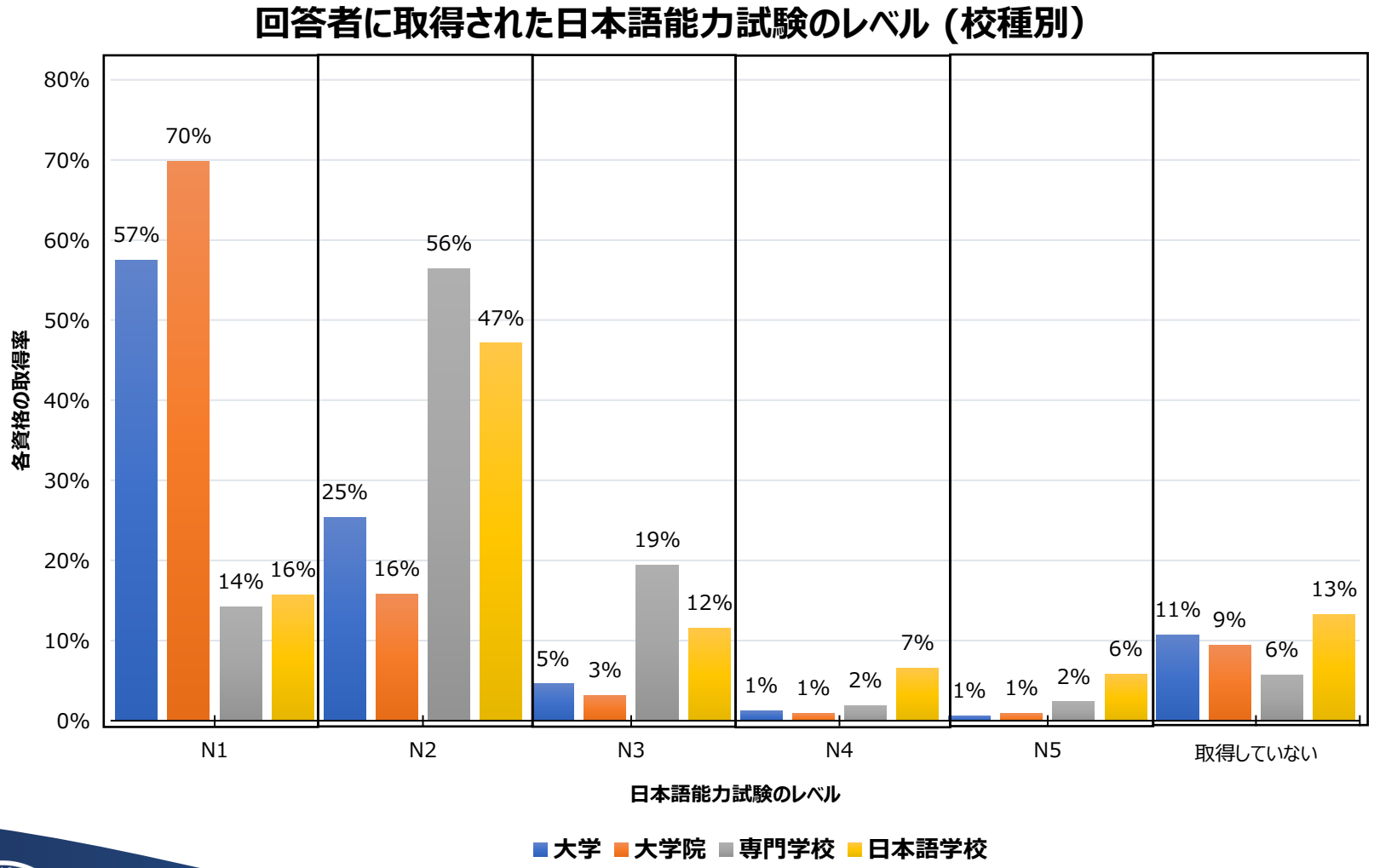
日本語能力試験の取得率



日本語能力試験のレベル	回答者数	割合
N1	392	44%
N2	296	33%
N3	77	9%
N4	18	2%
N5	16	2%
取得していない	85	10%

回答者の44%がN1取得者である。昨年の30%に比べて高くなったのは多くの留学生の日本滞在期間が長くなり、受験機会が増えた可能性もあるが、今回は大学院生や大学生が割合に高いことが要因かもしれない。

日本語能力試験の取得率　校種別



大学・大学院の留学生の大半（57%・70%）はN1を取得しているのに対して、専門学校に通っている留学生の半数強（56%）はN2を取得している。

大学に進学するのに、入学条件にN2以上が多いため、大学生の82%がN2以上である。

大学院に関しては、英語だけで授業を受けている留学生が多いとされている。しかし、今回、大学院生の取得者のほとんどがN1の取得者になっていることは、大学院回答者の76%が中国人であることに理由がある可能性が高い。

日本語学校の13%の未収得者は今後習得し、進学していくと思われる。

III

留学生の悩みごとについて

留学生の悩みごとについて

Q. 次のことでどれくらい困っていますか。困っている程度の「〇」をクリックしてください。

当質問は下記の通りSD法（Semantic Differential）を使い、6つのテーマに関する悩み度（7段階）を尋ねた。

日本語のこと
Japanese Language

困っている Struggling ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ 困っていない Not Struggling

住居のこと
Accommodation and Living Environment

困っている Struggling ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ 困っていない Not Struggling

進路（就職や進学）のこと
Your future path (further education, job hunting)

困っている Struggling ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ 困っていない Not Struggling

経済的なこと
Personal Finances

困っている Struggling ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ 困っていない Not Struggling

学校のこと
Education and School Life

困っている Struggling ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ 困っていない Not Struggling

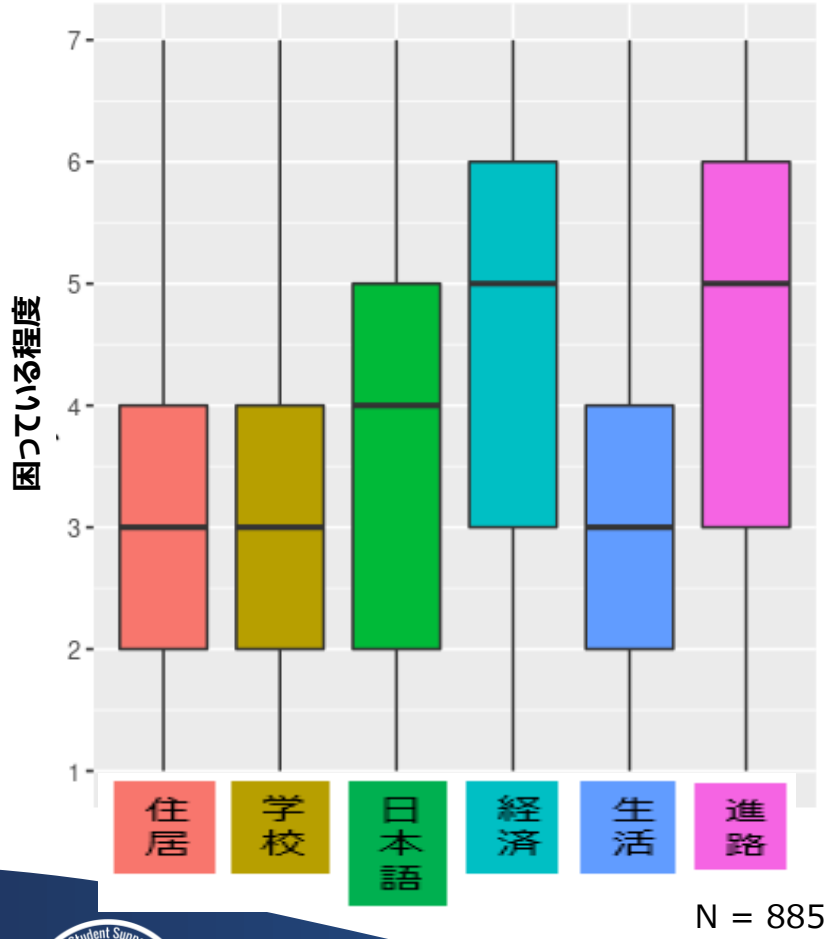
Social life（友人関係、近隣の人たちなど）のこと
Social Life and Interpersonal Relations

困っている Struggling ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ 困っていない Not Struggling

留学生の悩みごと

Q.　次のことでどれくらい困っていますか。困っている程度の〇をクリックしてください。

留学生の悩みごと



	悩み事	中央値	平均値
1	経済的なこと	5	4.65
2	進路（就職や進学）のこと	5	4.43
3	日本語のこと	4	3.66
4	Social life（友人関係、近隣の人たちなど）のこと	3	3.14
5	学校のこと	3	3.14
6	住居のこと	3	2.99

留学生にとって特に悩みの原因になっているのは、経済的なこと及び進学・就職に関することである。昨年の結果でも、留学生に「現在困っていることは何ですか」と尋ねた時、同じ「１：経済的なこと、２：進路（就職や進学）のこと　３:日本語のこと」の順であったので、今回の結果とは大きな違いはない（次頁参照）。

今回の調査でも「日本語のこと」に関する悩み度がやや高かった。しかし、日本語に関してどのようなところで悩んでいるのかについてもっと深く調査する必要がある。就職時の日本語で困っているのか、または日常生活や友達作りという場面で日本語で困っているのか。何が課題になっているのがわかれば、その対策を考えることができる。

付属：留学生が困っていること 2021年

Q. 現在困っていることは何ですか

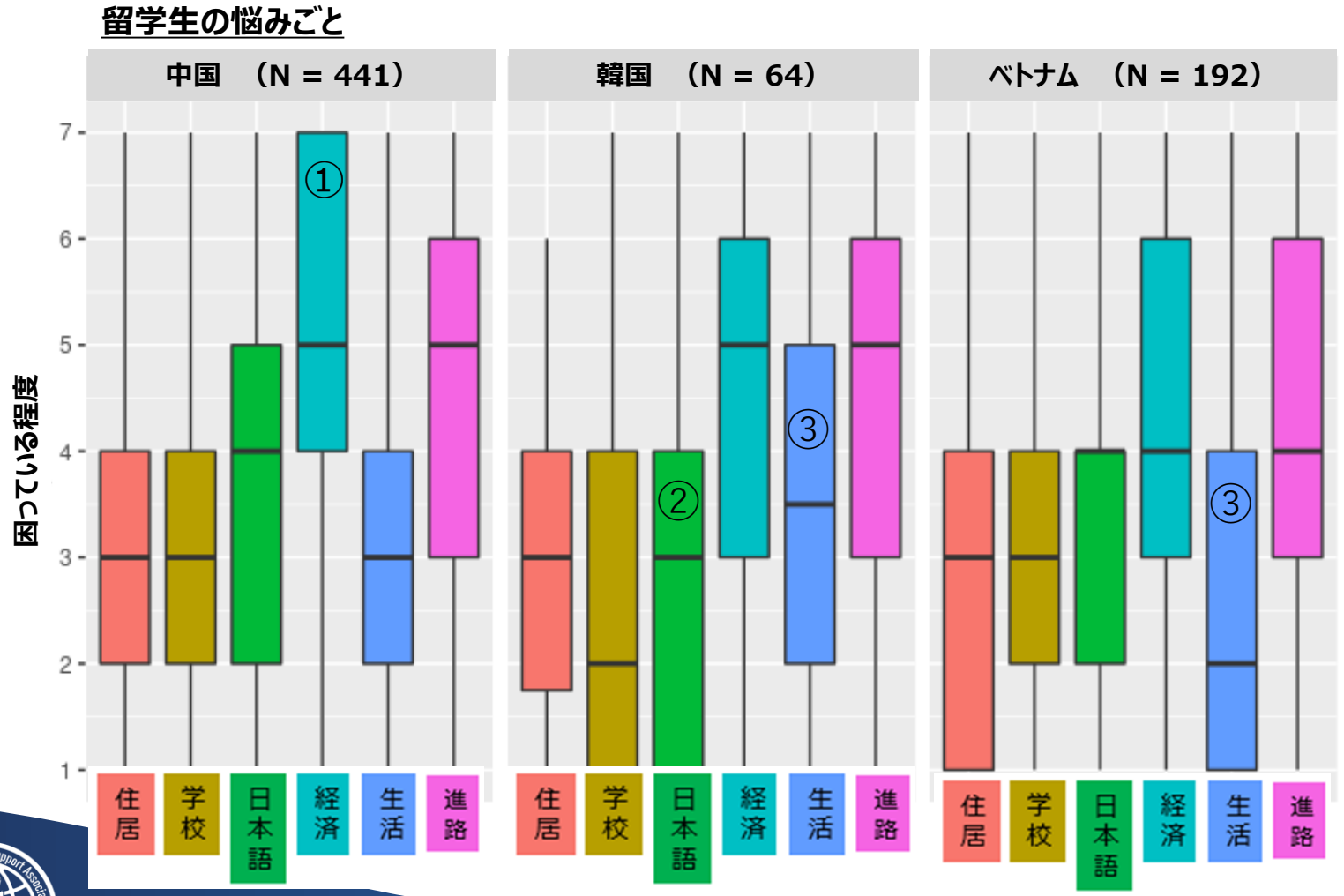
順位	困っていること	回答者数	割合
1	経済的なこと	451	48%
2	進路（就職や進学）のこと	423	45%
3	日本語のこと	383	41%
4	アルバイトのこと	249	26%
5	人間関係のこと	177	19%
6	学校のこと	106	11%
7	生活習慣のこと	86	9%
8	住居のこと	76	8%
9	カルチャーショック	50	5%

N = 941

・2019年JASSOアンケートでは、留学後の苦労としては、「物価が高い」と回答した者が 約７割となっ ており、次いで、「日常生活における母国の習慣（生活習慣、宗教上の習慣等）との違い」34.6%、「日本語の習得」が30.7%となっている。

留学生の悩みごと　国別

Q.　次のことでどれくらい困っていますか。困っている程度の〇をクリックしてください。



① 中国人は特に経済的なことで困っていると思われる。中国人回答者の真ん中の50%は4～7を選んだ。

② 韓国人は特に他国に比較して、さほど日本語のことで困っていない。

③ 韓国人は平均よりSocial Lifeのことで悩んでいることに対して、ベトナム人は平均ほどSocial Lifeのことで悩んでいないという結果が出ている。

悩みごと

- 住居のこと
- 学校のこと
- 日本語のこと
- 経済的なこと
- Social life
- 進路（就職や進学）のこと

留学生の悩みごと　国別

Q.　次のことでどれくらい困っていますか。困っている程度の〇をクリックしてください。

中国

	悩み事	中央値	平均値
1	経済的なこと	5	4.92
2	進路（就職や進学）のこと	5	4.51
3	日本語のこと	4	3.73
4	学校のこと	3	3.17
5	Social life（友人関係、近隣の人たちなど）のこと	3	3.12
6	住居のこと	3	2.95

韓国

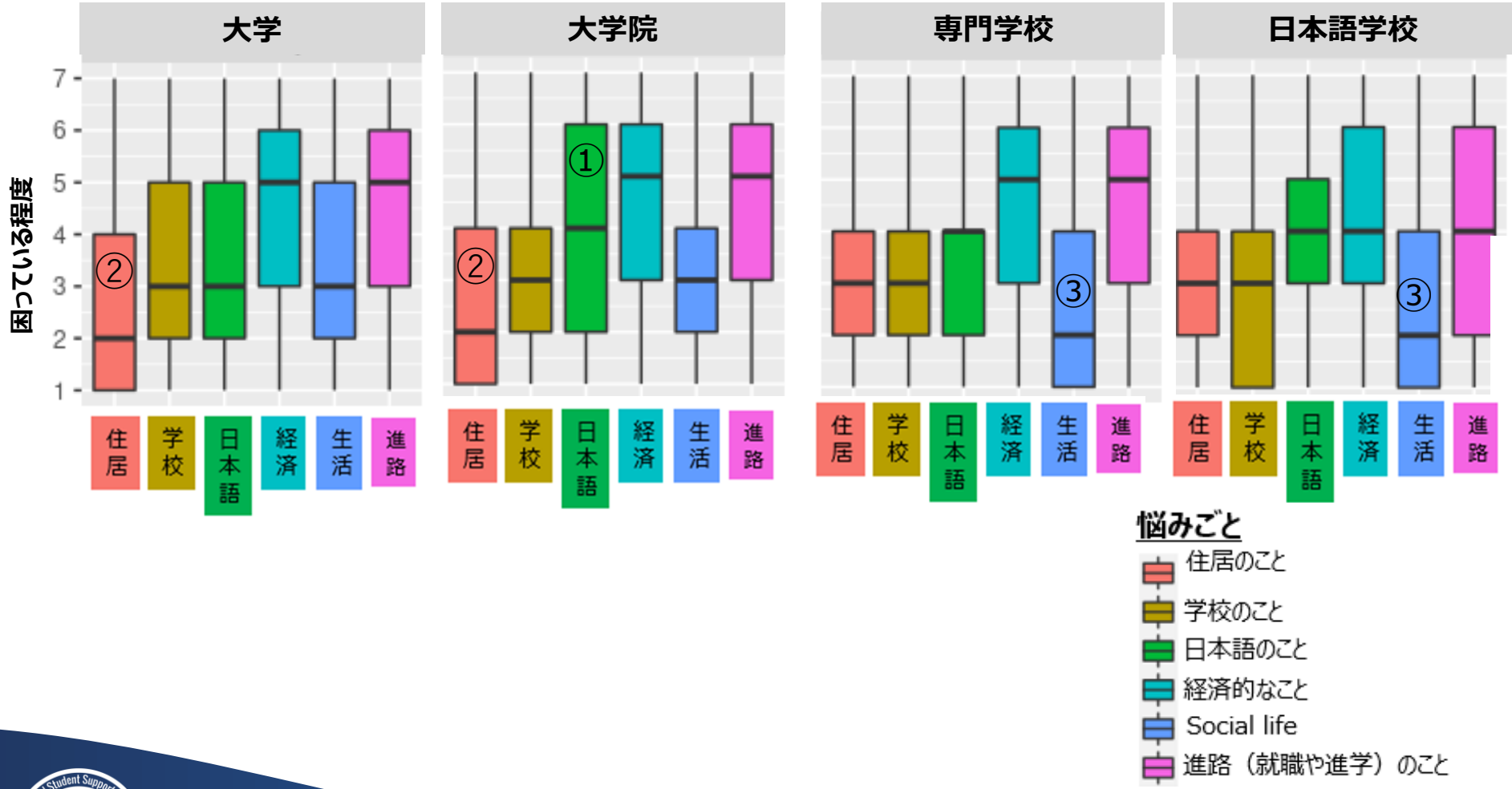
	悩み事	中央値	平均値
1	進路（就職や進学）のこと	5	4.54
2	経済的なこと	5	4.48
3	Social life（友人関係、近隣の人たちなど）のこと	3.5	3.53
4	学校のこと	2	2.93
5	住居のこと	3	2.84
6	日本語のこと	3	2.76

ベトナム

	悩み事	中央値	平均値
1	経済的なこと	4	4.38
2	進路（就職や進学）のこと	4	4.19
3	日本語のこと	4	3.54
4	住居のこと	3	3.02
5	学校のこと	3	2.93
6	Social life（友人関係、近隣の人たちなど）のこと	2	2.88

留学生の悩みごと　校種別

留学生の悩みごと



① 大学院生は日本語のことに関する悩み度は他の学校の種類より大きな幅（range)を示している。70%の回答者はN1を取得している一方で、英語や母国語で研究や授業を受けている人もいると思われる。

② 大学・大学院生の特徴として、あまり住居のことで困っている傾向がない。

③ 専門学校生・日本語学校生の場合、Social Lifeのことでさほど困っていない。専門学校生の多数派がベトナム人で、ベトナム人回答者の特徴としてSocial Lifeでさほど悩んでいないということも分かった。これは専門学校に通うことでもっと良いSocial Life環境にいるのか、ベトナム人留学生のコミュニティーなどに理由があるのかなど、要因が現時点では特定できない。

留学生の悩みごと　校種別

大学

	悩み事	中央値	平均値
1	経済的なこと	5	4.77
2	進路（就職や進学）のこと	5	4.56
3	日本語のこと	3	3.48
4	Social life（友人関係、近隣の人たちなど）のこと	3	3.38
5	学校のこと	3	3.31
6	住居のこと	2	2.81

専門学校

	悩み事	平均値	中央値
1	経済的なこと	5	4.67
2	進路（就職や進学）のこと	5	4.42
3	日本語のこと	4	3.53
4	住居のこと	3	3.23
5	学校のこと	3	3.02
6	Social life（友人関係、近隣の人たちなど）のこと	2	2.86

大学院

	悩み事	中央値	平均値
1	経済的なこと	5	4.59
2	進路（就職や進学）のこと	5	4.44
3	日本語のこと	4	3.76
4	Social life（友人関係、近隣の人たちなど）のこと	3	3.12
5	学校のこと	3	3.01
6	住居のこと	2	2.68

日本語学校

	悩み事	中央値	平均値
1	経済的なこと	4.5	4.40
2	日本語のこと	4	4.14
3	進路（就職や進学）のこと	4	4.03
4	住居のこと	3.5	3.53
5	学校のこと	3	3.05
6	Social life（友人関係、近隣の人たちなど）のこと	2	2.95

留学生が求めている支援

Q. 悩みごとに対して、あればよいと思う支援は何ですか　（自由回答）

トップ５

	支援の種類	回答者数	割合
1	お金（奨学金・支援金・学費など）	159	40%
2	進路（就職・進学など）	63	16%
3	日本語（言語）	27	7%
4	交流	25	6%
5	相談	12	3%

N = 400

奨学金があれば、経済的は厳しい優秀な学生を支援できると思います。

コロナウイルスのせいで、アルバイトと経済の影響を与えるので、給料が少なくなりました。もし、お金のサポートがあれば良かったと思います。

日本語を使うチャンスがもっとほしいです。

より多くの日本人と交流するチャンスが欲しい。

留学生の悩みごと　まとめ

- **経済的な不安や進学・就職についての不安が強い**

去年と同様に、経済的なことや進路（進学・就職）に関する不安が大きい。コロナ禍の前でも不安の原因項目だと考えられるが、長引くコロナウイルスのパンデミックの影響でアルバイトがなくなったり、アルバイトの時間が少なくなったりしたという留学生の声も多いため、経済的な不安がさらに強くなっていると思われる。この問題に対して、40%の回答者が金銭的な支援を求めている。また、就職活動に関する支援を望んでいる人も多い。

- **日本語に関する不安**

国籍や通っている学校の種類によって多少差があるが、日本語のことで悩んでいる留学生が多い。就職活動では、採用側の企業は日本語能力が重んじているし、日本語が十分にできないと授業の内容についていけないと心配している人もいる。日本語に関する不安は進学・就職に関する不安にも繋がっている可能性が高い。さらに、コロナウイルスのことで日本人と十分に交流できていないことで日本語能力が上がらないという声もある。

- **住居・　学校のことで特に困っていない**

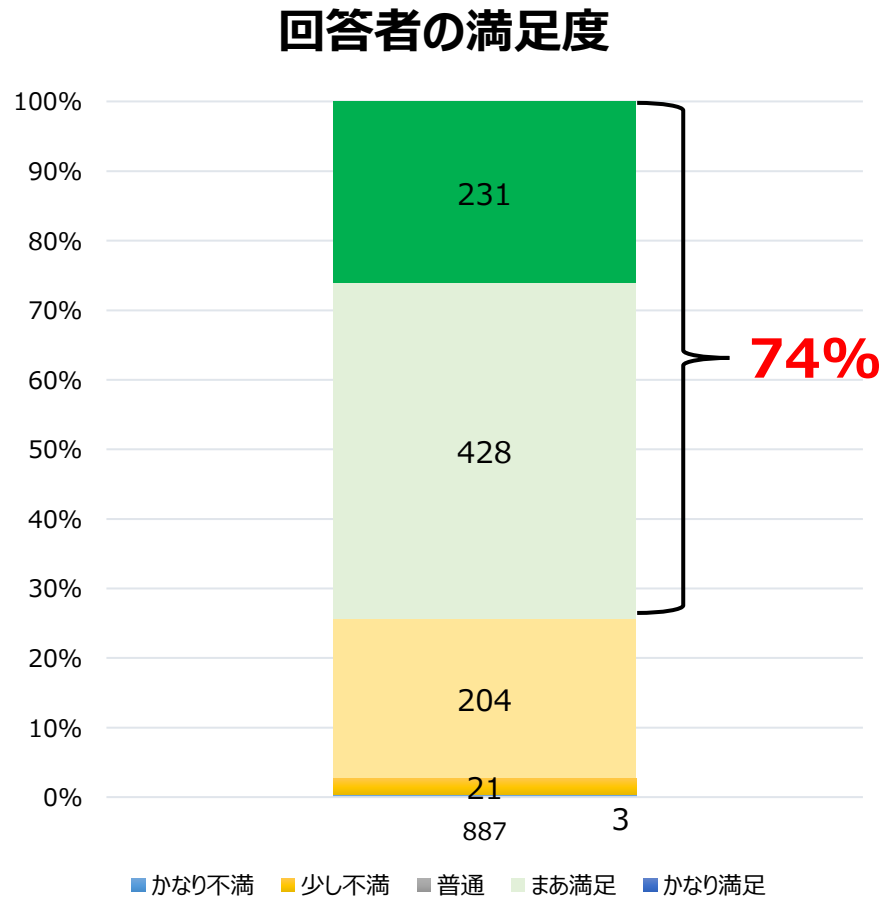
住居のことで困っている人が少ない。住居につきましては、長く大阪に滞在している回答者も多いので、大阪に住むことにはもう慣れている人が多いと思われるため、今回の結果は当然でもある。学校のことで困っている人も少ない。しかし、学校のことで困っている人には不満率が高くなる傾向もある（P.37）。

Ⅳ

留学生の満足度について

留学生の満足度

Q. 大阪での留学に関しては全体的にどのぐらい満足していますか



前年比

2021年		2022年
77.8%	→	74%

2021年と比較して満足度が約4%減った。

満足度	回答者	割合
かなり満足	231	26%
まあ満足	428	48%
普通	204	23%
少し不満	21	2%
かなり不満	3	0%

74%

2021年に比較して、不満と回答する割合はそれほど変わっていない。ただし、「かなり満足」と回答する割合が５%減り、その分が「普通」と「まあ満足」に移っている。（次頁参照）。

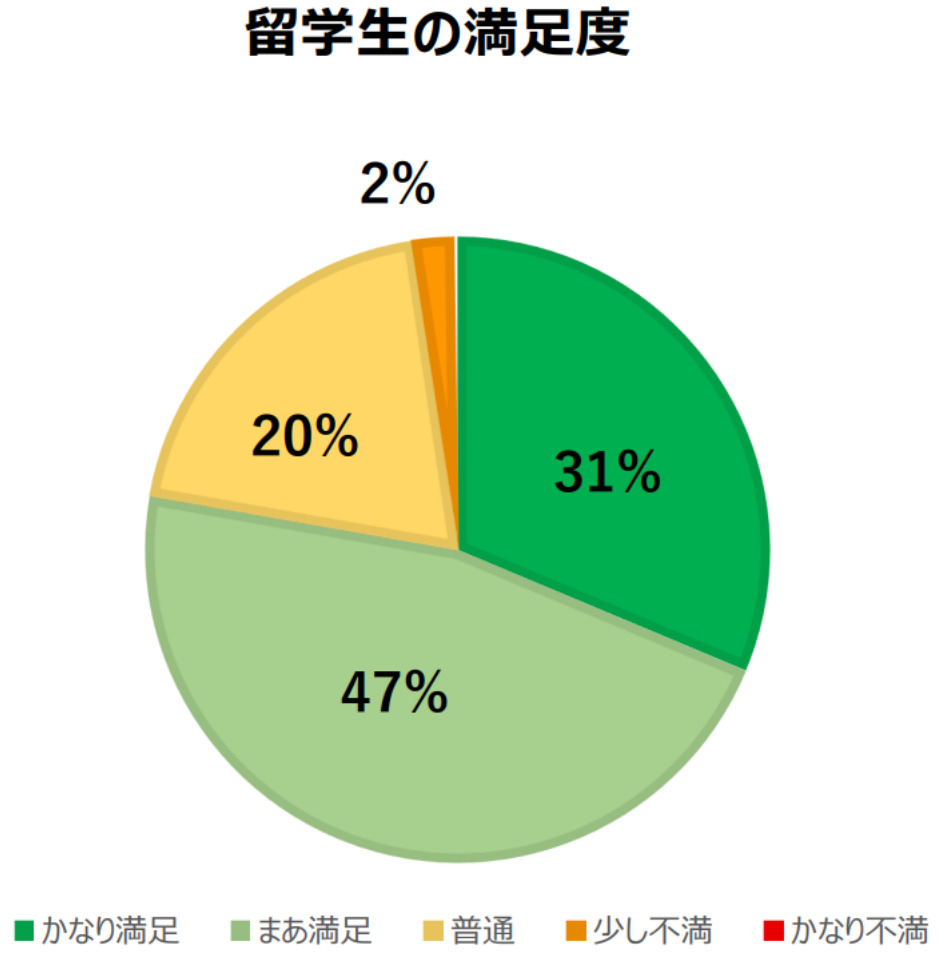
付属：留学生の満足度　2021

Q.大阪での留学に関しては全体的にどのぐらい満足していますか

満足度	回答者数	割合
かなり満足	279	31.3%
まあ満足	414	46.5%
普通	177	19.9%
少し不満	19	2.1%
かなり不満	2	0.2%

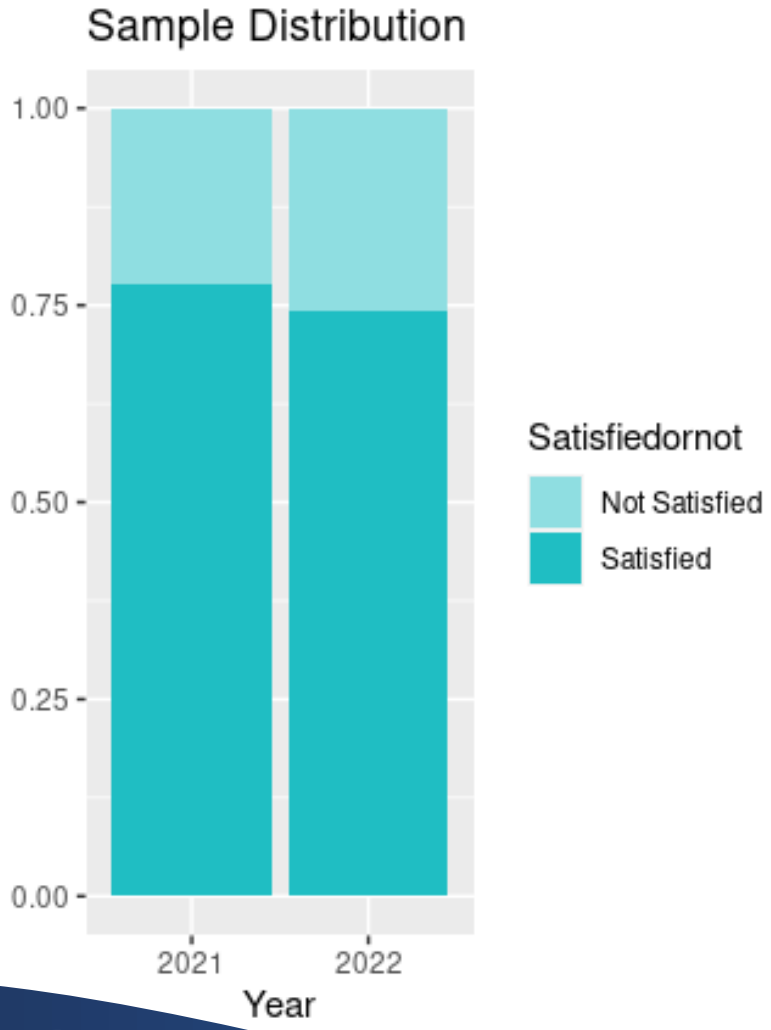
有効回答者数：891人

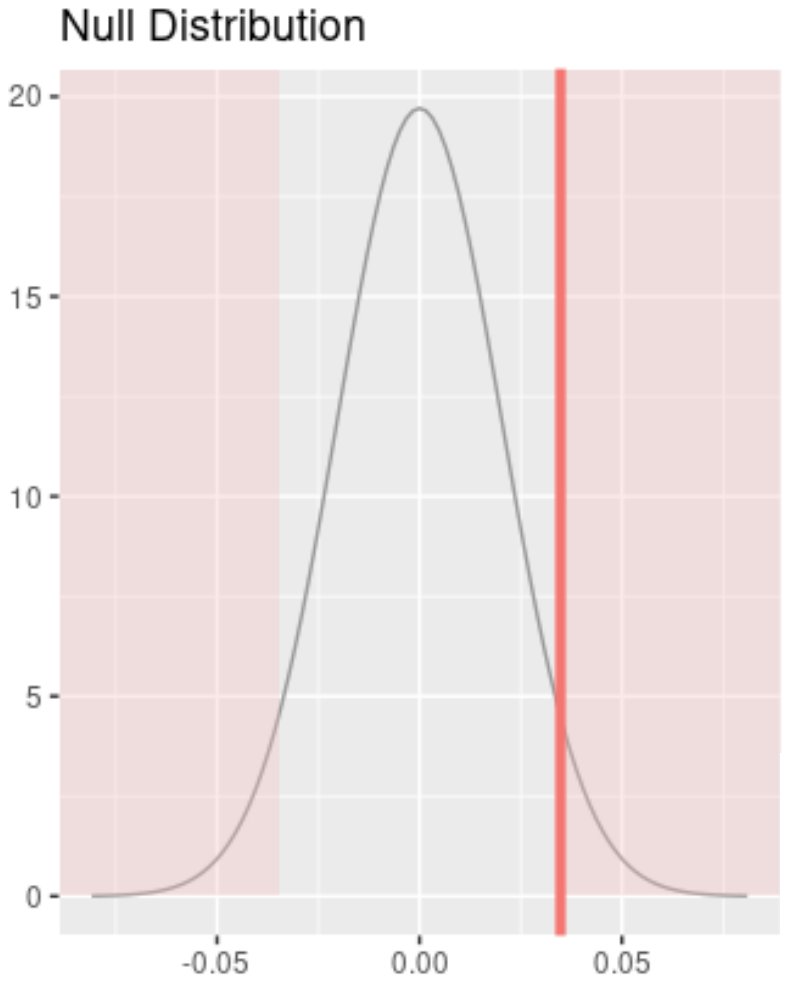
77.8%の留学生が満足している



49

留学生の満足度　前年比





前年比

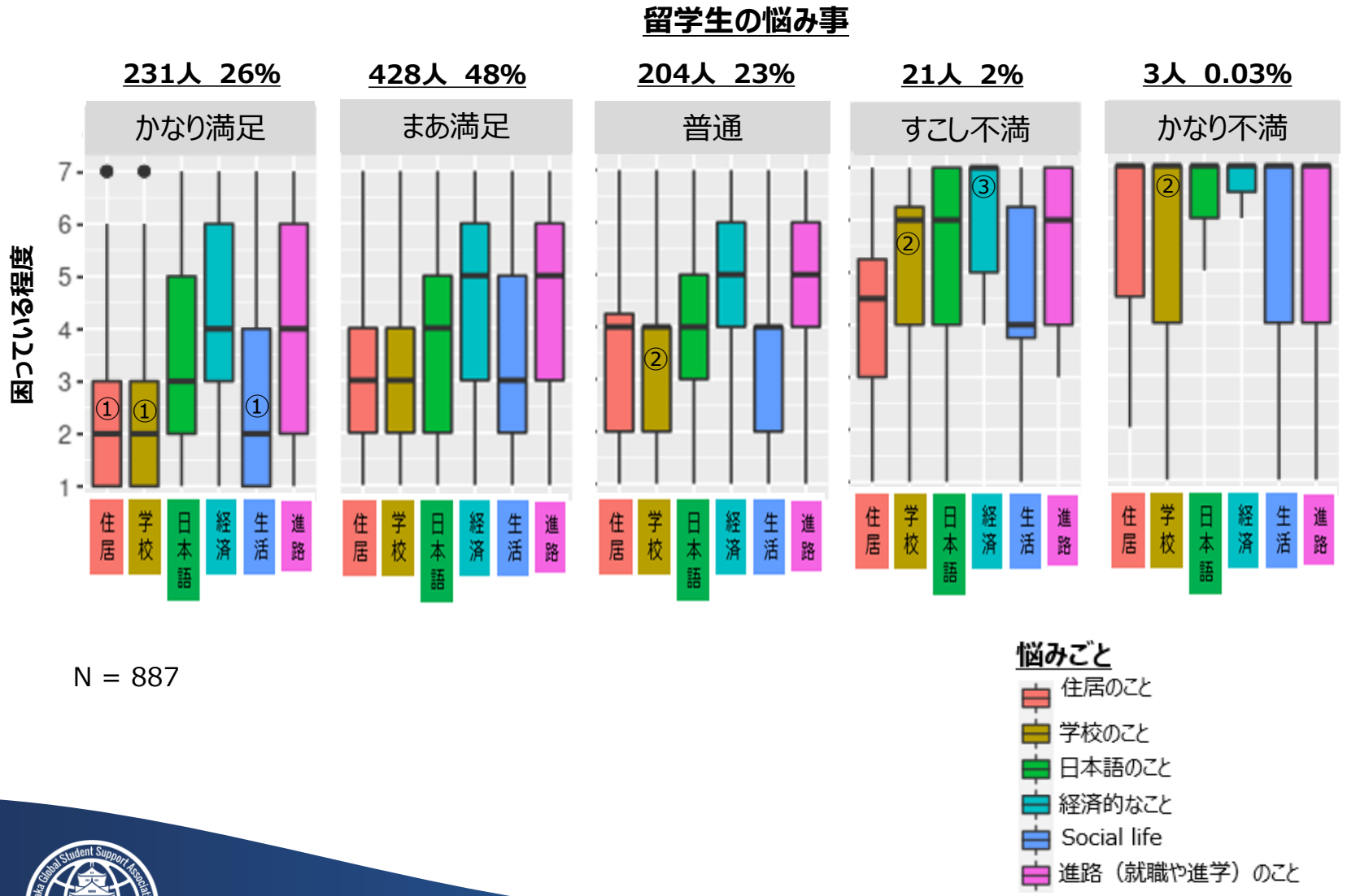
2021年		2022年
77.8%	→	74%

留学生の全体的な満足度は77.8%から74%に下がったが、22年と21年の調査で満足した人の割合を分析的に比較すると、統計学的に有意な差であるといえない (when α = 0.05)。

P = 0.0854

```
Response variable: categorical (2 levels, success: Satisfied)
Explanatory variable: categorical (2 levels)
n_2021 = 891, p_hat_2021 = 0.7778
n_2022 = 887, p_hat_2022 = 0.743
H0: p_2021 =  p_2022
HA: p_2021 != p_2022
z = 1.7201
p_value = 0.0854
```

留学生の悩みごと　（満足別）



N = 887

満足度別で、留学生が抱えている問題の悩み度を見せるグラフ化した。当然だが満足度が低いほど、各項目の悩み度が高くなる傾向がある。

「満足度」に関係なく、経済的な悩み及び進路に関する悩み度は他の悩みより高い。

①　かなり満足している人の特徴としては、住居や学校のことやSocial Lifeに関する悩み度が低いことが分かる。

②　満足度が「普通」の留学生と「不満」の留学生の「学校のこと」に関する悩み度に大きな差がある。学校のことで悩んでいることが全体的な満足度に大きく影響を与えている要因である可能性もある。

③　不満している留学生にとっては、経済的な悩みが一番大きな課題になっている。

注意：「かなり不満」と回答した人の数は3人だけである。

留学生の悩みごと　満足度別

かなり満足

	悩み事	中央値	平均値
1	経済的なこと	4	4.28
2	進路（就職や進学）のこと	4	3.72
3	日本語のこと	3	3.14
4	Social life（友人関係、近隣の人たちなど）のこと	2	2.49
5	学校のこと	2	2.39
6	住居のこと	2	2.29

まあ満足

	悩み事	中央値	平均値
1	経済的なこと	5	4.67
2	進路（就職や進学）のこと	5	4.61
3	日本語のこと	4	3.75
4	学校のこと	3	3.29
5	Social life（友人関係、近隣の人たちなど）のこと	3	3.28
6	住居のこと	3	3.084

普通

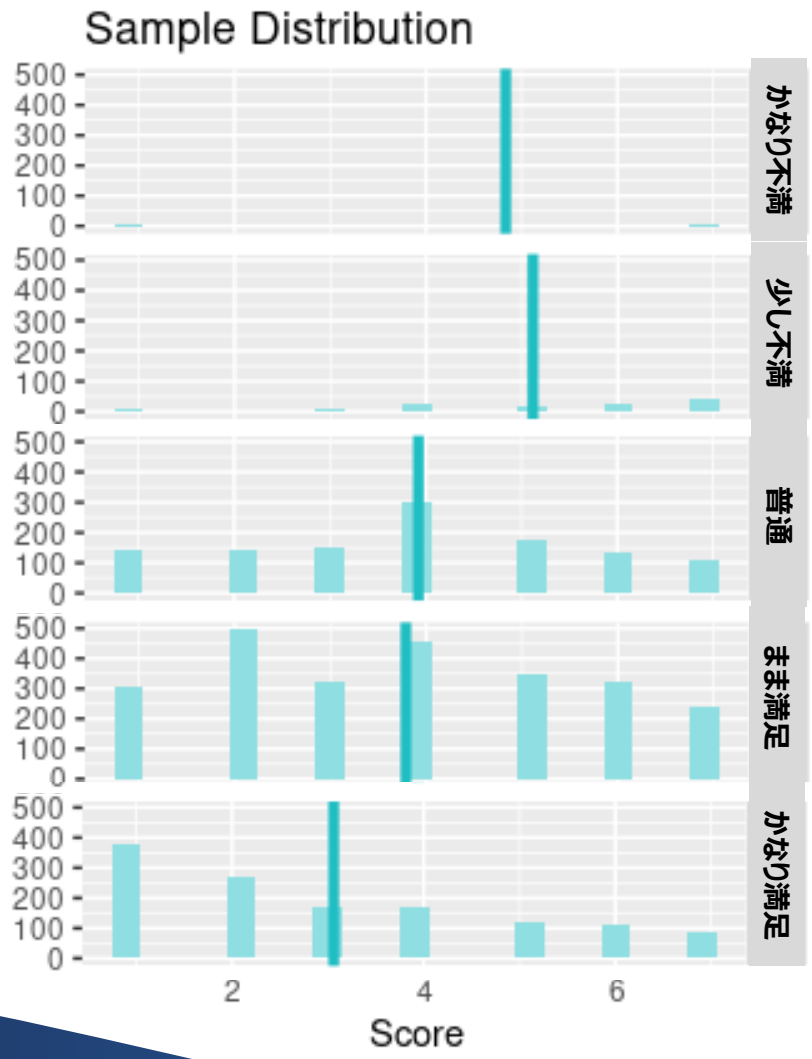
	悩み事	平均値	中央値
1	経済的なこと	5	4.85
2	進路（就職や進学）のこと	5	4.69
3	日本語のこと	4	3.89
4	学校のこと	4	3.38
5	Social life（友人関係、近隣の人たちなど）のこと	4	3.37
6	住居のこと	4	3.35

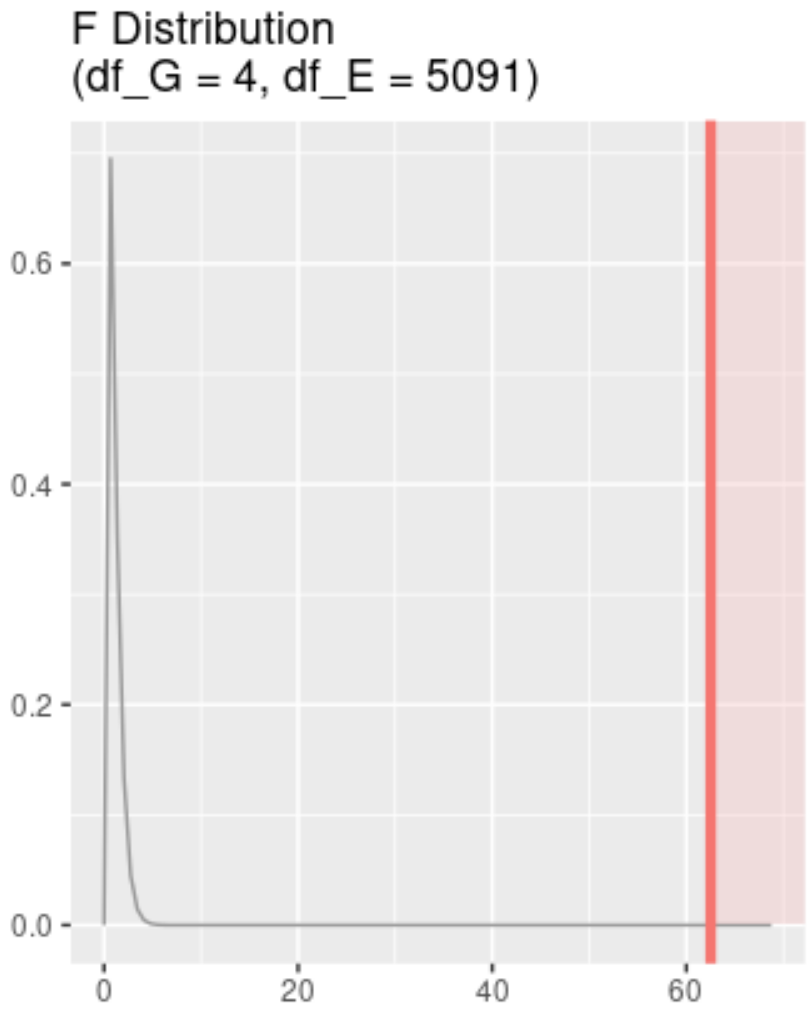
少し不満

	悩み事	中央値	平均値
1	経済的なこと	7	6.09
2	進路（就職や進学）のこと	6	5.47
3	学校のこと	6	5.20
4	日本語のこと	6	5.09
5	Social life（友人関係、近隣の人たちなど）のこと	4	4.50
6	住居のこと	4.5	4.25

※「かなり不満」と回答した人の数は3人だけなので割愛した。

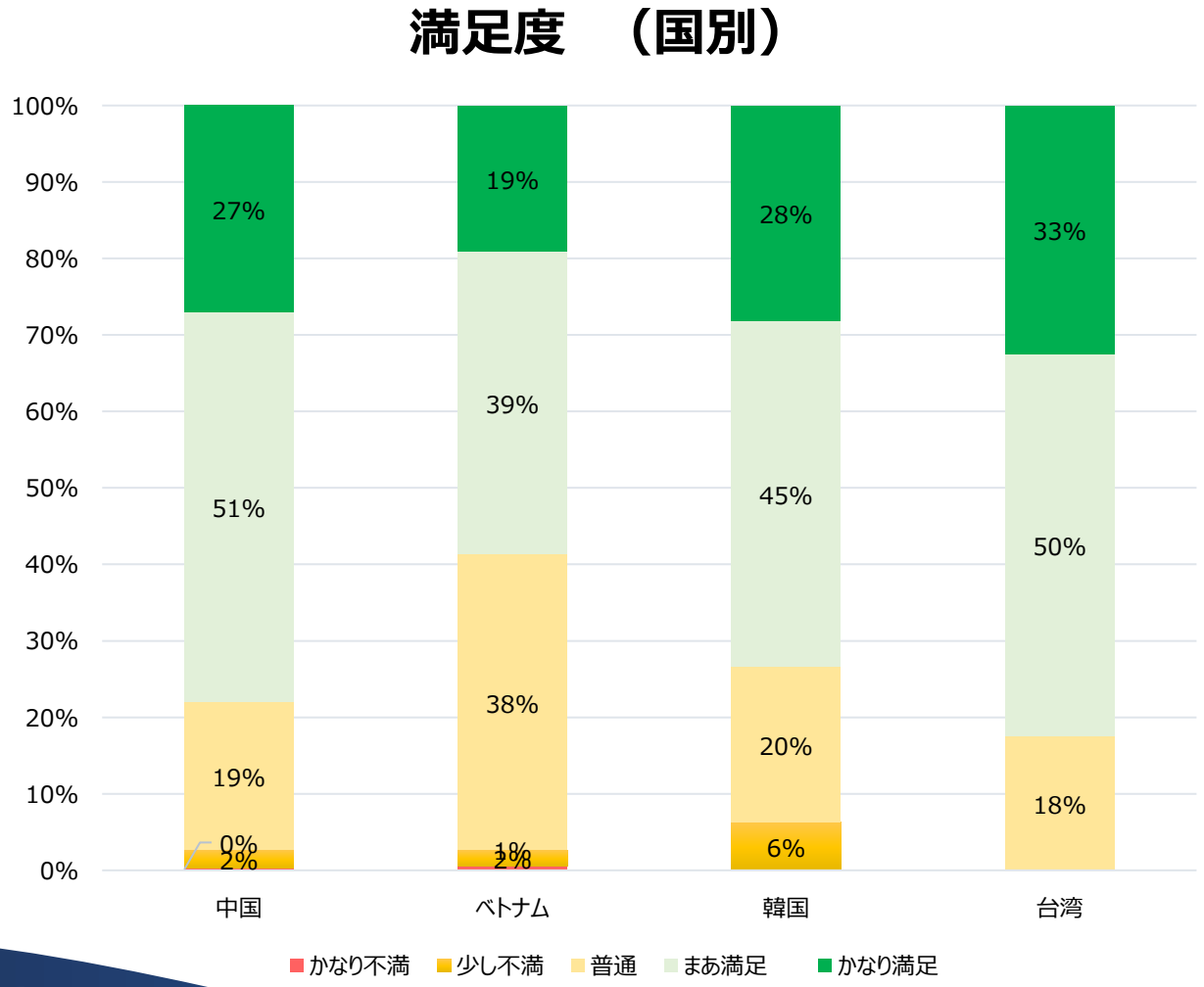
留学生の悩みごと（満足度別）





全体的な悩み度に関して、満足度別のグループの間に統計的に有意な差がある。

留学生の満足度　（国別）



満足度
（かなり満足＋まあ満足）

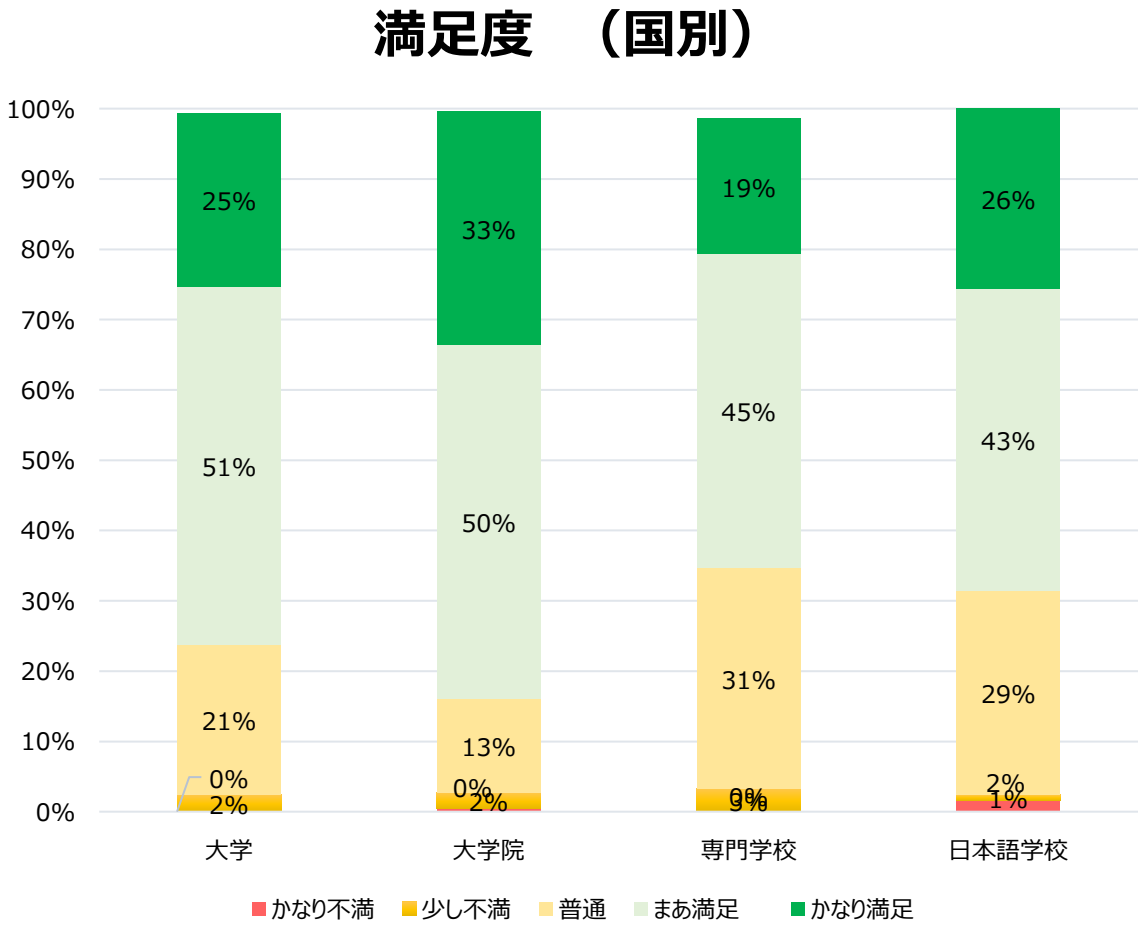
中国	ベトナム	韓国	台湾
78%	**58%**	73%	83%
N = 446	N = 193	N = 64	N = 40

ベトナム人の満足度が他国に比べて特に低く（58%）、昨年よりも12%も低下した。

今回の回答者では、専門学校に通っているベトナム人回答者が多いため、低い要因がベトナム人の特徴なのか、専門学校生の特徴なのかは判断できない。

なお、昨年のベトナム人留学生の困りごとの順位は「１：日本語のこと、２：経済的なこと、３：アルバイトのこと」であった。今後ベトナム人留学生が抱えている問題についての定性調査を行い、その課題解決することがベトナム人留学生の満足度向上につながり、大阪全体の満足度の上昇にもつながると期待している。

留学生の満足度　（校種別）



満足度

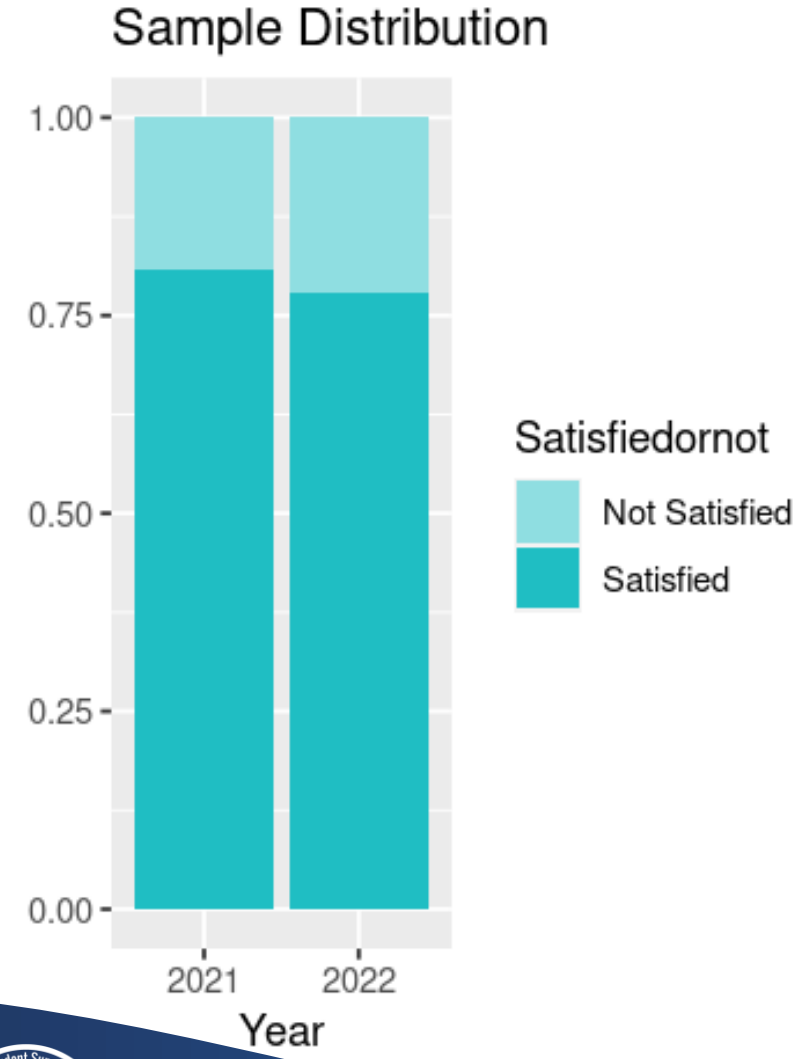
（かなり満足＋まあ満足）

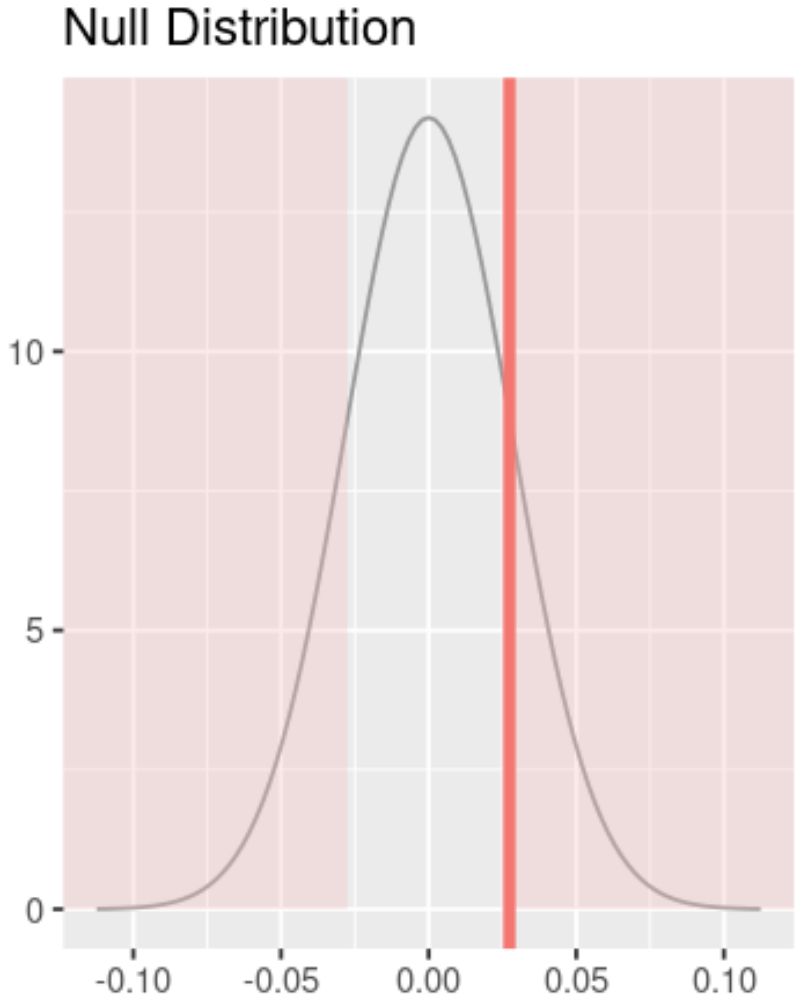
大学	大学院	専門学校	日本語学校
76%	**83%**	**64%**	69%
N = 332	N = 223	N = 213	N = 121

大学院生の満足度は極めて高く、大学生の満足度がそれに次ぐ。そして、専門学校生の満足度が特に低くなっている。
満足度が低いベトナム人が専門学校に占める割合が高いためにこの結果になることは当然である。

専門学校生及び日本語学校生が大学・大学院の留学生に比較して、どうしてこんなに満足度が低いのかについて、もう少し掘り下げて調査する必要がある。その調査に出てくる課題を解決すれば、全体的な満足度向上につながると思われる。

留学生の満足度　前年比　中国





前年比

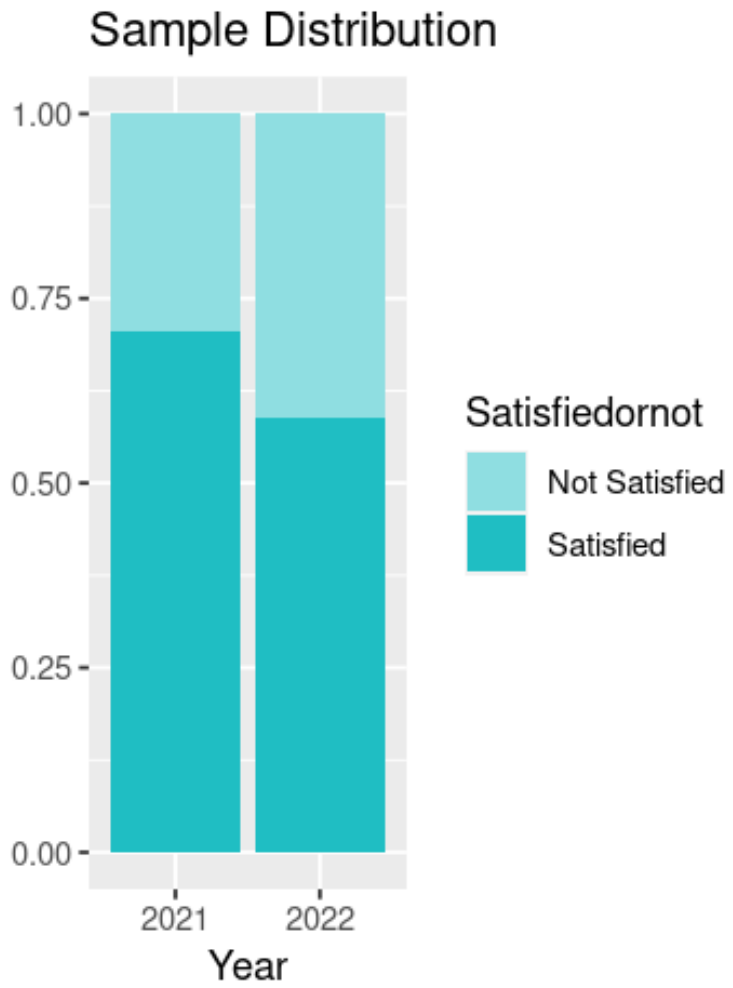
2021年		2022年
80.6%	→	78%

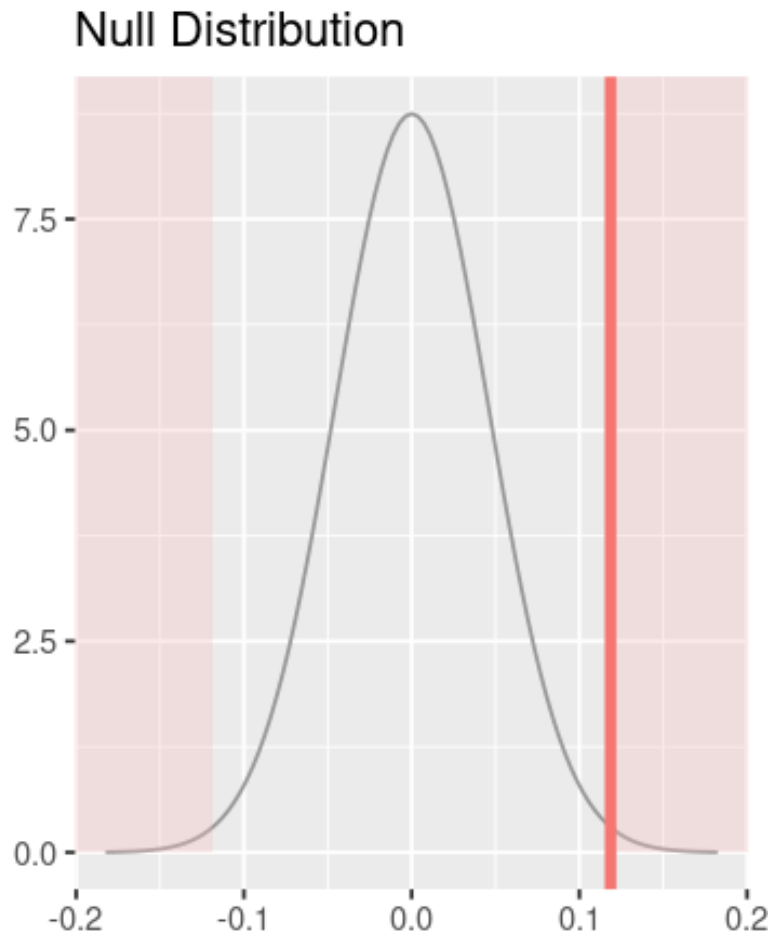
中国人の満足度が昨年より少しだけ減ったが、統計学的に有意な差ではない

P = 0.33

Response variable: categorical (2 levels, success: Satisfied)
Explanatory variable: categorical (2 levels)
n_2021 = 393, p_hat_2021 = 0.8066
n_2022 = 444, p_hat_2022 = 0.7793
H0: p_2021 = p_2022
HA: p_2021 != p_2022
z = 0.9727
p_value = 0.3307

留学生の満足度　前年比　ベトナム





前年比

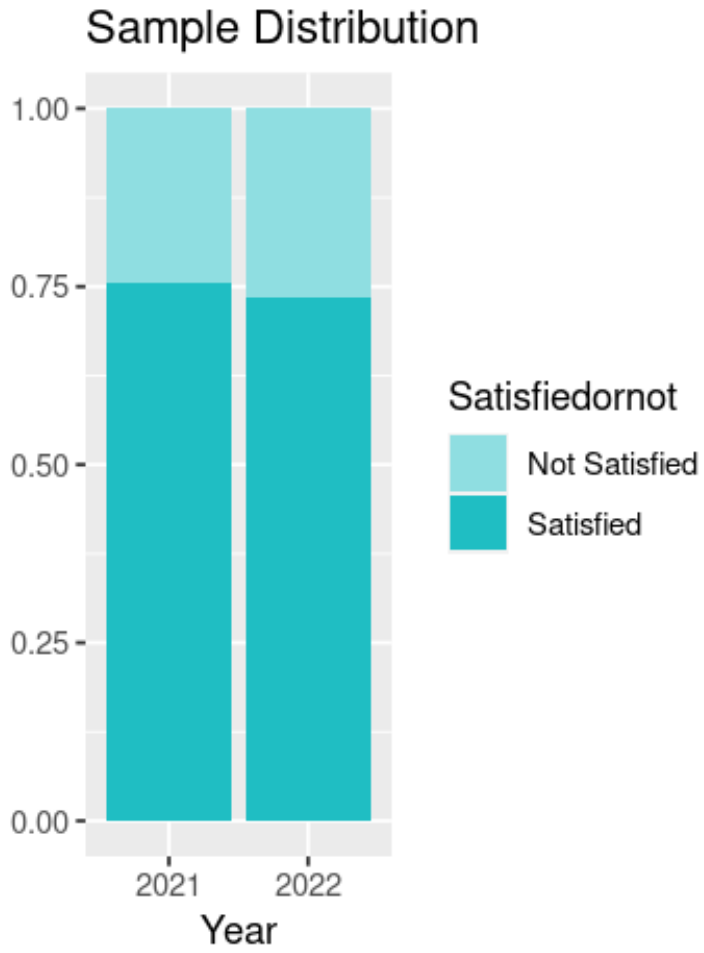
2021年		2022年
70.5%	→	58%

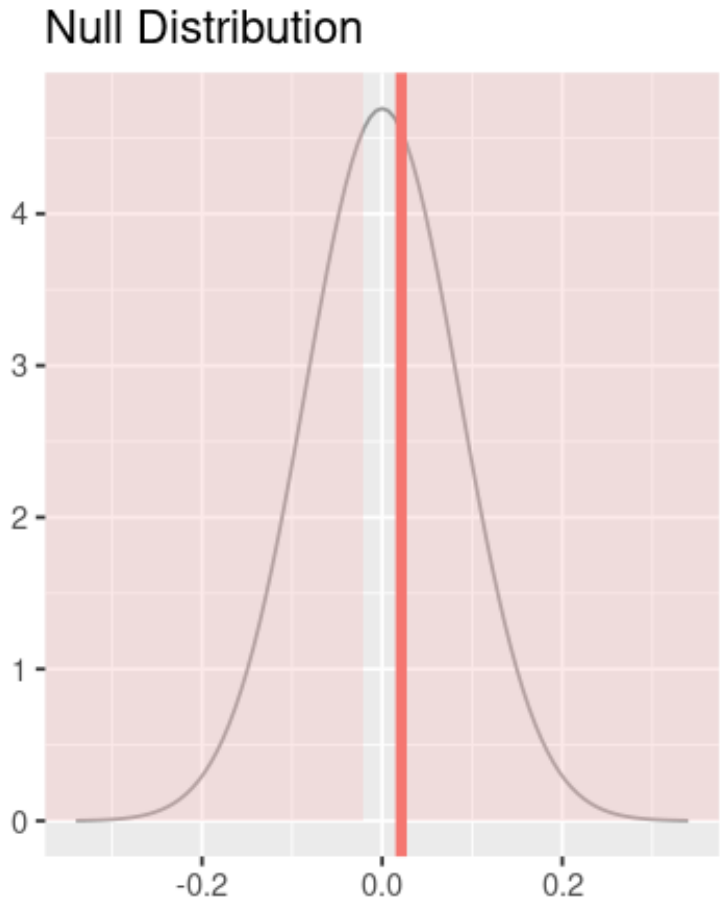
ベトナム人の満足度が21年に比較して、かなり減っている。統計学的にも有意な差であるため、特にベトナム人留学生の満足度減少に何が影響しているのか調べた方が良い。

P = 0.009

Response variable: categorical (2 levels, success: Satisfied)
Explanatory variable: categorical (2 levels)
n_2021 = 255, p_hat_2021 = 0.7059
n_2022 = 189, p_hat_2022 = 0.5873
H0: p_2021 = p_2022
HA: p_2021 != p_2022
z = 2.5996
p_value = 0.0093

留学生の満足度　前年比　韓国





前年比

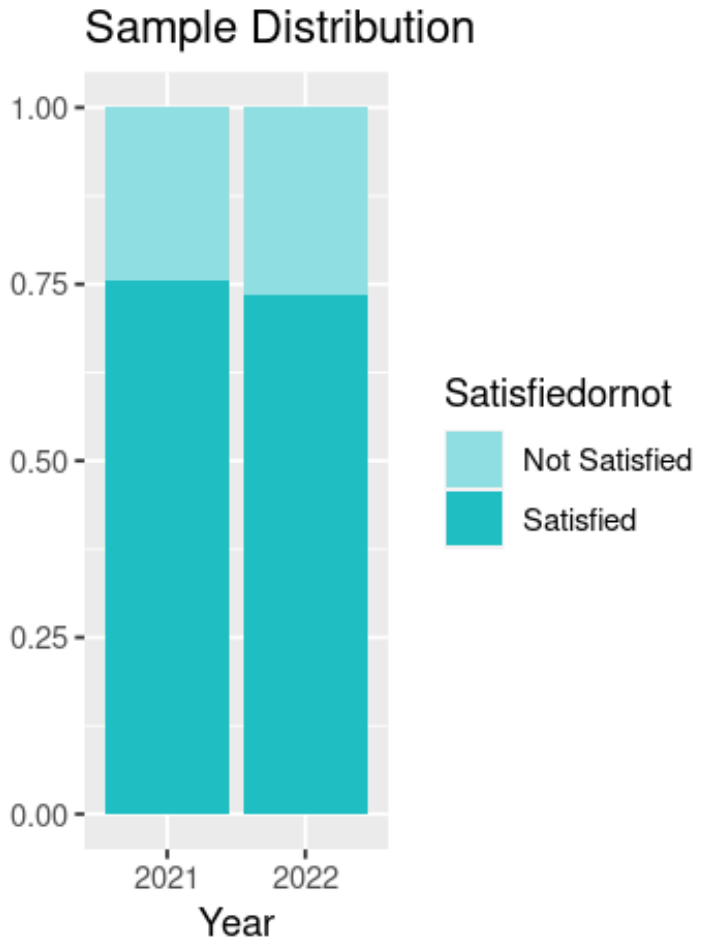
2021年		2022年
75.5%	→	73%

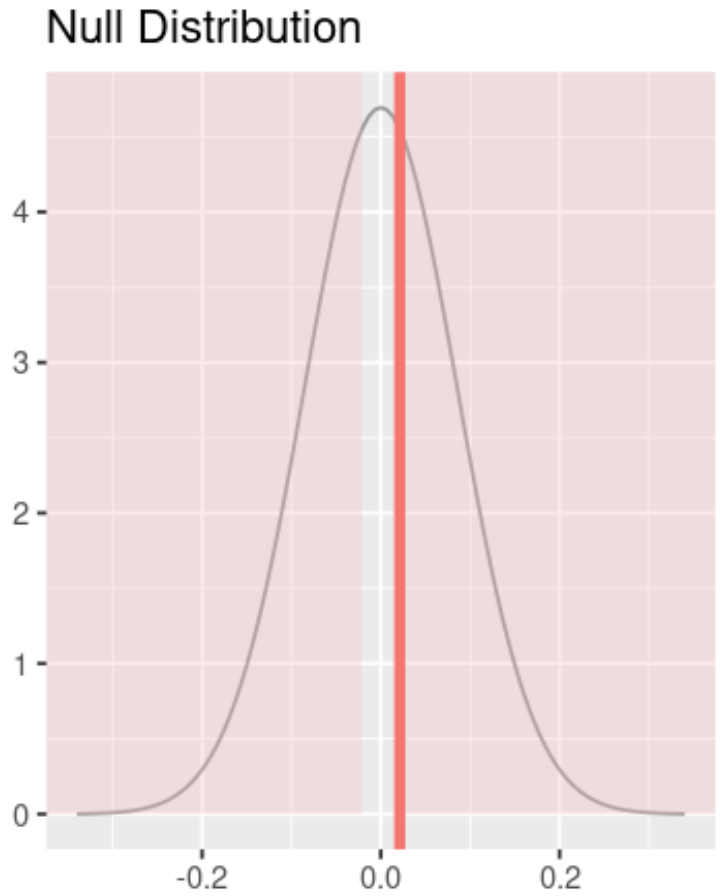
特に有意な差がない

P = 0.80

Response variable: categorical (2 levels, success: Satisfied)
Explanatory variable: categorical (2 levels)
n_2021 = 45, p_hat_2021 = 0.7556
n_2022 = 64, p_hat_2022 = 0.7344
H0: p_2021 = p_2022
HA: p_2021 != p_2022
z = 0.2492
p_value = 0.8032

留学生の満足度　前年比　台湾





前年比

2021年		2022年
83.6%	→	82.5%

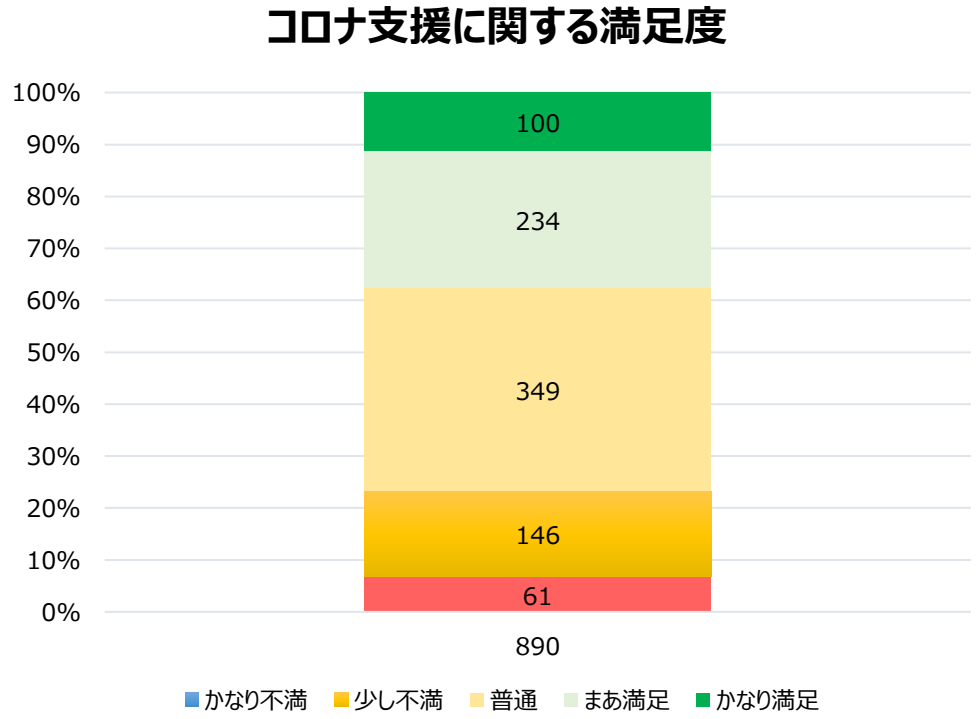
特に有意な差がない

P = 0.88

Response variable: categorical (2 levels, success: Satisfied)
Explanatory variable: categorical (2 levels)
n_2021 = 55, p_hat_2021 = 0.8364
n_2022 = 40, p_hat_2022 = 0.825
H0: p_2021 = p_2022
HA: p_2021 != p_2022
z = 0.1461
p_value = 0.8838

コロナ対策に関する満足度

Q. コロナ支援に関してどのぐらい満足していますか。



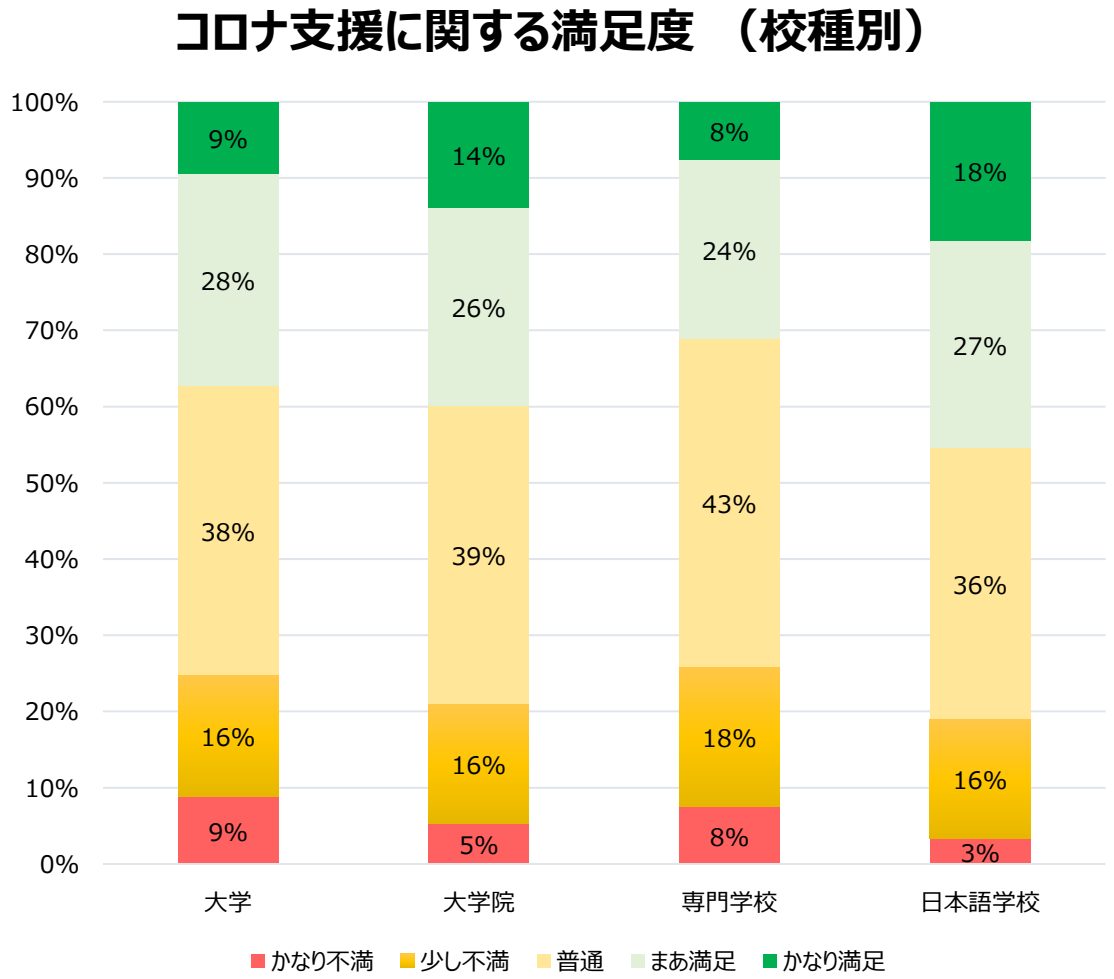
N = 890

満足度	回答者	割合
かなり満足	100	11%
まあ満足	234	26%
普通	349	39%
少し不満	146	16%
かなり不満	61	7%

37%

コロナ対策に関して、満足度は37%、不満足度は23%であり、満足でも不満でもない普通が39%と大きな比率を占めている。

コロナ対策に関する満足度



満足度

（かなり満足＋まあ満足）

大学	大学院	専門学校	日本語学校
37%	40%	31%	45%
N = 330	N = 223	N = 212	N = 121

学校の種類によって、コロナ対策に関する満足度に大きな差がないが、日本語学校に通っている留学生の満足度が方が少しだけが高い傾向がある。

留学生の満足度　まとめ

- **<u>満足度は77.8%から74%に下がった</u>**

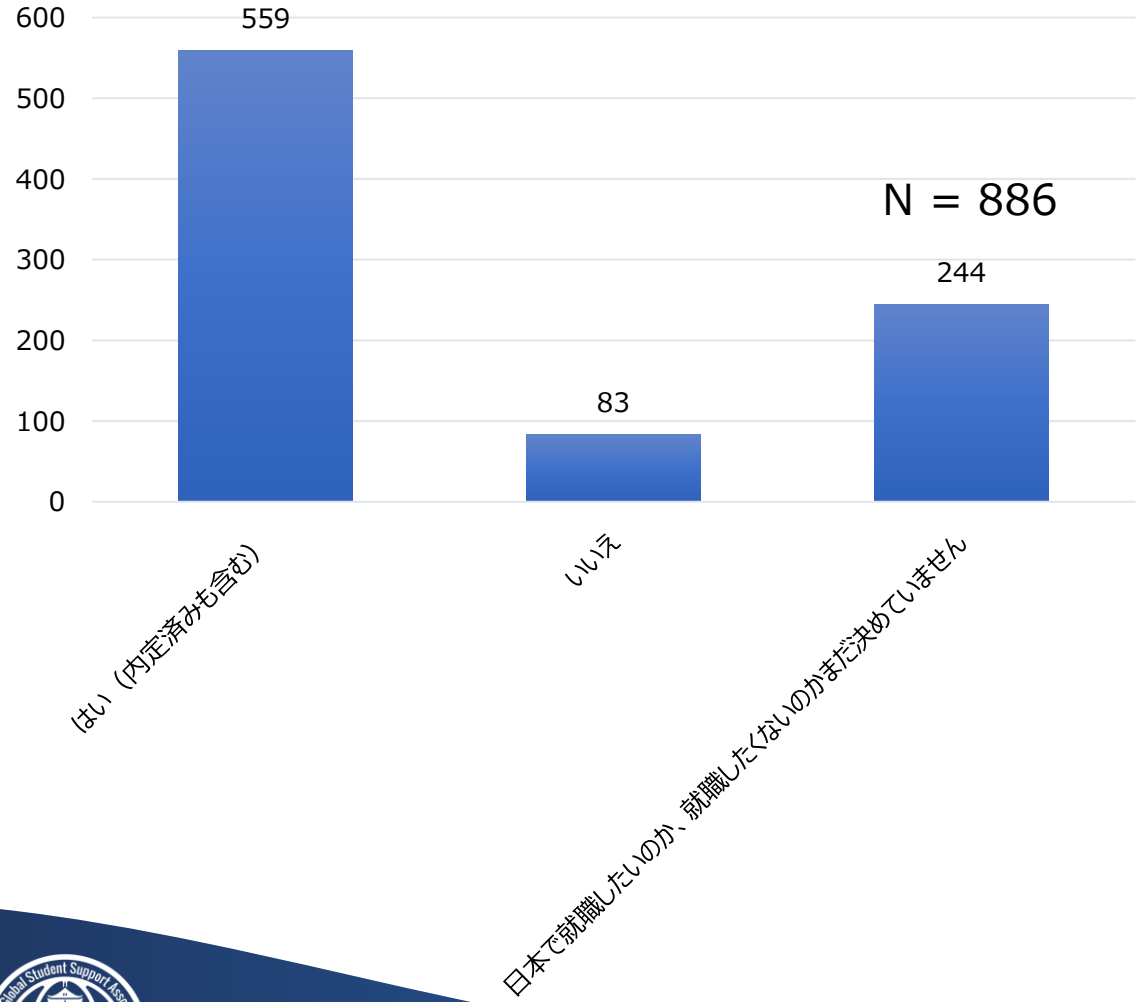
今回の留学生の満足度が７７．８%から74%に下がった。満足度を掘り下げて調べてみると、ベトナム人以外の留学生では少しだけで満足度が下がったことに対して、ベトナム人の場合、満足度が約70%から約58%に下がり、これは統計学的にも有意な差であると分かった。留学生人数ではベトナム人留学生が第２番目と高い割合であるため、このベトナム人留学生に変動があれば、留学生の全体的な満足度にとても影響がある。ベトナム人留学生の生の声に耳を傾け、ベトナム人留学生が抱えている問題を解決することができれば、全体的な留学生の満足度を上げることはできるかもしれない。

V

就職活動について

日本での就職意志

Q. 卒業後、日本で就職したいですか。



卒業後、日本で就職したいのか）

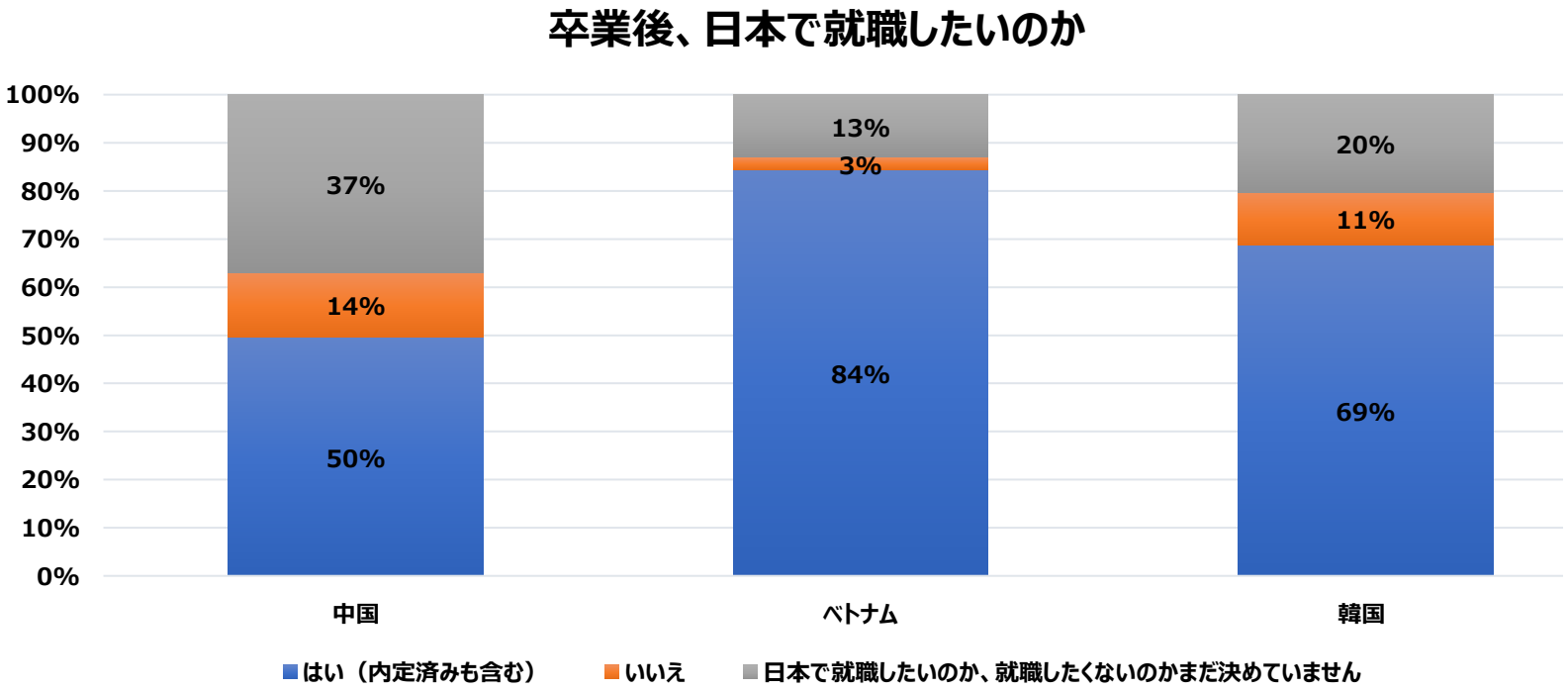
日本で就職したいのか	回答者数	割合
はい（内定済みも含む）	559	63%
いいえ	83	9%
日本で就職したいのか、就職したくないのかまだ決めていません	244	28%

回答者の過半数（63%）は日本で働きたい、またはすでに内定をもらった人である。

9%の回答者のみが完全に日本で働きたくないと答えているが、日本で働きたいかどうか未定の留学生が多い（28%）。

卒業後も、留学生には日本社会で活躍していただきたいので、特に日本で働きたいかどうかまだ分からない人たちが抱えている日本での就職に関する課題を把握し、解決策を検討することが必要である。

日本での就職意志（国別）



ベトナム人は日本で働きたいという割合が84%と高い。日本で働きたくないと回答した人はわずかな3%だけである。ベトナム人回答者の多くは就職のための専門学校に通っているためでもある。ベトナムの人にとって「日本で稼ぐ」ことは来日する目的でもあると考えられている。

日本で就職したいか不明の割合は、中国人では37%、韓国人では20%と高い。自国の就職状況によってこの数値は大きく変化すると考えられる。

中国

日本で就職したいのか	回答者数	割合
はい（内定済みも含む）	220	50%
いいえ	60	14%
日本で就職したいのか、就職したくないのかまだ決めていません	164	37%

N = 440

ベトナム

日本で就職したいのか	回答者数	割合
はい（内定済みも含む）	162	84%
いいえ	5	3%
日本で就職したいのか、就職したくないのかまだ決めていません	25	13%

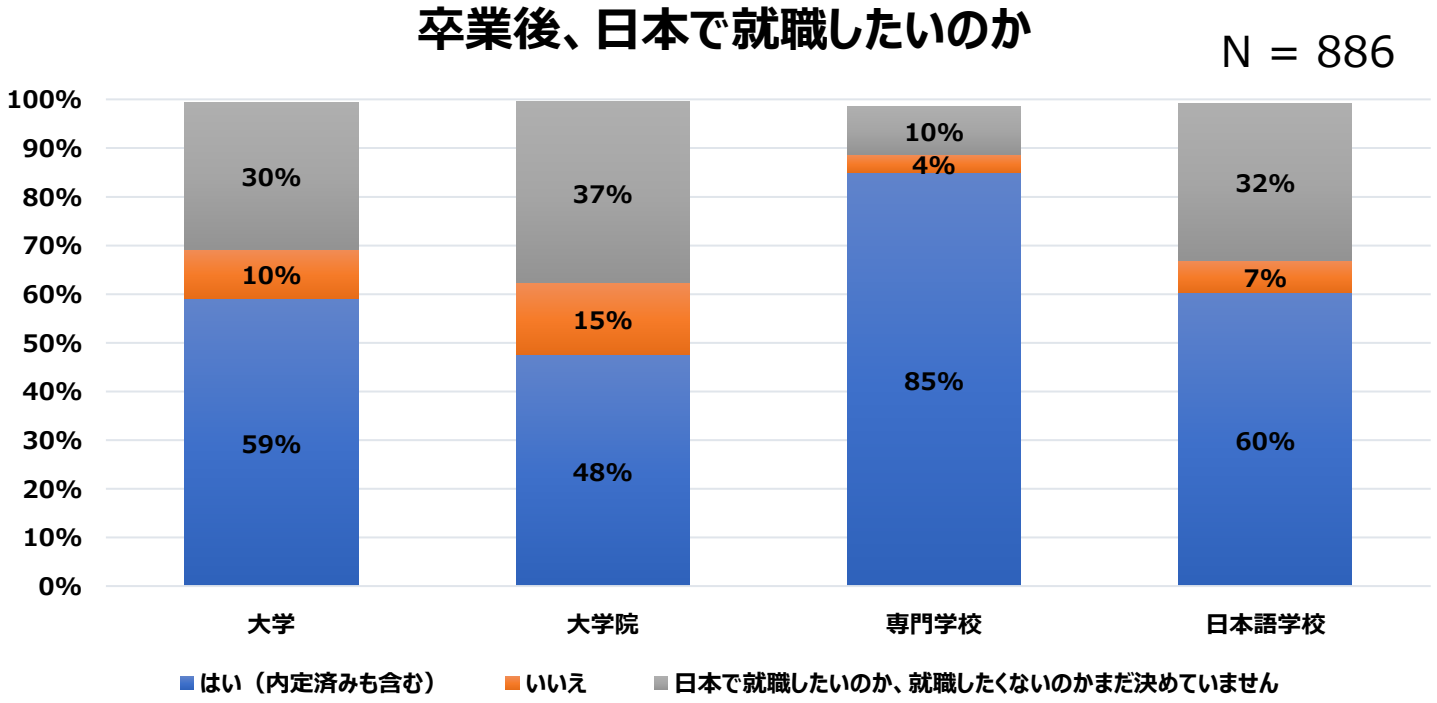
N = 192

韓国

日本で就職したいのか	回答者数	割合
はい（内定済みも含む）	44	69%
いいえ	7	11%
日本で就職したいのか、就職したくないのかまだ決めていません	13	20%

N = 64

日本での就職意志（校種別）



専門学校生は日本で就職することを目的としているので85%が「はい」と回答している。

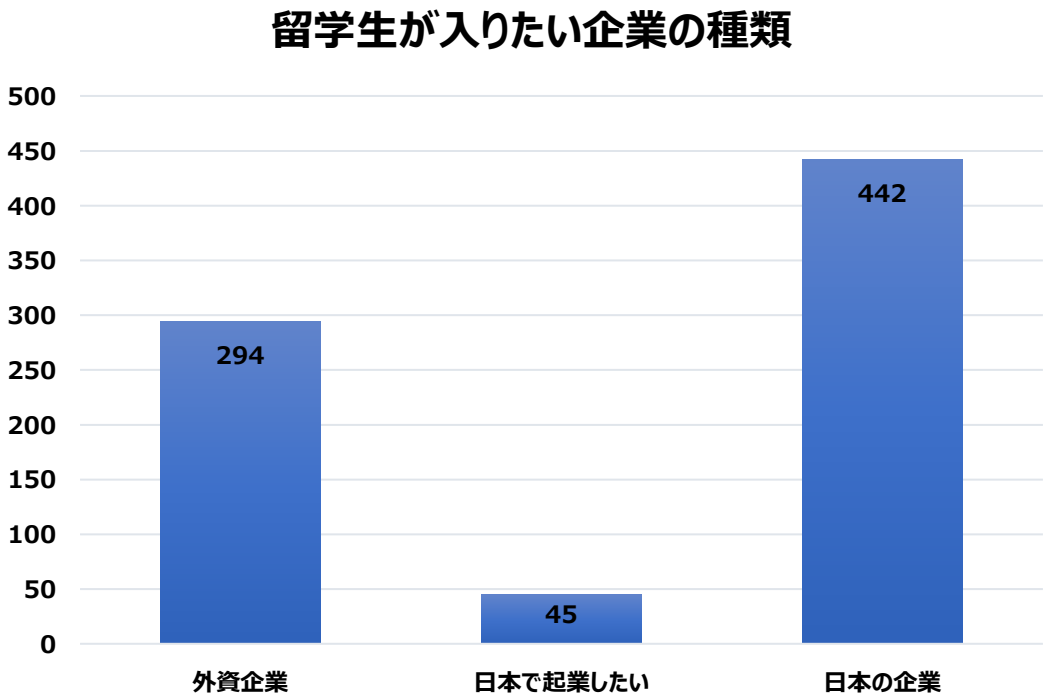
大学・大学院の場合、日本での就職に関してまだ分からない人が多い。卒業後、母国に戻り、就職することを考えたり、第三者の国に留学しに行くことを検討する人も多い。

日本語学校に通っている回答者の32%は日本で働きたいかどうか分からないという。日本語学校に留学する最終目的についてより深く調査することで今後の支援策・誘致策を調整する必要がある。

	大学		大学院		専門学校		日本語学校	
日本で就職したいのか	回答者数	割合	回答者数	割合	回答者数	割合	回答者数	割合
いいえ	34	10%	33	15%	8	4%	8	7%
はい（内定済みも含む）	196	59%	106	48%	181	85%	73	60%
日本で就職したいのか、就職したくないのかまだ決めていません	100	30%	83	37%	21	10%	39	32%
	N = 332		N = 223		N = 213		N = 121	

就職について　希望する方向

Q.　どのような企業に入りたいですか。



N = 781

全ての回答者の85%は日本の企業か外資企業で働きたいという。しかし、就職したい企業の規模についてはまだ情報不足である。

今後、上手く留学生と企業とのマッチングを行うためには、留学生が実際にどのような企業（規模及び分野）に入りたいのかについて調査が有用である。

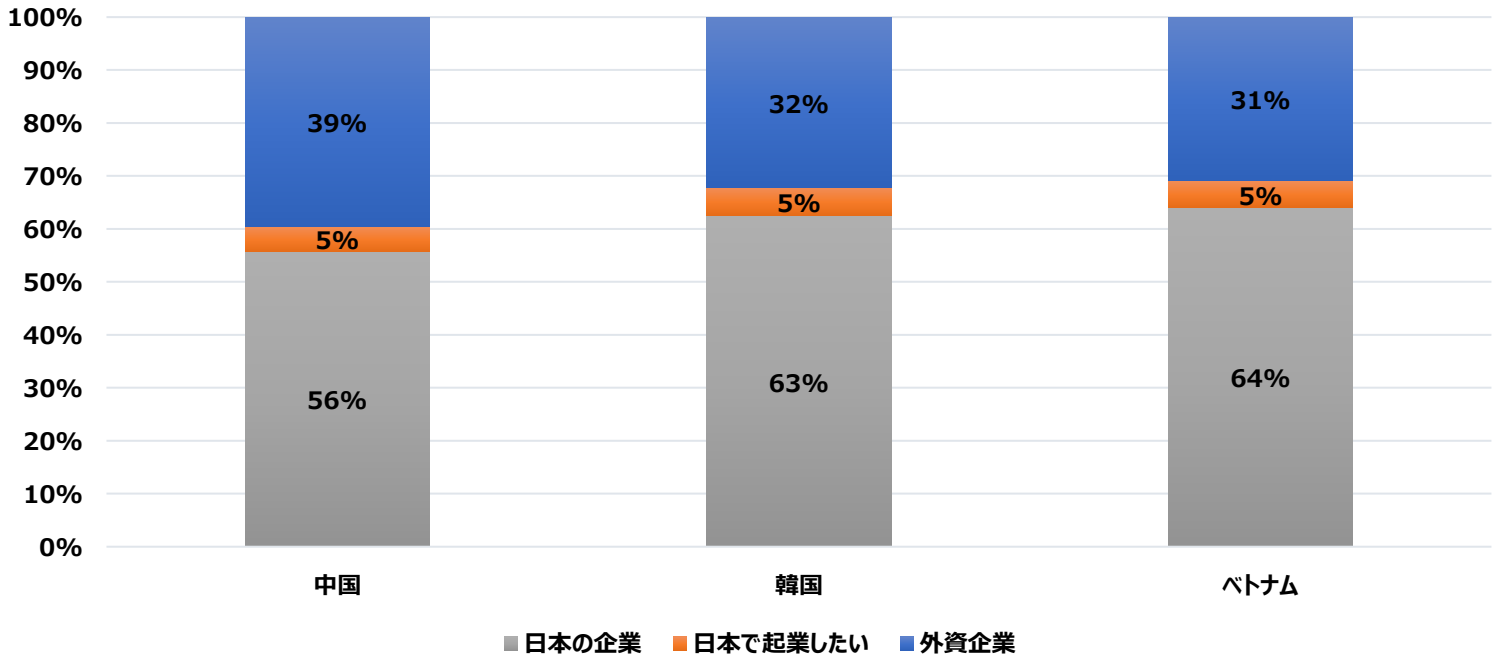
日本で働きたい留学生の38%は外資企業で働きたいと言っているので、今後の就職説明会にも、外資企業の参加が求められる。

入りたい企業の種類	回答者数	日本での就職を検討する人の割合	回答者全員割合
外資企業	294	38%	34%
日本で起業したい	45	6%	5%
日本の企業	442	57%	51%
		N = 781	N = 865*

*781 + 83（日本で就職したくないと回答した人）

就職について　希望する方向（国別）

日本での就職を検討している人はどのような企業に入りたいのか



ベトナムや韓国の留学生は、自国の就職事情もあり、日本企業への就職を希望する割合がやや多い傾向がみられる。

中国

入りたい企業の種類	回答者数	割合
外資企業	148	39%
日本で起業したい	18	5%
日本の企業	209	56%

N = 375

韓国

入りたい企業の種類	回答者数	割合
外資企業	18	32%
日本で起業したい	3	5%
日本の企業	35	63%

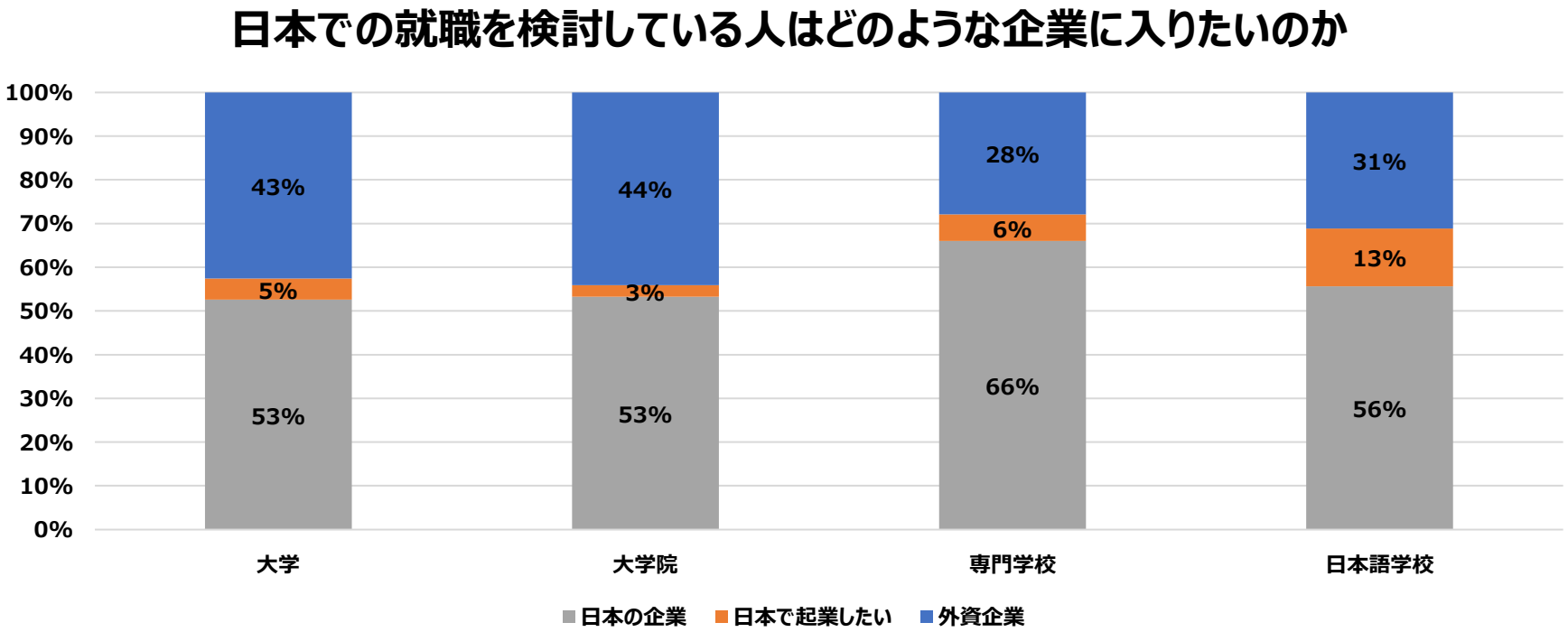
N = 56

ベトナム

入りたい企業の種類	回答者数	割合
外資企業	55	31%
日本で起業したい	9	5%
日本の企業	114	64%

N = 178

就職について　希望する方向（校種別）



大学・大学院・日本語学校に通っている留学生の中では大きな差がないが、専門学校生では日本の企業で働きたい割合が高い（66%）。具体的な理由について、定性調査で調べて、外資企業・日本企業で働くことに関して、留学生が考えているそれぞれのメリット・デメリットを把握した方が良い。

サンプル数は低いが、日本語学校の留学生が平均より日本で「起業」したい気持ちが強い。日本語学校生が日本に来る理由についてさらに深く調べる必要がある。

大学

入りたい企業の種類	回答者数	割合
外資企業	123	43%
日本で起業したい	14	5%
日本の企業	152	53%

N = 289

大学院

入りたい企業の種類	回答者数	割合
外資企業	82	44%
日本で起業したい	5	3%
日本の企業	99	53%

N = 186

専門学校

入りたい企業の種類	回答者数	割合
外資企業	55	28%
日本で起業したい	12	6%
日本の企業	130	66%

N = 197

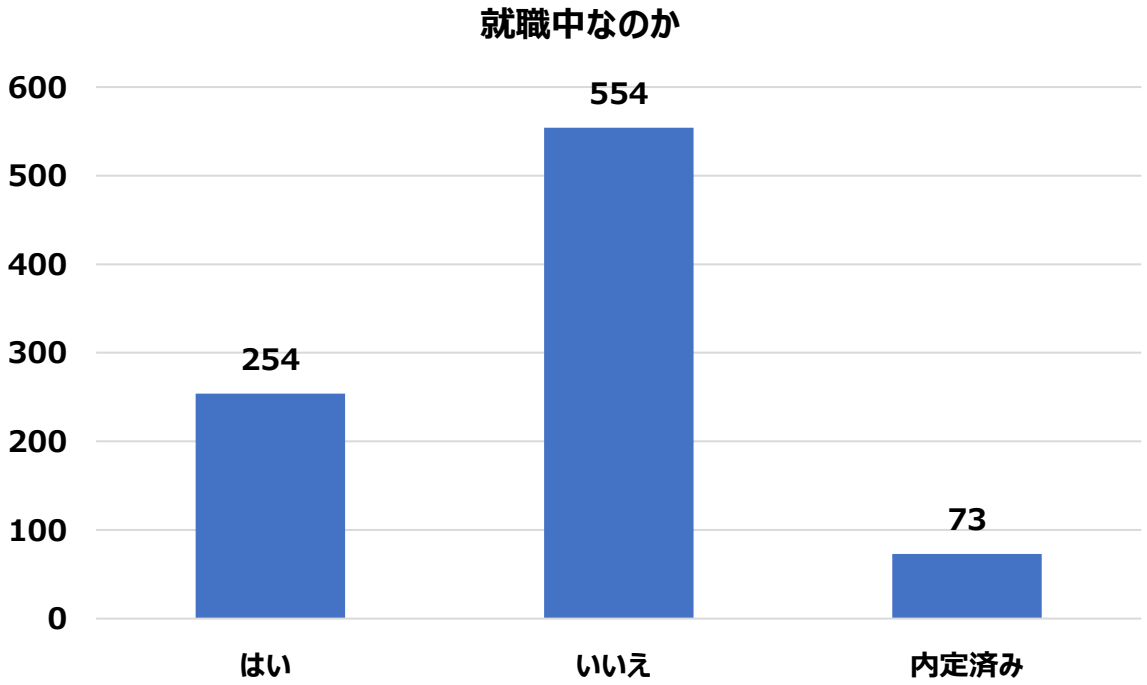
日本語学校

入りたい企業の種類	回答者数	割合
外資企業	33	31%
日本で起業したい	14	13%
日本の企業	59	56%

N = 106

就職のステータス

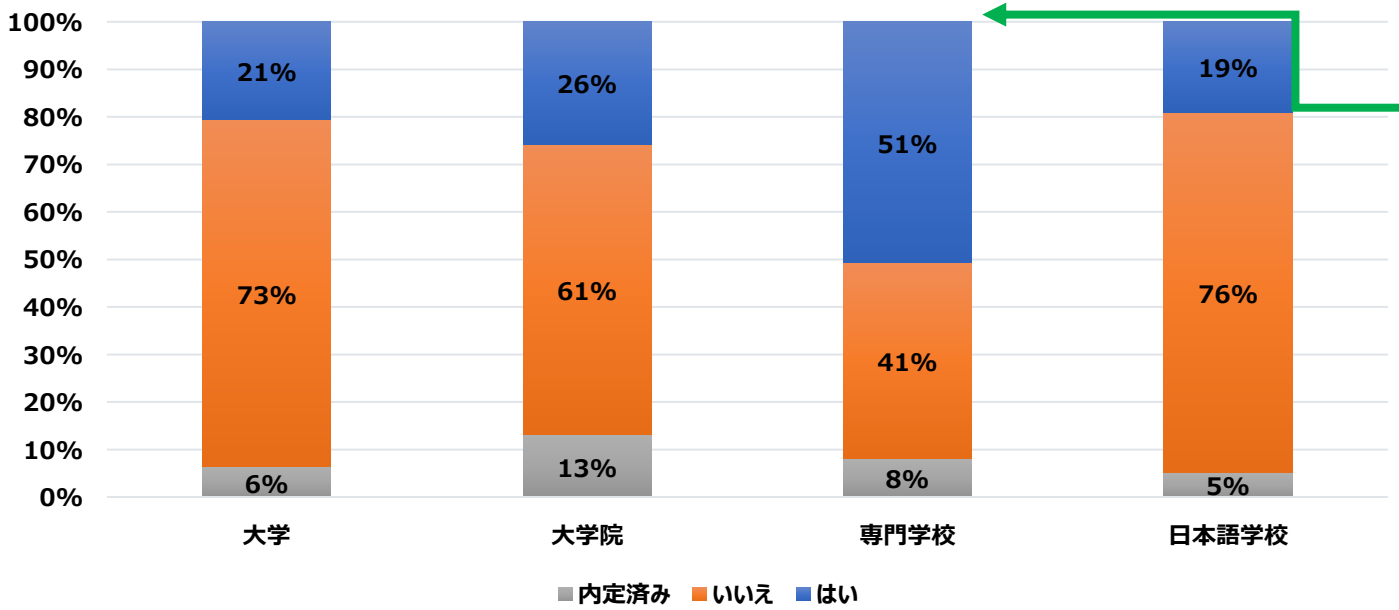
Q. 就職活動中ですか

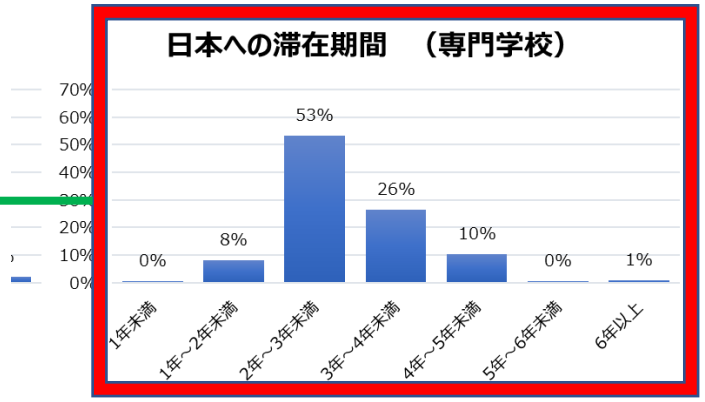


N = 881

就職中なのか	回答者数	割合
はい	254	29%
いいえ	554	63%
内定済み	73	8%

就職のステータス（校種別）





この数字は学校の種類別だけではなく、それぞれの学校の種類に通っている人の平均滞在期間によっても大きく影響されていると思われる。滞在期間によって、それぞれの留学生のライフステージが違うため、滞在期間別のステータスを見た方が良い（次頁参照）。例えば、専門学校生の回答者の92%は2年間以上の滞在者であるため、就活中の留学生回答者が割合に多いと考えられる。

大学

就職中なのか	回答者数	割合
はい	68	21%
いいえ	241	73%
内定済み	21	6%

N = 330

大学院

就職中なのか	回答者数	割合
はい	57	26%
いいえ	136	61%
内定済み	29	13%

N = 222

専門学校

就職中なのか	回答者数	割合
はい	106	51%
いいえ	86	41%
内定済み	17	8%

N = 209

日本語学校

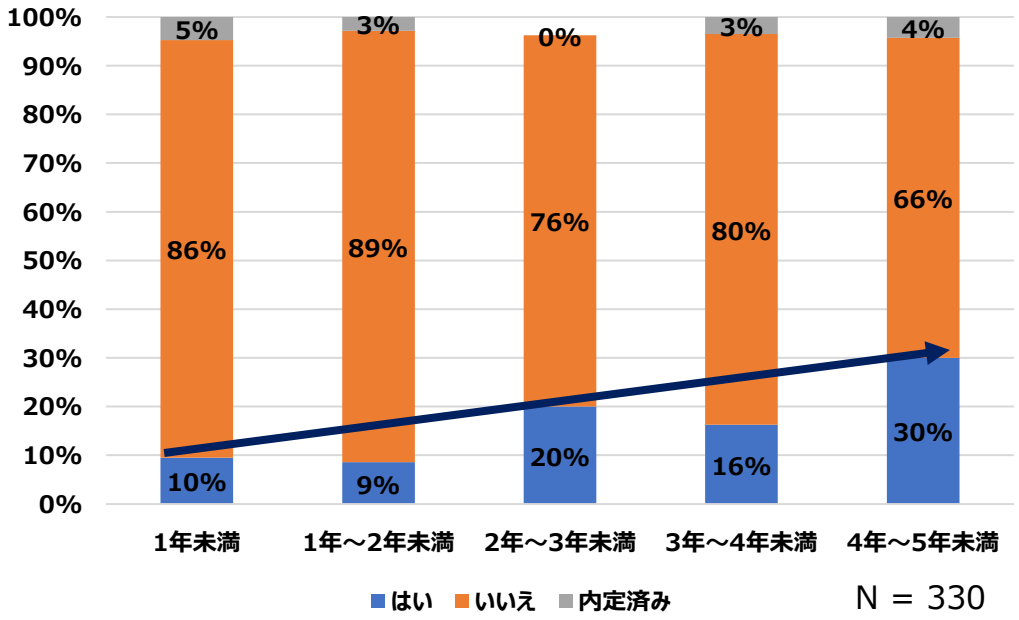
就職中なのか	回答者数	割合
はい	22	19%
いいえ	88	76%
内定済み	6	5%

N = 116

就職のステータス（校種　x 滞在期間別）

大学

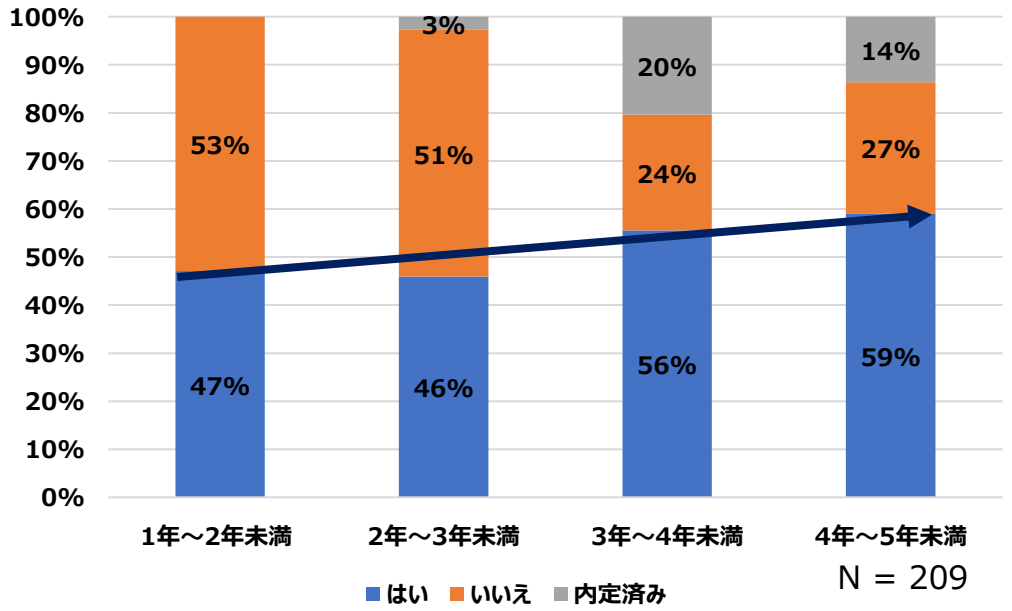
就職中なのか　（滞在期間別）



N = 330

専門学校

就職中なのか　（滞在期間別）

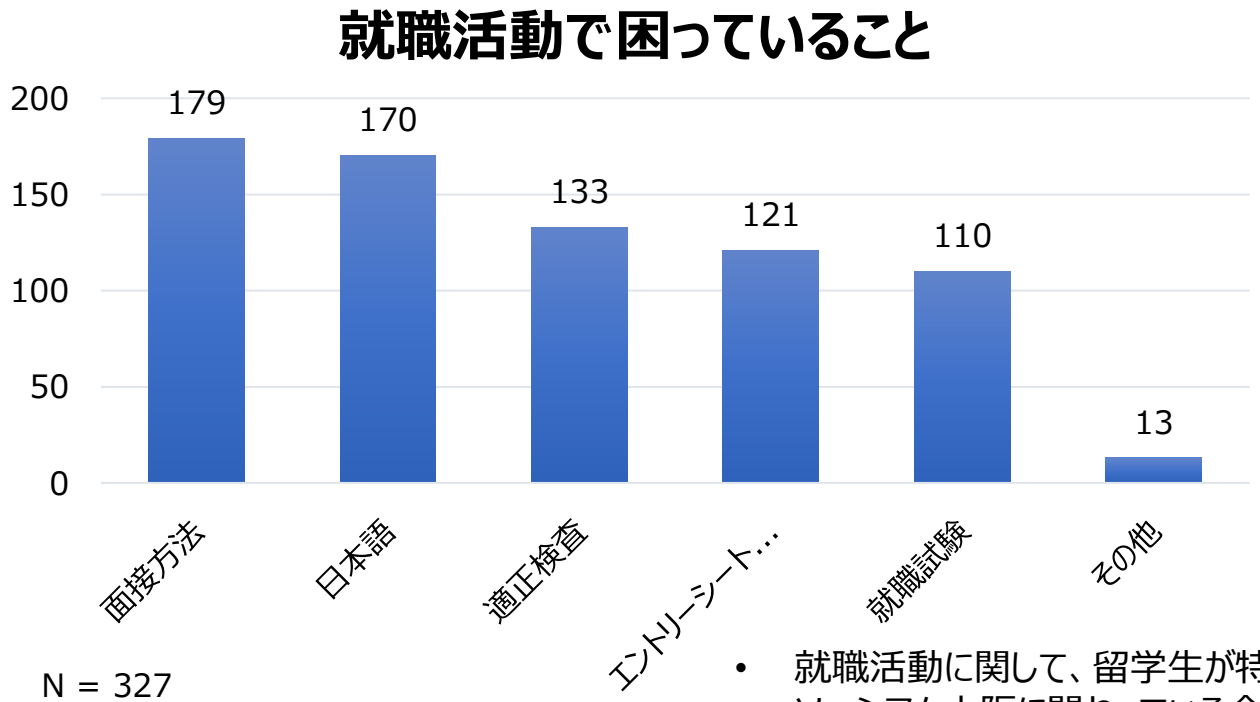


N = 209

- 日本での滞在期間が長くなるにつれて、就職活動中の留学生が割合に多くなるというトレンドが明確である。
- 大学と専門学校に通っている留学生の間には、就職活動中であるかないかに格段の相違があり、専門学校生の目的が就職であるためと思われる。

就職で困っていること

Q. 就労に関して、苦労している（苦労した）ことは何ですか

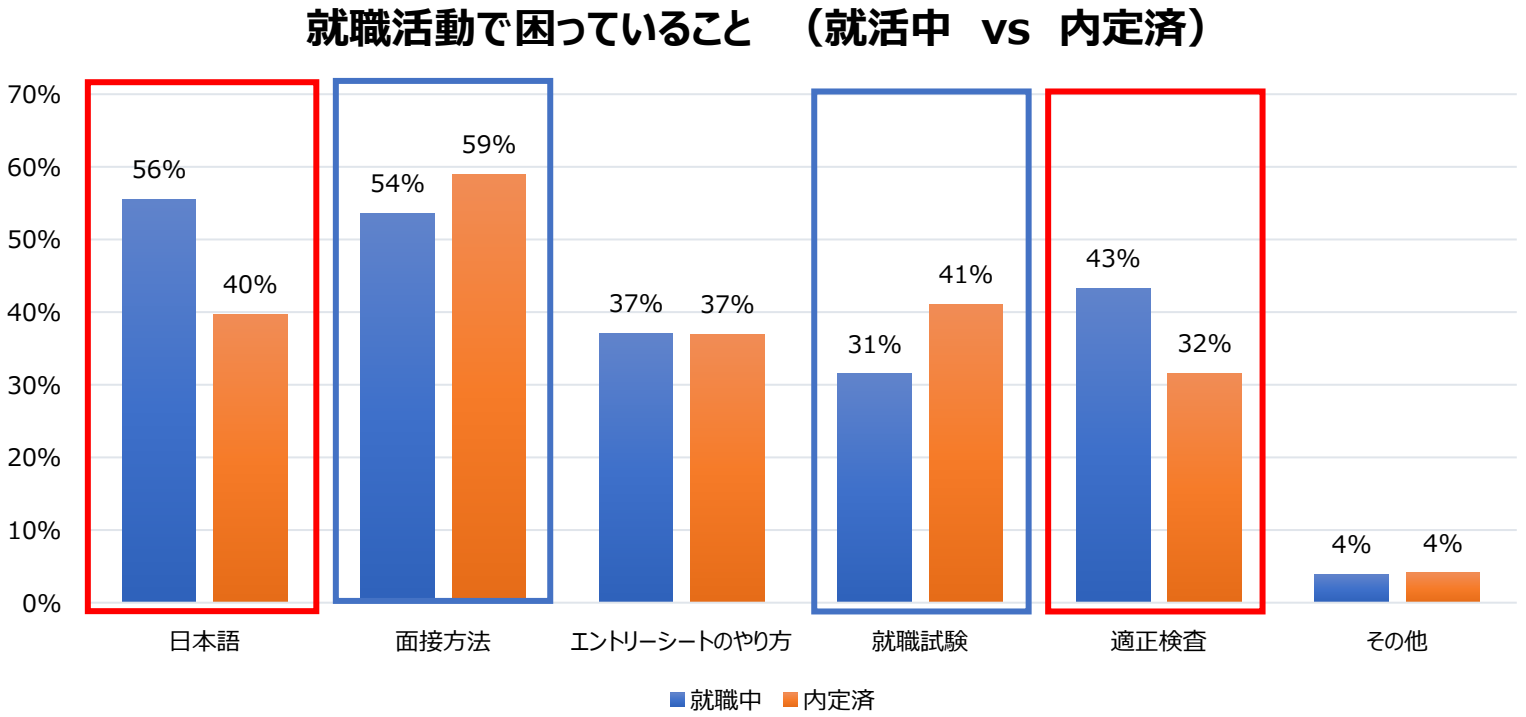


N = 327

	苦労したこと	回答者数	割合
1	面接方法	**179**	55%
2	日本語	**170**	52%
3	適正検査	**133**	41%
4	エントリーシートのやり方	**121**	37%
5	就職試験	**110**	34%
6	その他	**13**	4%

- 就職活動に関して、留学生が特に苦労しているのは面接方法や日本語である。なお、留学生支援コンソーシアム大阪に関わっている企業から、採用側の企業の声として日本語能力とコミュニケーション力を採用のポイントにしていると聞いている。
- 面接方法について、studyinosaka.comに就職に向けたよくある流れや面接時のエチケット及びベストプラクティスをページ・記事・動画で紹介すれば効果があるかもしれない。
- また、OGSAN（留学生のアンバサダーネットワーク）の「メンター」システムを充実させ、就職活動中の留学生が先輩からアドバイスがもらえる機会を作ったり、バディーシステムを構築したりするのも良いかもしれない。

就職で困っていること　（就活中 vs 内定済）



	はい （就職中）		内定済	
苦労していること	回答者数	割合	回答者数	割合
日本語	141	56%	29	40%
面接方法	136	54%	43	59%
エントリーシートのやり方	94	37%	27	37%
就職試験	80	31%	30	41%
適正検査	110	43%	23	32%
その他	10	4%	3	4%
	N = 254		N = 73	

- 内定を既にもらった人はまだもらっていない人ほど日本語のことで困っていなかった。内定を得たことで、日本語に自信を持つようになったのか、あるいは日本語で困難だと考えている人の方が就職しにくいという考え方もある。なお、適正検査で苦労している割合は就職中の留学生の方が高い。

- まだ就職活動中の留学生と比較して、内定済の留学生の方が面接方法や就職試験で困った人の割合が高い。この要因を探るために調査することも大切である。この2項目に高い優先順位をつけて、studyinosaka.comで留学生に役に立つ情報を発信した方が良いかもしれない。

就職活動　まとめ

- **63%の留学生は日本で就職したい**

63%の留学生は日本で就職を希望している。そして、28%の留学生はまだ日本で就職したいか、したくないか決めていないという。まだ日本で就職したいのかどうか決められていない人たちは何が原因で決められていないのか調査することで、どのような情報を提供すると留学生が安心し、日本での就職に取組んでもらえるのか分かるかもしれない。

- **日本の企業はメインだが、外資企業も人気**

ほとんどの日本で就職したい留学生は日本の企業に就職したいというが、38%の留学生は外資企業に入りたいという結果である。今後の就職支援策を考える際にも、このニーズを配慮した方が良い。

- **就職で困っていること：日本語、面接方法、適正検査**

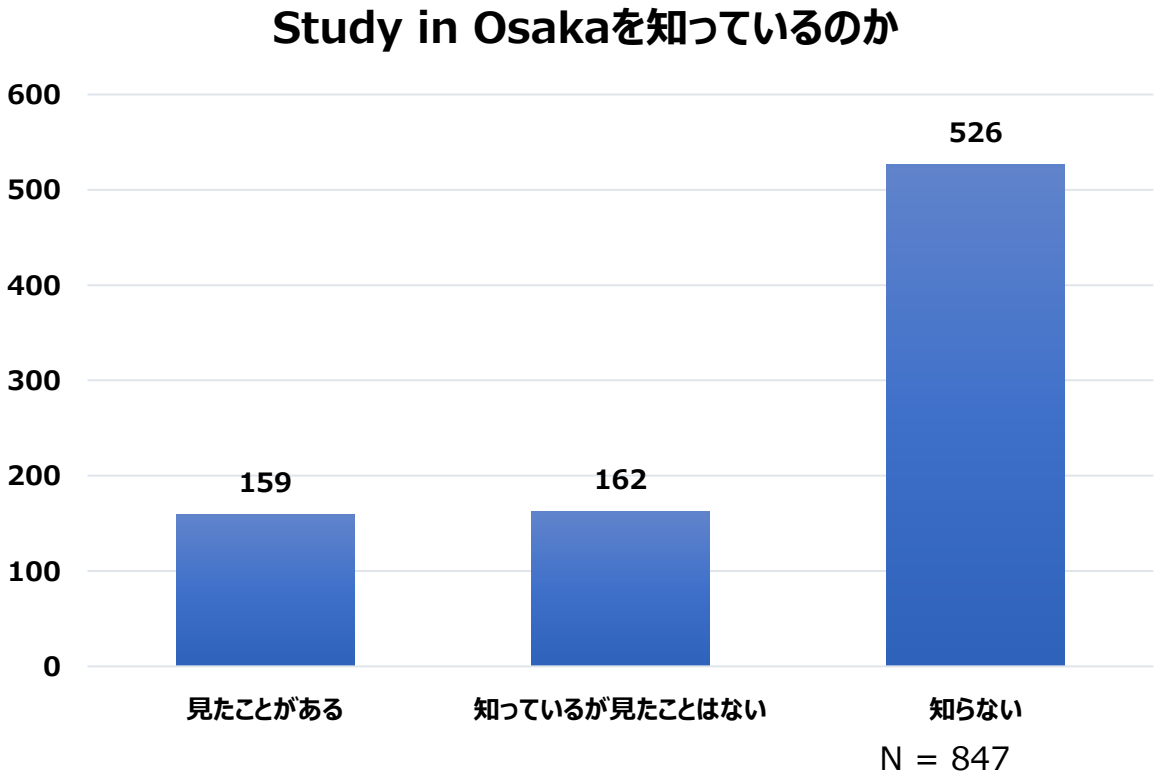
日本語以外にも、日本での就職時の面接方法や適正検査も課題として挙げられている。上記に関する支援を提供している組織は多いと思われているが、それらのサービスをまとめ、留学生に知ってもらえるように発信する必要があるかもしれない。

VI

留学生支援コンソーシアム大阪の取り組みについて

Studyinosaka.comの認知度

Q. Study in Osaka（www.studyinosaka.com）という留学生向けのポータルサイトを知っていますか

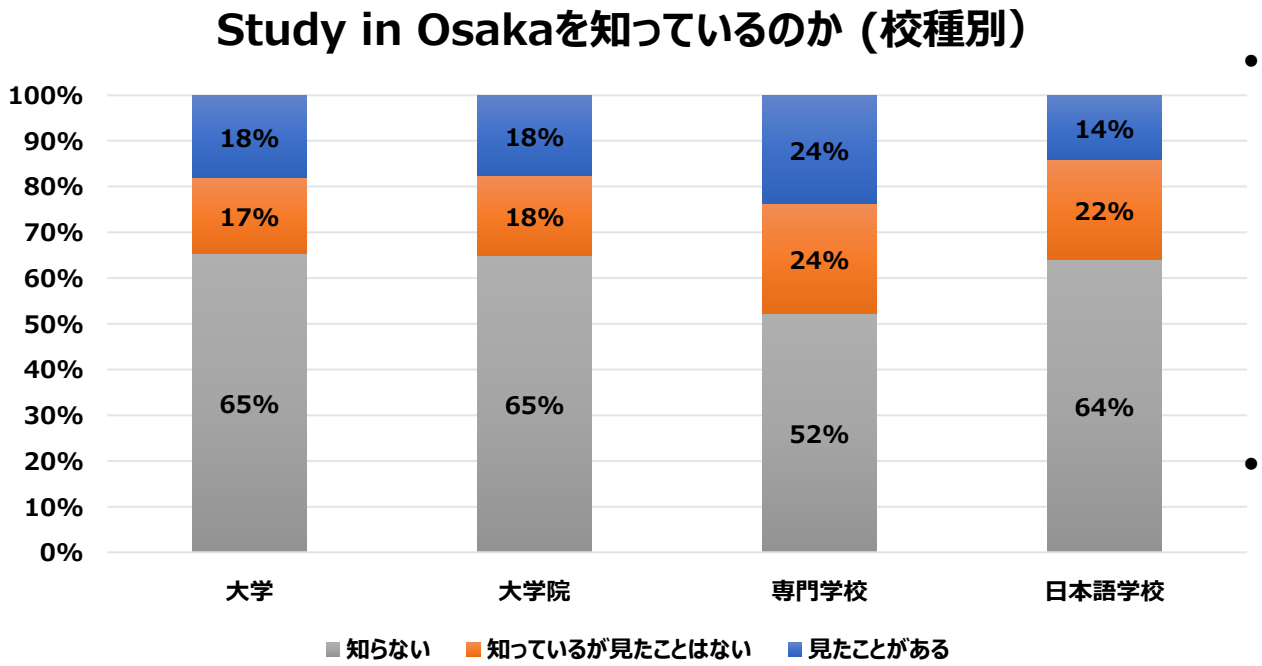


www.studyinosaka.com

認知度	回答者数	割合
見たことがある	159	19%
知っているが見たことはない	162	19%
知らない	526	62%

毎年のポータルサイトの認知度向上を確認するためにこの認知度をKPIにあげ、それを達成するための情報発信戦略を設定した方が良い。

Studyinosaka.comの認知度（校種別）



- Study in Osakaのポータルサイトは特に専門学校生で知られている傾向がある。これは、留学生支援コンソーシアム大阪の事務局の活動による成果かもしれない。専門学校生に知ってもらえるようにさらに力を入れながら、大学や大学院への広報活動にもっと力を入れた方が良い。
- 留学生が実際に求めている情報を調査し、留学生が実際に使いたい、役に立つポータルサイトを目指す必要がある。

大学

就職中なのか	回答者数	割合
見たことがある	58	18%
知っているが見たことはない	53	17%
知らない	210	65%

N = 321

大学院

就職中なのか	回答者数	割合
見たことがある	38	18%
知っているが見たことはない	38	18%
知らない	141	65%

N = 217

専門学校

就職中なのか	回答者数	割合
見たことがある	47	24%
知っているが見たことはない	48	24%
知らない	104	52%

N = 199

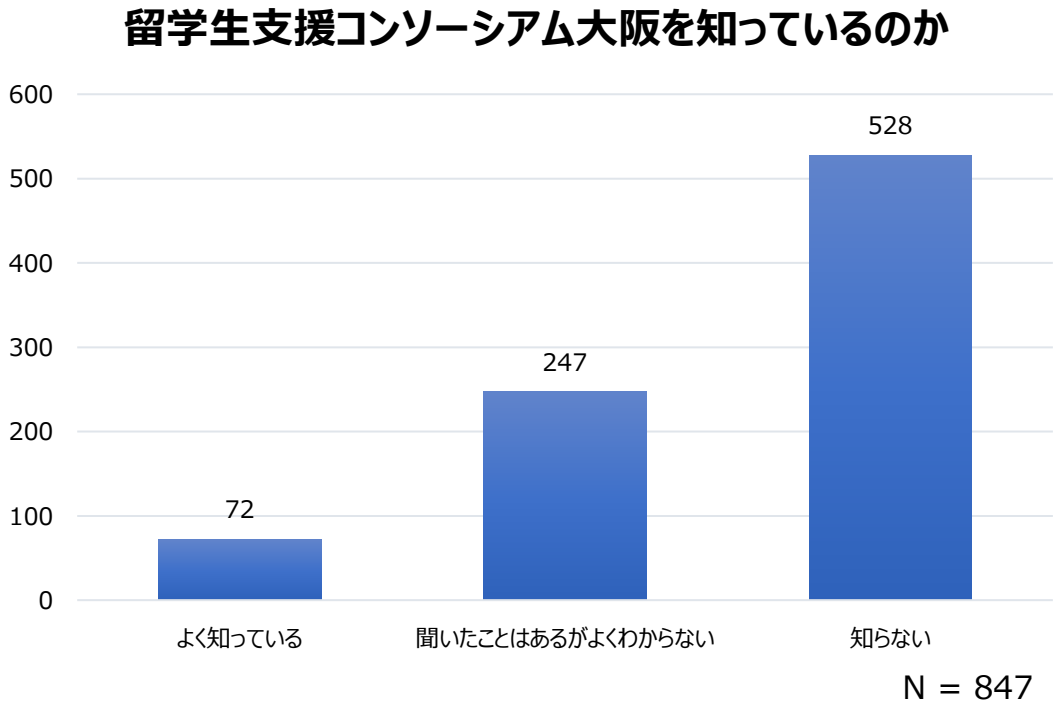
日本語学校

就職中なのか	回答者数	割合
見たことがある	15	14%
知っているが見たことはない	23	22%
知らない	68	64%

N = 106

OGSAの認知度

Q.「留学生支援コンソーシアム大阪」という組織を知っていますか。



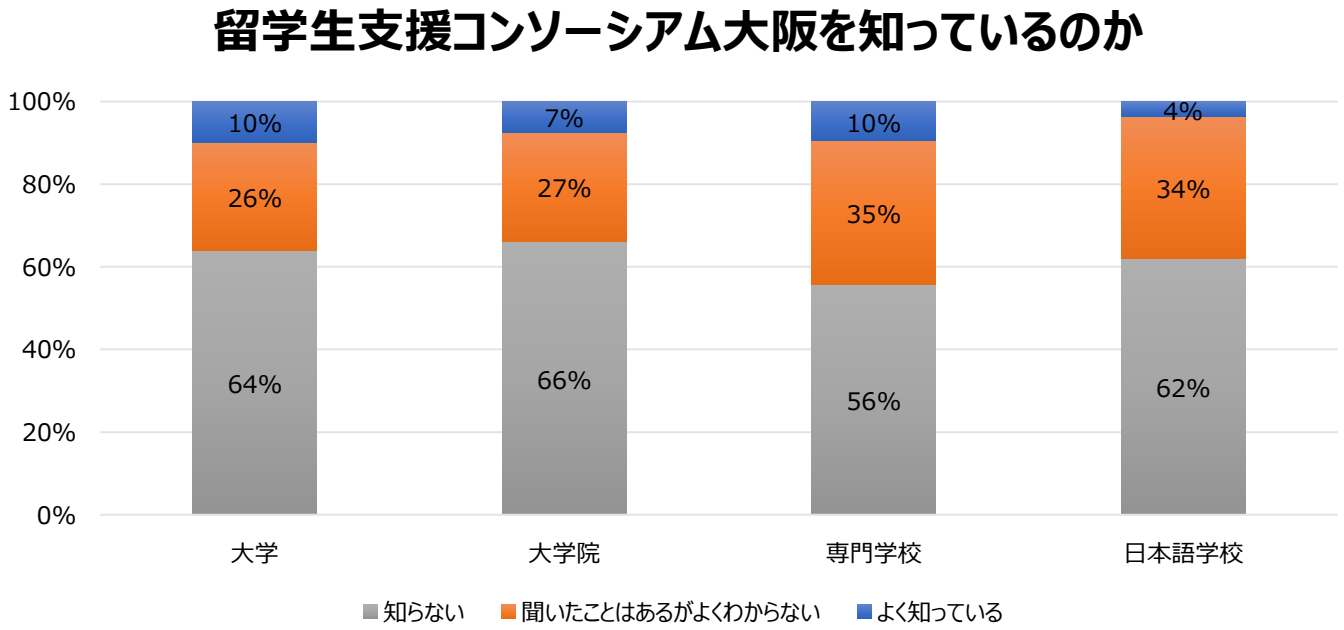
N = 847

認知度	回答者数	割合
よく知っている	72	9%
聞いたことはあるがよくわからない	247	29%
知らない	528	62%

38%の回答者はOGSAについて聞いたことがあると言っているが、多くの回答者はOGSANなどメーリングリストに入っている人だと思われるので、大阪のすべての留学生からランダムサンプルを取ると、結果がもっと低くなる可能性が高い。
なお、今回の回答者891名のうち、少なくとも217名は昨年のアンケートへの回答者である。

【注】
OGSA = 留学生支援コンソーシアム大阪 (Osaka Global Student Support Association)

OGSAの認知度（校種別）



ポータルサイトの認知度と同様、OGSAの認知度も専門学校生が一番高い。

大学

就職中なのか	回答者数	割合
よく知っている	32	10%
聞いたことはあるがよくわからない	84	26%
知らない	205	64%

N = 321

大学院

就職中なのか	回答者数	割合
よく知っている	16	7%
聞いたことはあるがよくわからない	57	27%
知らない	142	66%

N = 215

専門学校

就職中なのか	回答者数	割合
よく知っている	19	10%
聞いたことはあるがよくわからない	69	35%
知らない	111	56%

N = 199

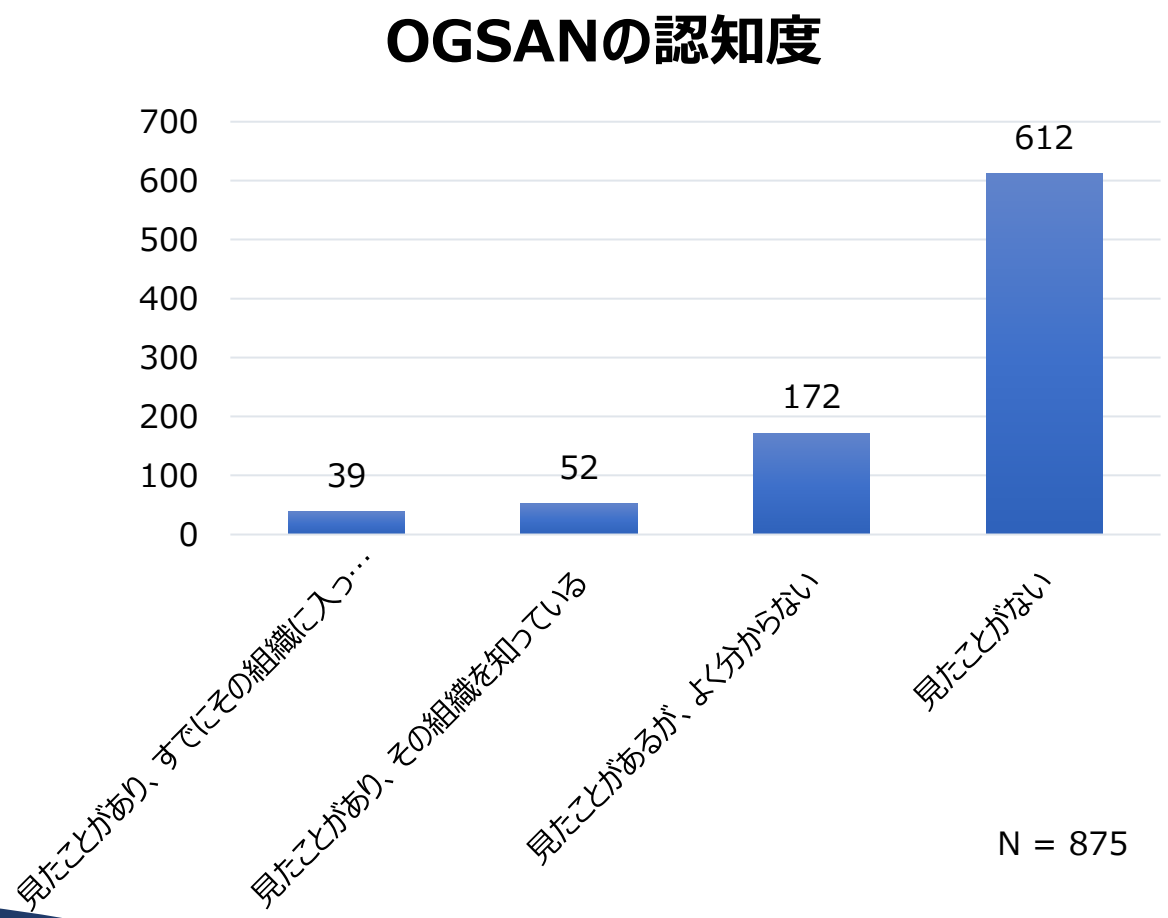
日本語学校

就職中なのか	回答者数	割合
よく知っている	4	4%
聞いたことはあるがよくわからない	37	34%
知らない	67	62%

N = 108

OGSANの認知度

Q. このロゴマークを見たことがありますか。

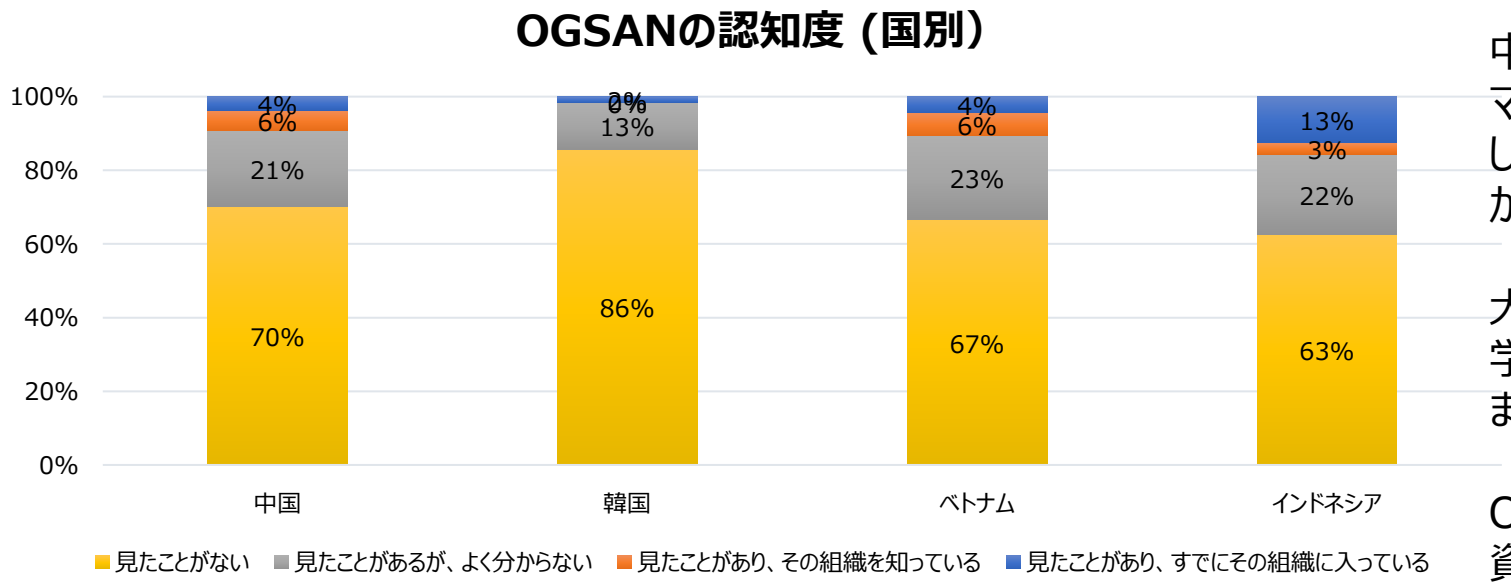


認知度	回答者数	割合
見たことがあり、すでにその組織に入っている	39	4%
見たことがあり、その組織を知っている	52	6%
見たことがあるが、よく分からない	172	20%
見たことがない	612	70%

30%の回答者はロゴマークを見たことがあるという。2022年1月15日時点ではOGSANには200名のメンバーが入っているが、２4%のメンバーにしか今回のアンケート調査に回答してもらえなかった。この部分は解決しなければならない。

【注】
OGSAN = 留学生のアンバサダーネットワーク (Osaka Global Student Ambassador Network)

OGSANの認知度 （国別）



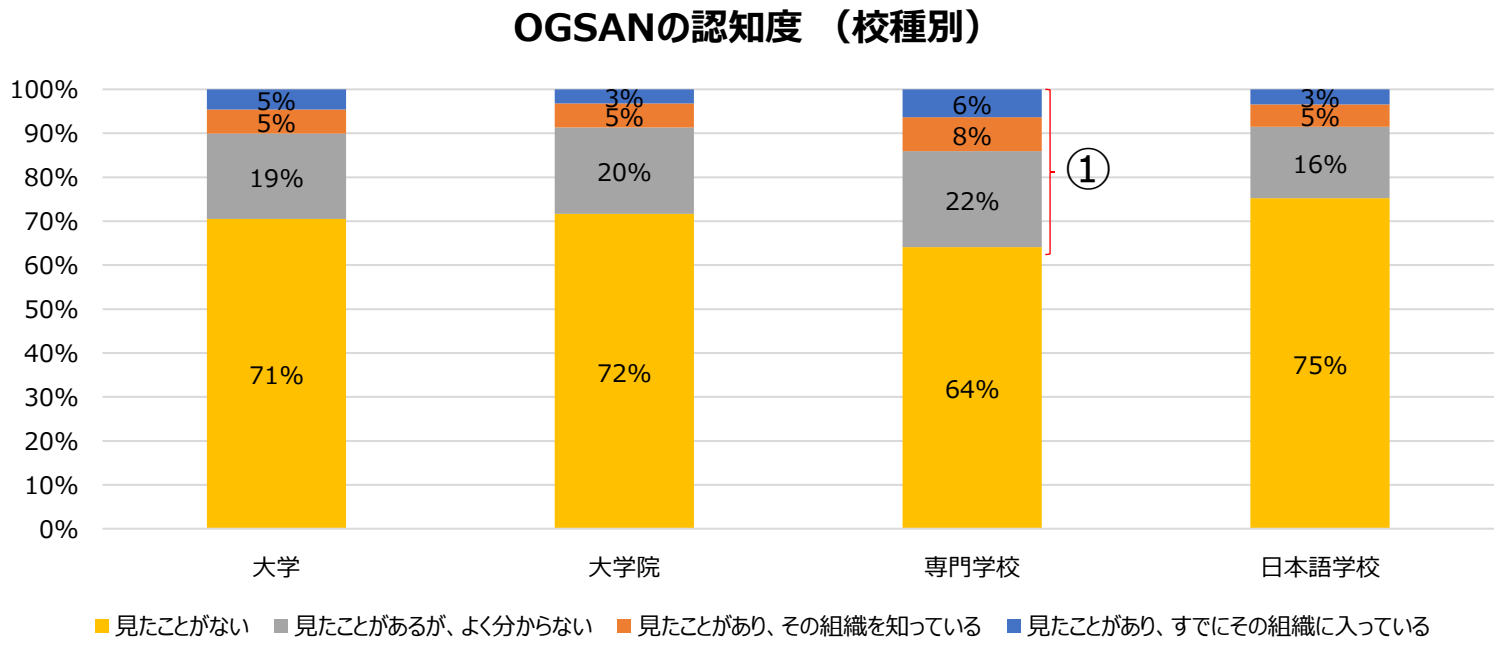
中国・ベトナム・インドネシア人の回答者ではロゴマークは約30%に見られたことがあるという。
しかし、韓国人留学生の場合、15%しか見たことがないという。

大阪で学んでいる留学生の人口では、韓国人留学生は第3番目人数の多い割合であるのに、まだまだ十分に韓国人留学生にリーチできていない。

OGSANを紹介する韓国語でのクリエイティブ及び資料を作ると効果があるかもしれない。

認知度	中国 回答者数	中国 割合	韓国 回答者数	韓国 割合	ベトナム 回答者数	ベトナム 割合	インドネシア 回答者数	インドネシア 割合
見たことがあり、すでにその組織に入っている	16	4%	1	2%	8	4%	4	13%
見たことがあり、その組織を知っている	25	6%	0	0%	12	6%	1	3%
見たことがあるが、よく分からない	90	21%	8	13%	42	23%	7	22%
見たことがない	307	70%	54	86%	124	67%	20	63%
	N = 438		N = 63		N = 186		N = 32	

OGSANの認知度 （校種別）

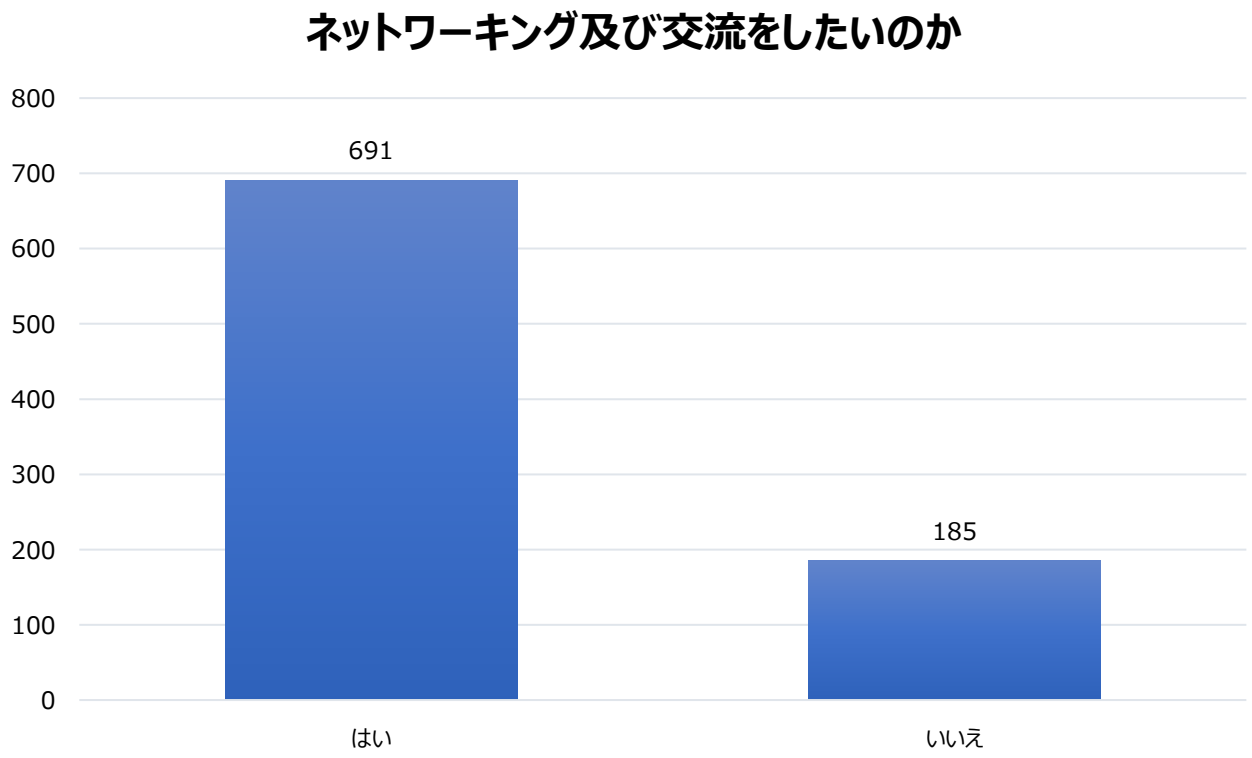


	大学		大学院		専門学校		日本語学校	
認知度	回答者数	割合	回答者数	割合	回答者数	割合	回答者数	割合
見たことがあり、すでにその組織に入っている	15	5%	7	3%	13	6%	4	3%
見たことがあり、その組織を知っている	18	5%	12	5%	16	8%	6	5%
見たことがあるが、よく分からない	64	19%	43	20%	45	22%	19	16%
見たことがない	232	71%	157	72%	132	64%	88	75%
	N = 329		N = 219		N = 206		N = 117	

① OGSANの認知度は専門学校生が一番高い。今後大学・大学院・日本語学校にもリーチできるように戦略を作った方が良い。

ネットワーキング及び交流に参加する意思

Q. 他の留学生とのネットワーキングおよび交流をしたいですか。

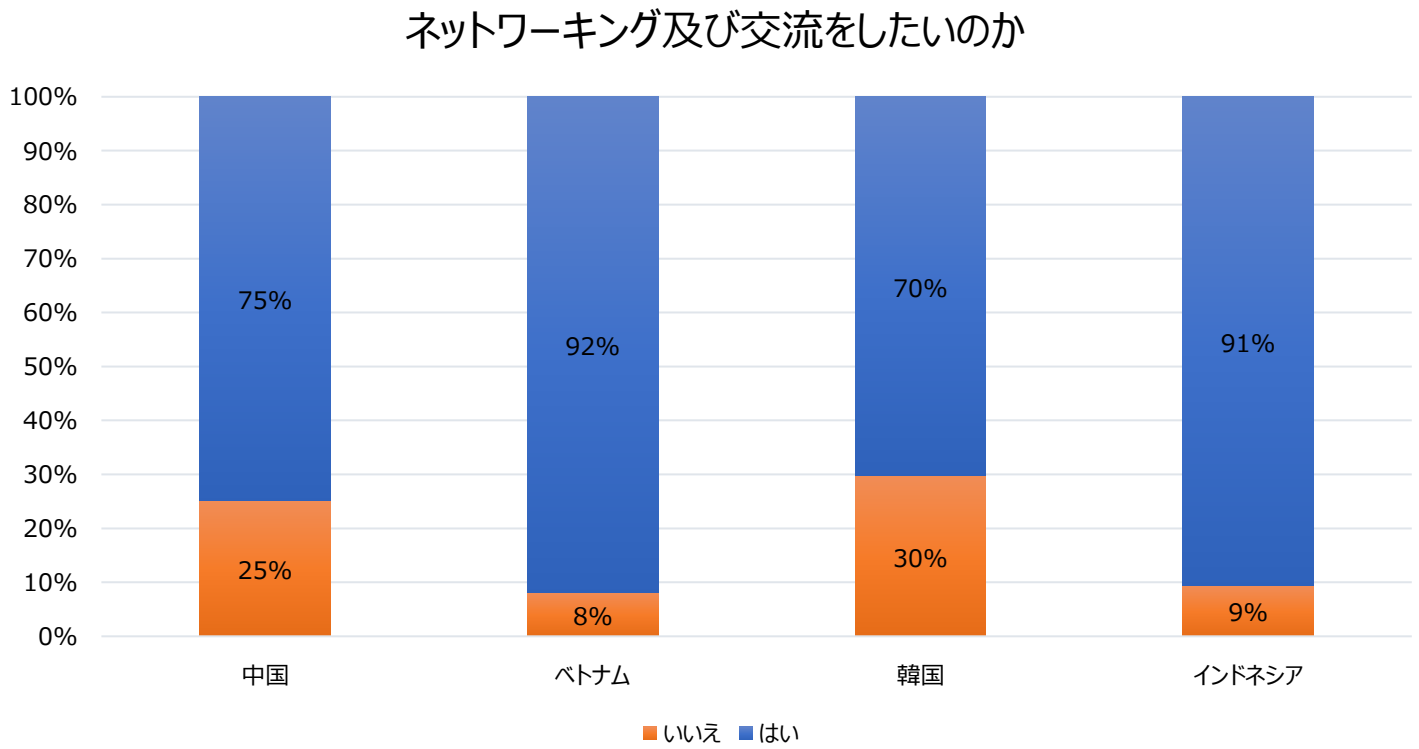


交流したいのか	回答者数	割合
はい	691	79%
いいえ	185	21%

N = 876

- ほぼ80%の回答者は他の留学生との交流及びネットワーキングに興味を持っている。
- このような人はOGSANや今後開催する交流型イベントのターゲット市場である。

ネットワーキング及び交流に参加する意思　（国別）



ベトナム人回答者が最も他の留学生とのネットワーキング及び交流に興味を持っていると分かった。
しかし、OGSANのメンバーの国別構造でみると、ベトナム・インドネシア・韓国の国のメンバーが少ない。
（下記）

2022年1月15日時点
OGSAN全員の数　＝　200人
中国人　＝　103人　（52%）
ベトナム人 ＝　25人（12.5%）
インドネシア人 ＝ 13人 (6.5%)
韓国人　＝　5人（3%）

OGSANのリーダーの力を借り、特に交流に興味を持っている人が多いベトナム人とインドネシア人、そして韓国人向けの言語別の宣伝を行った方が良い。

中国

交流したいのか	回答者数	割合
はい	329	75%
いいえ	111	25%

N = 440

ベトナム

回答者数	割合
169	92%
15	8%

N = 184

韓国

回答者数	割合
45	70%
19	30%

N = 64

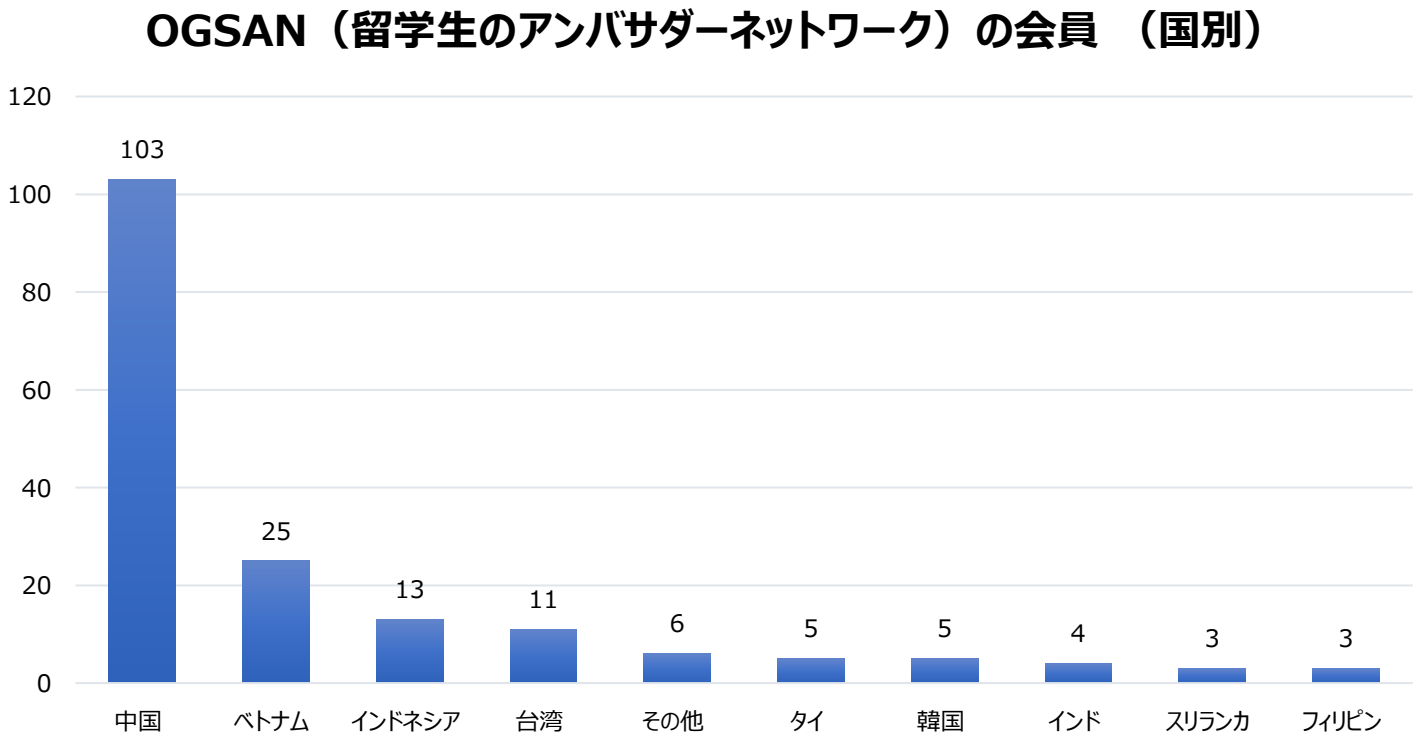
インドネシア

回答者数	割合
29	91%
3	9%

N = 32

付属：OGSANの会員　（2022年1月15日時点）

合計人数：200人



トップ10

	出身地	人数	割合
1	中国	103	52%
2	ベトナム	25	13%
3	インドネシア	13	7%
4	台湾	11	6%
5	その他	6	3%
6	タイ	5	3%
6	韓国	5	3%
8	インド	4	2%
9	スリランカ	3	2%
9	フィリピン	3	2%

OGSAの取り組みについて　まとめ

- **言語別のOGSANの訴求資料を作る必要がある**

他の留学生との国際交流に興味があるベトナム人やインドネシア人はとても多い。しかし、その国からOGSANに入っている留学生数はまだまだ少ない。留学生のアンバサダーに依頼して、OGSANの言語別のポスターや資料の作成をお願いした方が良い。留学生の母国語でOGSANのことについて訴求すると新しいメンバーの増加につながるかもしれない。

- **大学・大学院生にリーチする戦略を考えた方が良い**

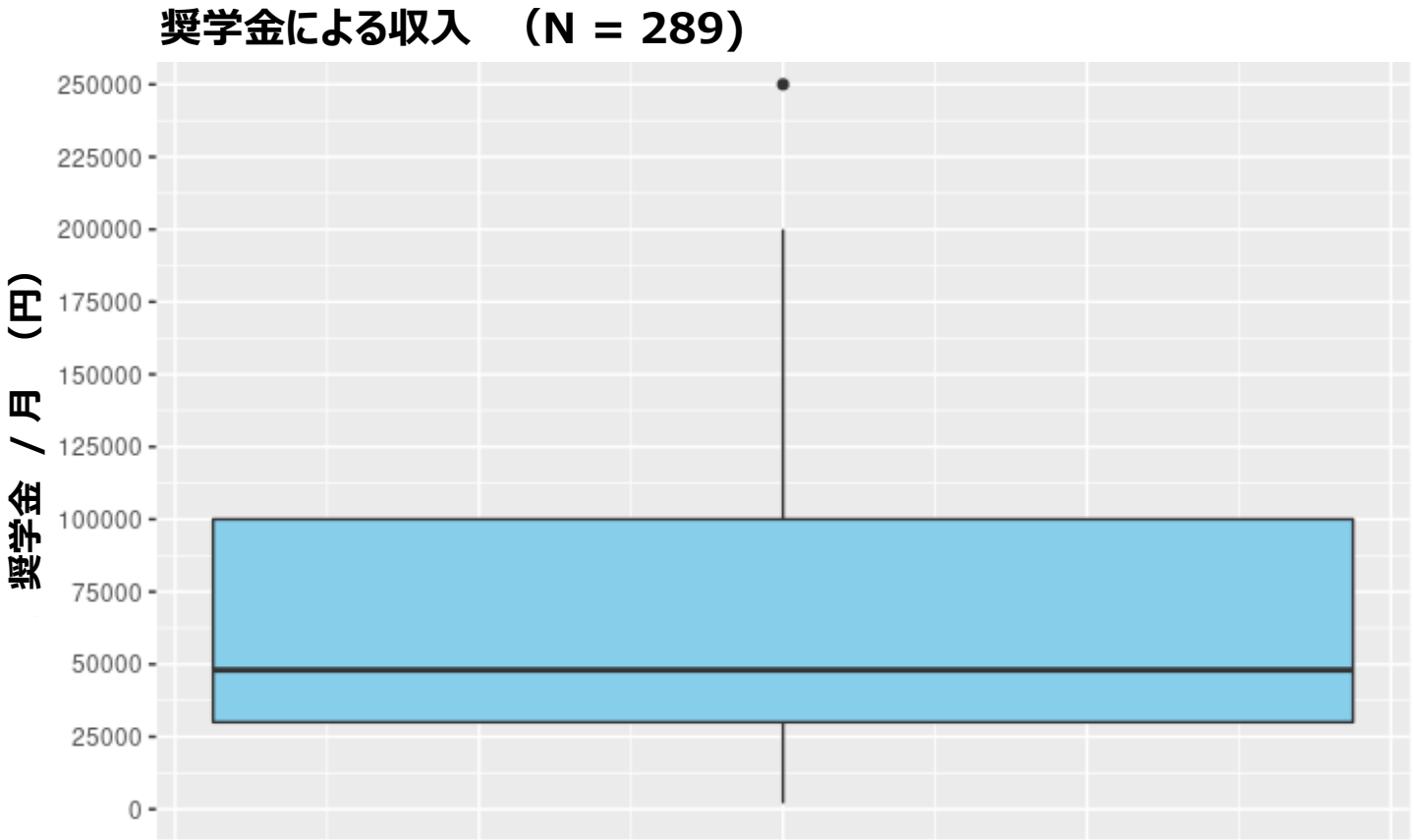
OGSAの取り組み（「Study in Osaka」,「OGSAN」など）はある程度専門学校生に知ってもらえている一方、大学や大学院に通っている留学生には、OGSAの取り組みの認知度が低いと分かった。そのため、専門学校生に継続的に情報発信をしながら、大学・大学院生にリーチする新たな方法を考えた方が良い。

VII

留学生の収支について

奨学金について

奨学金をもらっている回答者の割合：33%（289/727）



	奨学金の金額
25パーセンタイル	30,000円
中央値	48,000円
平均値	66,919円
75パーセンタイル	100,000円

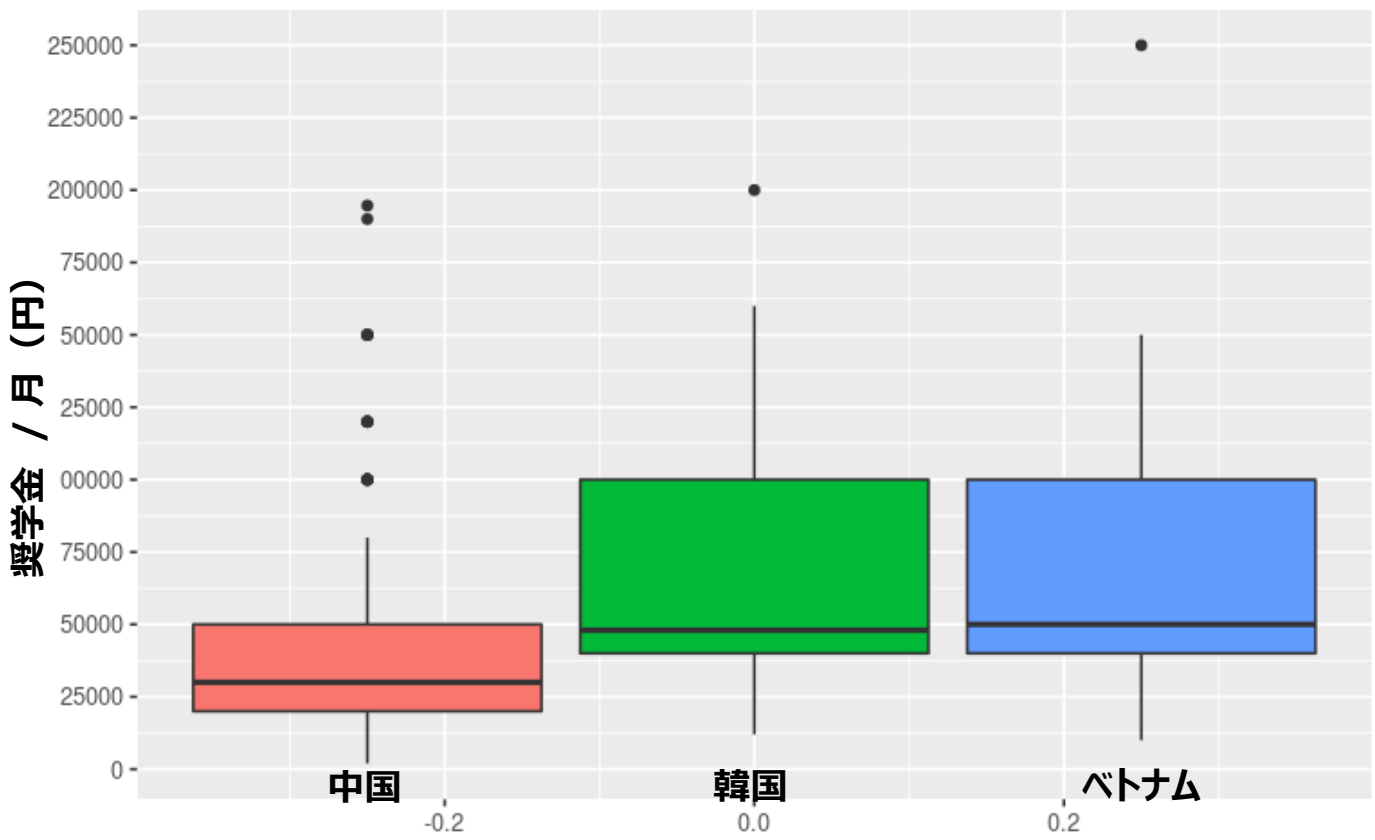
パーセンタイル：小さいほうから順番に並べ、何パーセント目にあたるかを示す言い方

奨学金をもらっている回答者の中で、真ん中の50%は3万円から10万円を毎月もらっている。＊

＊：下から25%の額が3万円で、上から25%の額が10万円である。その間の奨学金の幅（真ん中の50%）が3万円から10万円となる。

奨学金について　（国別）

奨学金による収入　（中国：N = 115、 ベトナム：N = 68、 韓国　= 25）



奨学金をもらっているベトナム人留学生は奨学金をもらっている中国人留学生より奨学金の金額が高い傾向がある。

中国

	奨学金の金額
25パーセンタイル	20,000円
中央値	30,000円
平均値	45,013円
75パーセンタイル	50,000円

N = 115

奨学金	回答者数	割合
あり	115	32%
なし	242	68%

N = 357

韓国

	奨学金の金額
25パーセンタイル	40,000円
中央値	48,000円
平均値	69,840円
75パーセンタイル	100,000円

N = 25

奨学金	回答者数	割合
あり	25	43%
なし	34	57%

N = 59

ベトナム

	奨学金の金額
25パーセンタイル	40,000円
中央値	50,000円
平均値	66,824円
75パーセンタイル	100,000円

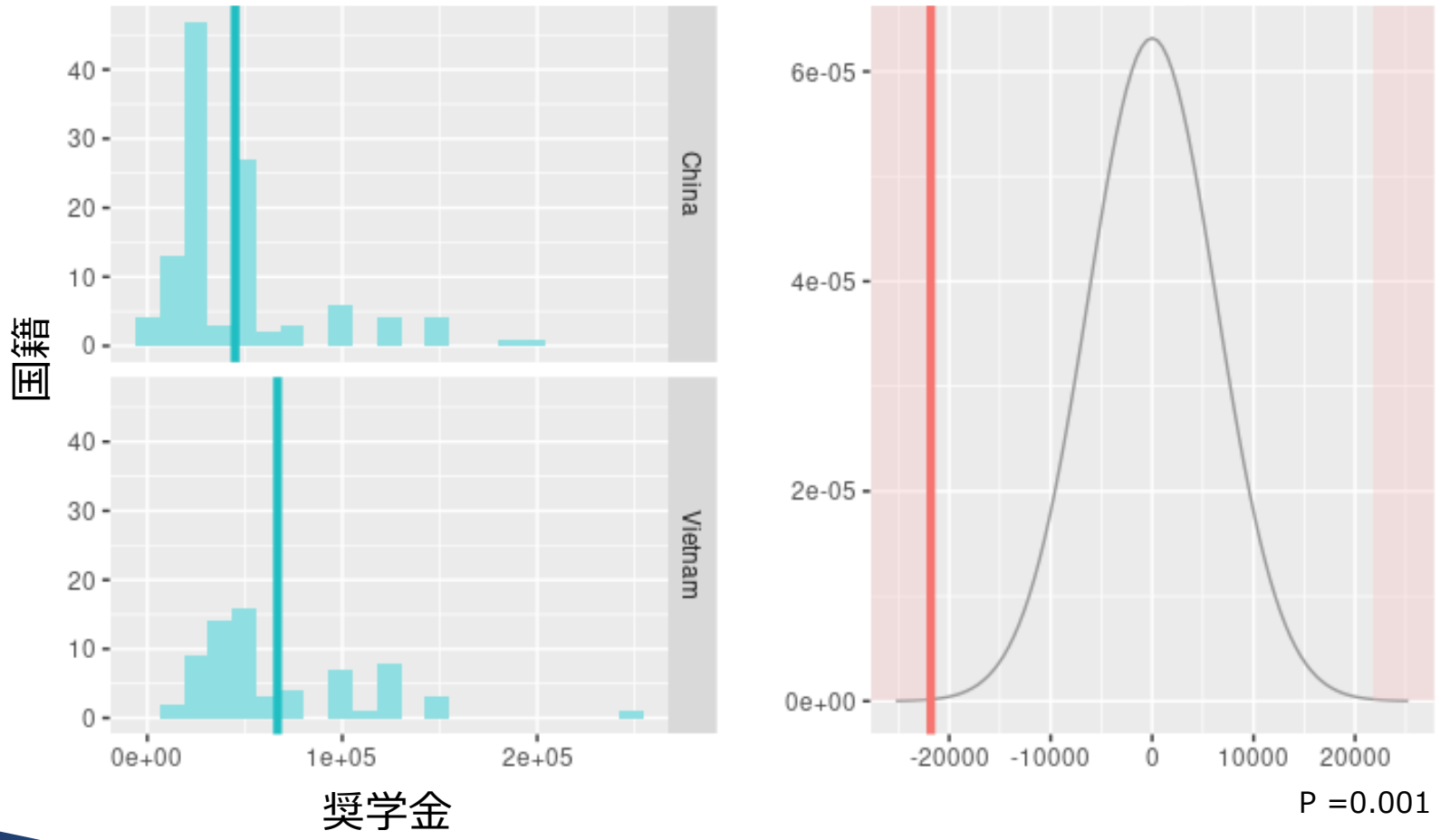
N = 68

奨学金	回答者数	割合
あり	68	46%
なし	80	54%

N = 148

奨学金について　（国別）

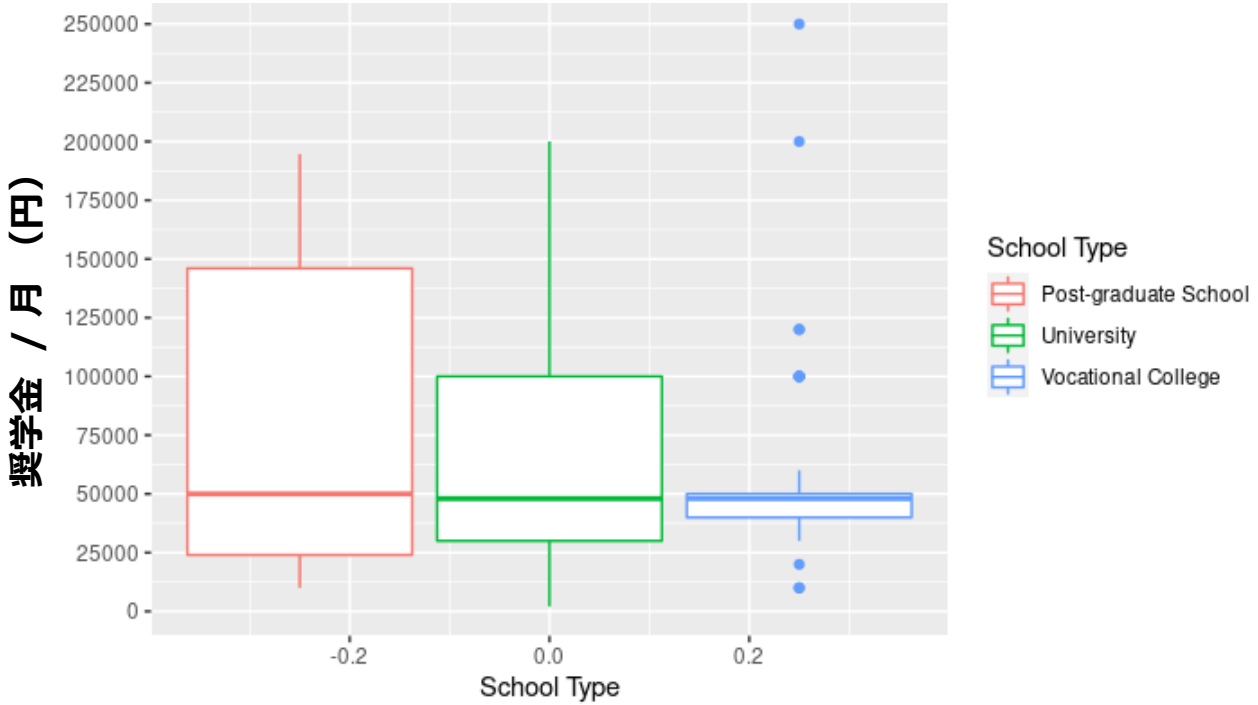
奨学金による収入　（中国：N = 115、 ベトナム：N = 68）



平均的に中国人がもらう奨学金の金額とベトナム人がもらう奨学金の金額には統計的に有意な差がある。

奨学金について　（校種別）

奨学金による収入　（大学院：N = 95、 大学：N = 124、 専門学校: N = 50）



奨学金をもらっている専門学校生の割合に少なく、もらっている金額の幅（range)が低いので、奨学金の種類の選択肢が少ないのかもしれない。

奨学金をもらっている大学・大学院生が割合に多く、幅広い金額をもらっているので、大学・大学院生がもらえる奨学金の種類が様々だと思われる。

大学院

	奨学金の金額
25パーセンタイル	24,000円
中央値	50,000円
平均値	77,948円
75パーセンタイル	146,000円

N = 95

奨学金	回答者数	割合
あり	124	49%
なし	162	51%

N = 194

大学

	奨学金の金額
25パーセンタイル	30,000円
中央値	48,000円
平均値	66,375円
75パーセンタイル	100,000円

N = 124

奨学金	回答者数	割合
あり	124	43%
なし	162	57%

N = 286

専門学校

	奨学金の金額
25パーセンタイル	40,000円
中央値	48,000円
平均値	58,220円
75パーセンタイル	50,000円

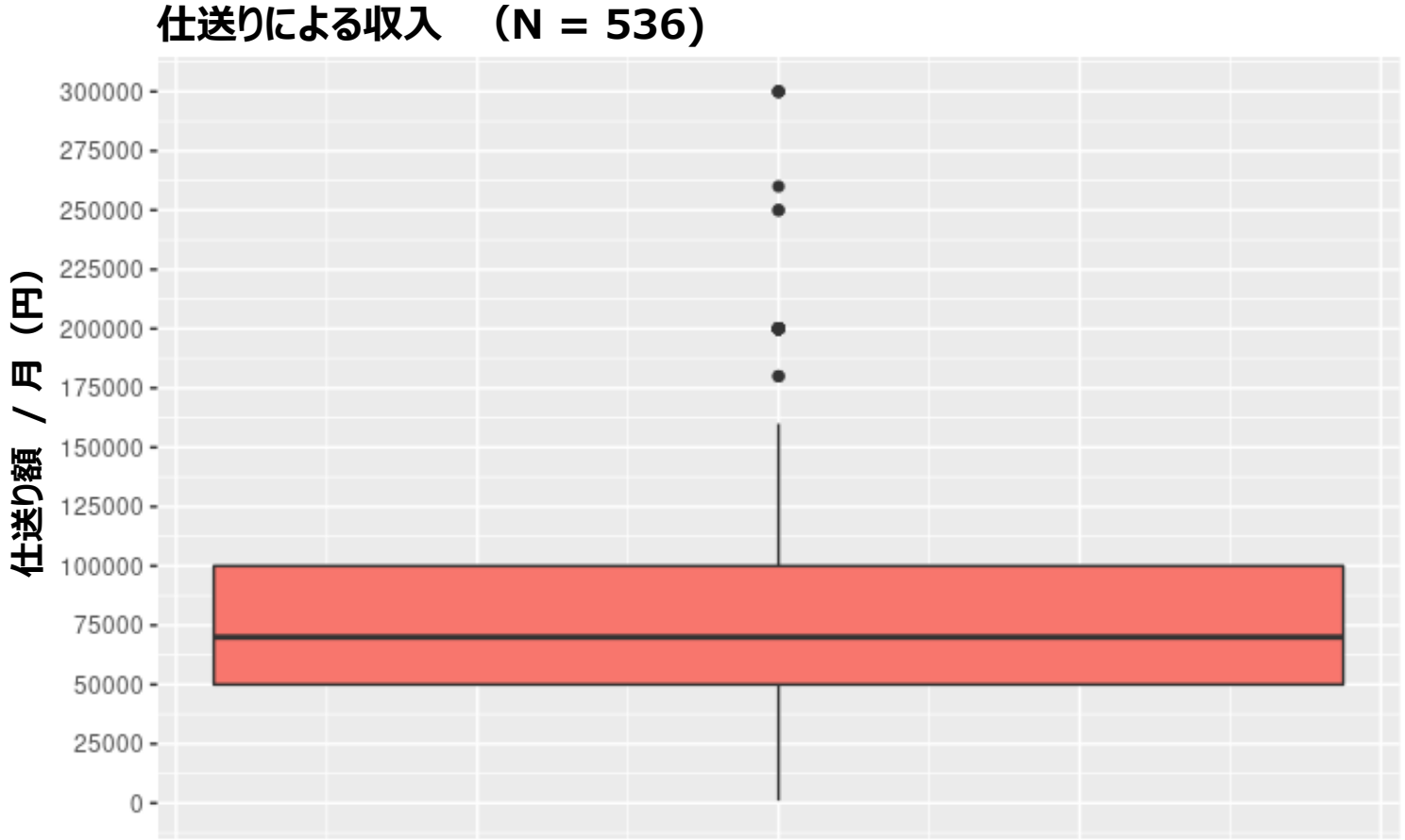
N = 50

奨学金	回答者数	割合
あり	50	30%
なし	114	70%

N = 164

仕送りについて

仕送りをもらっている回答者の割合：72%（536/741）

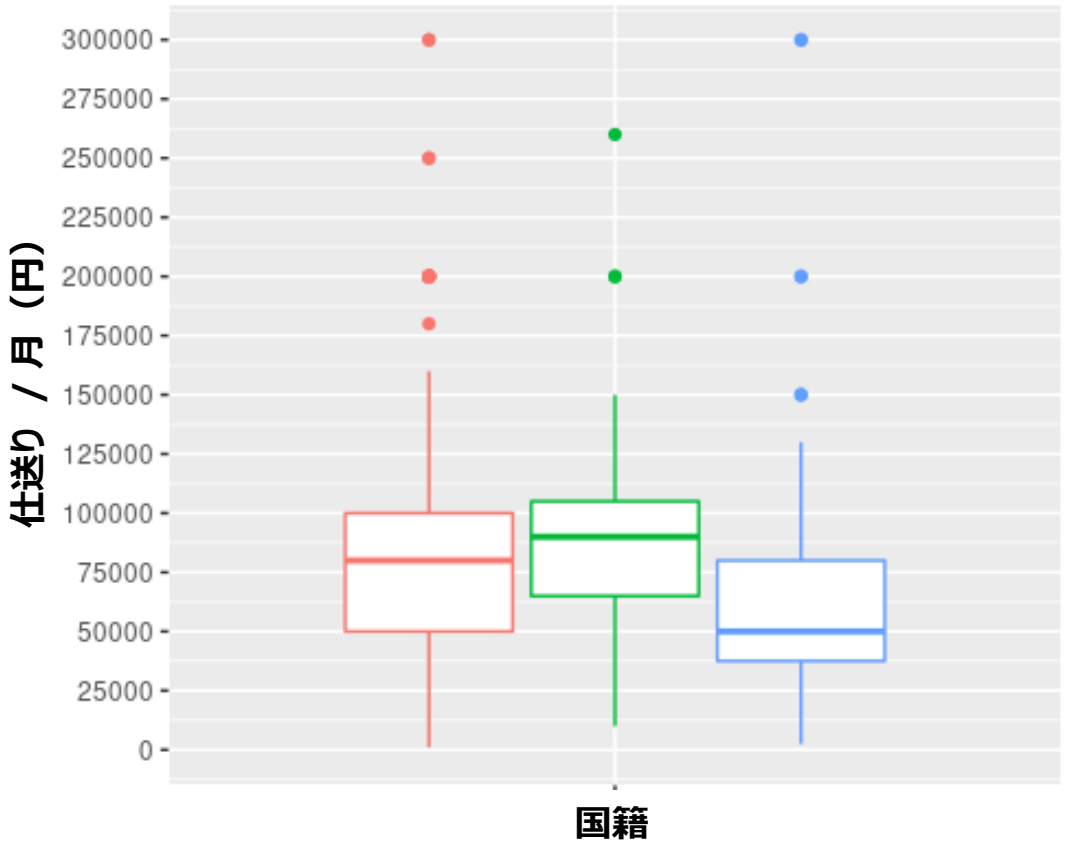


	仕送り額
25パーセンタイル	50,000円
中央値	70,000円
平均値	88,306円
75パーセンタイル	100,000円

仕送りをもらっている回答者の中で、真ん中の50%は5万円から10万円を毎月もらっている。

仕送りについて　（国別）

仕送りによる収入　（中国：N = 311、 ベトナム：N = 96、 韓国：　N = 47）



中国

	仕送り額
25パーセンタイル	50,000円
中央値	80,000円
平均値	86,512円
75パーセンタイル	100,000円

N = 311

仕送り	回答者数	割合
あり	311	82%
なし	68	18%

N = 379

韓国

	仕送り額
25パーセンタイル	65,000円
中央値	90,000円
平均値	144,532円
75パーセンタイル	105,000円

N = 47

仕送り	回答者数	割合
あり	47	78%
なし	13	22%

N = 60

ベトナム

	仕送り額
25パーセンタイル	37,500円
中央値	50,000円
平均値	68,672円
75パーセンタイル	80,000円

N = 96

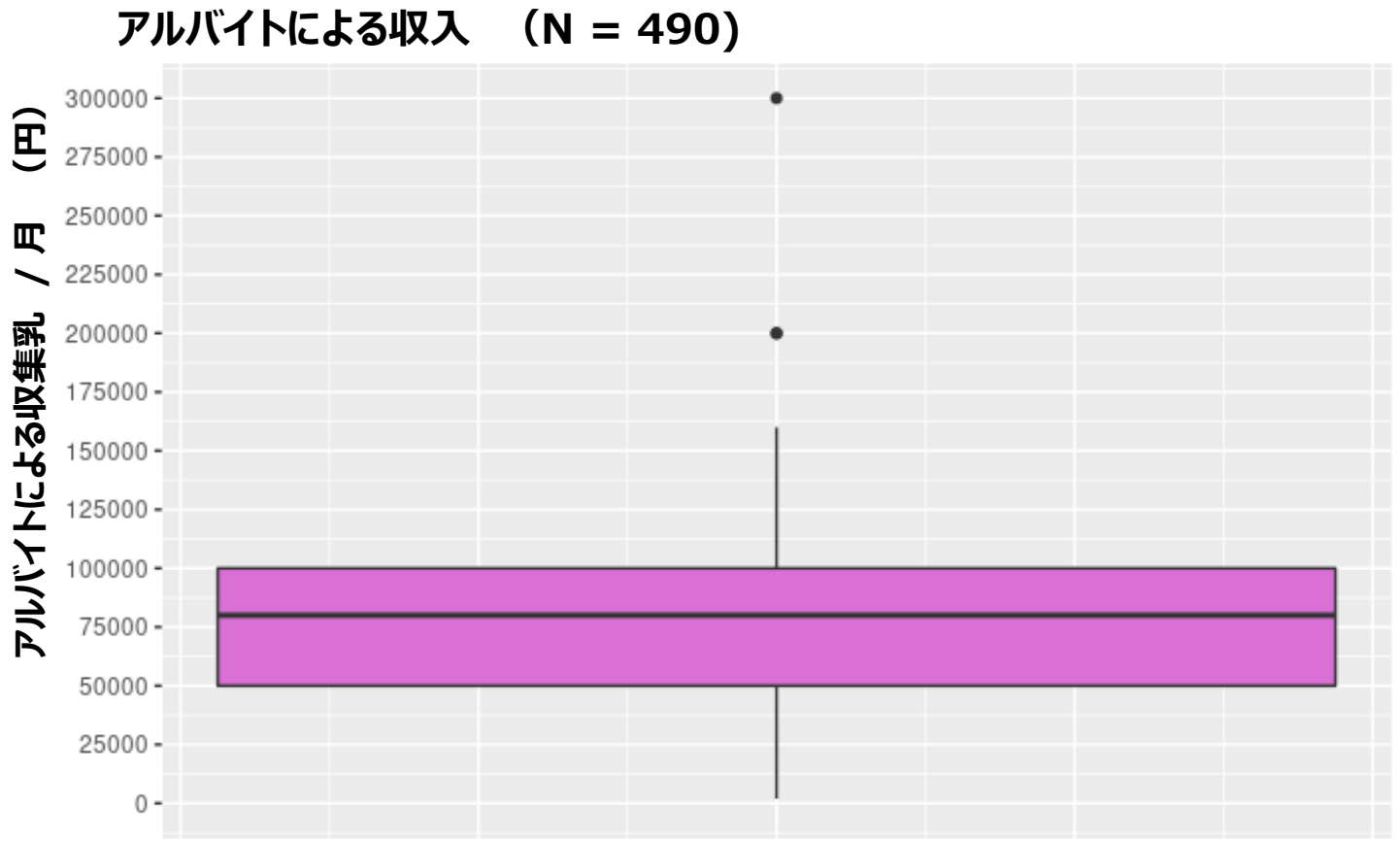
仕送り	回答者数	割合
あり	96	62%
なし	59	38%

N = 155

中国と韓国の留学生と比べると、ベトナム人留学生の仕送り額は低い。また、仕送りを受け取っている割合も62%と低い。

アルバイトについて

アルバイトでお金を稼いでいる回答者の割合：63%（490/778）



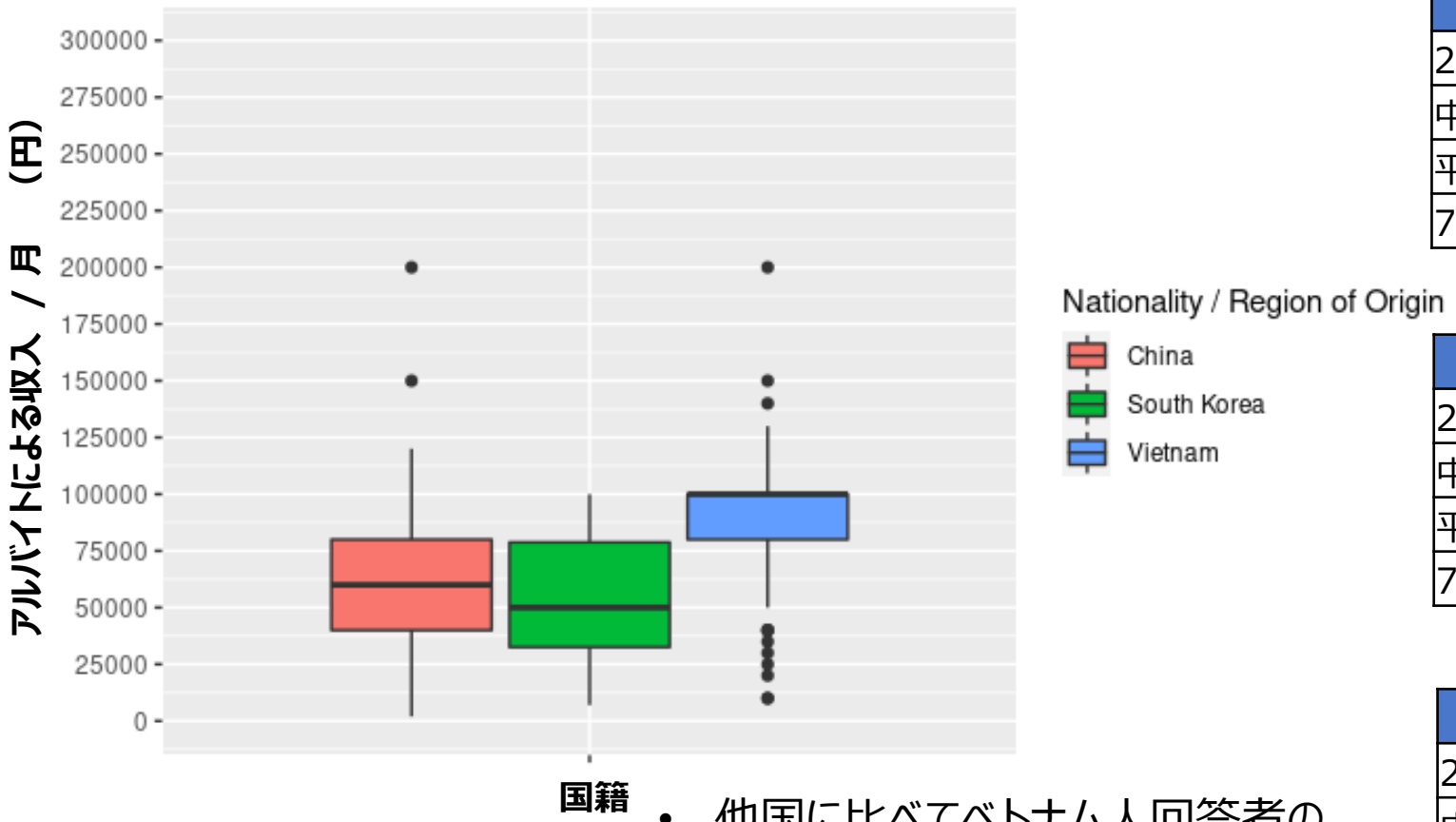
	アルバイトの収入
25パーセンタイル	50,000円
中央値	80,000円
平均値	80,720円
75パーセンタイル	100,000円

アルバイトでお金を稼いでいる回答者の中で、真ん中の50%は5万円から10万円を毎月収入としてもらっている。

アルバイトをしている留学生は平均に約8万円を稼いでいる。

アルバイトについて　（国別）

アルバイトによる収入　（中国：N = 215、 ベトナム：N = 145、 韓国：　N = 34）



- 他国に比べてベトナム人回答者の95%はアルバイトをしている。
- 今後、働いている時間及びアルバイトの職種についてさらに調査すると良い。

中国

	アルバイト収入
25パーセンタイル	40,000円
中央値	60,000円
平均値	67,740円
75パーセンタイル	80,000円

N = 215

アルバイト	回答者数	割合
あり	235	63%
なし	140	37%

N = 375

韓国

	アルバイト収入
25パーセンタイル	32,500円
中央値	50,000円
平均値	91,672円
75パーセンタイル	78,750円

N = 34

アルバイト	回答者数	割合
あり	40	69%
なし	18	31%

N = 68

ベトナム

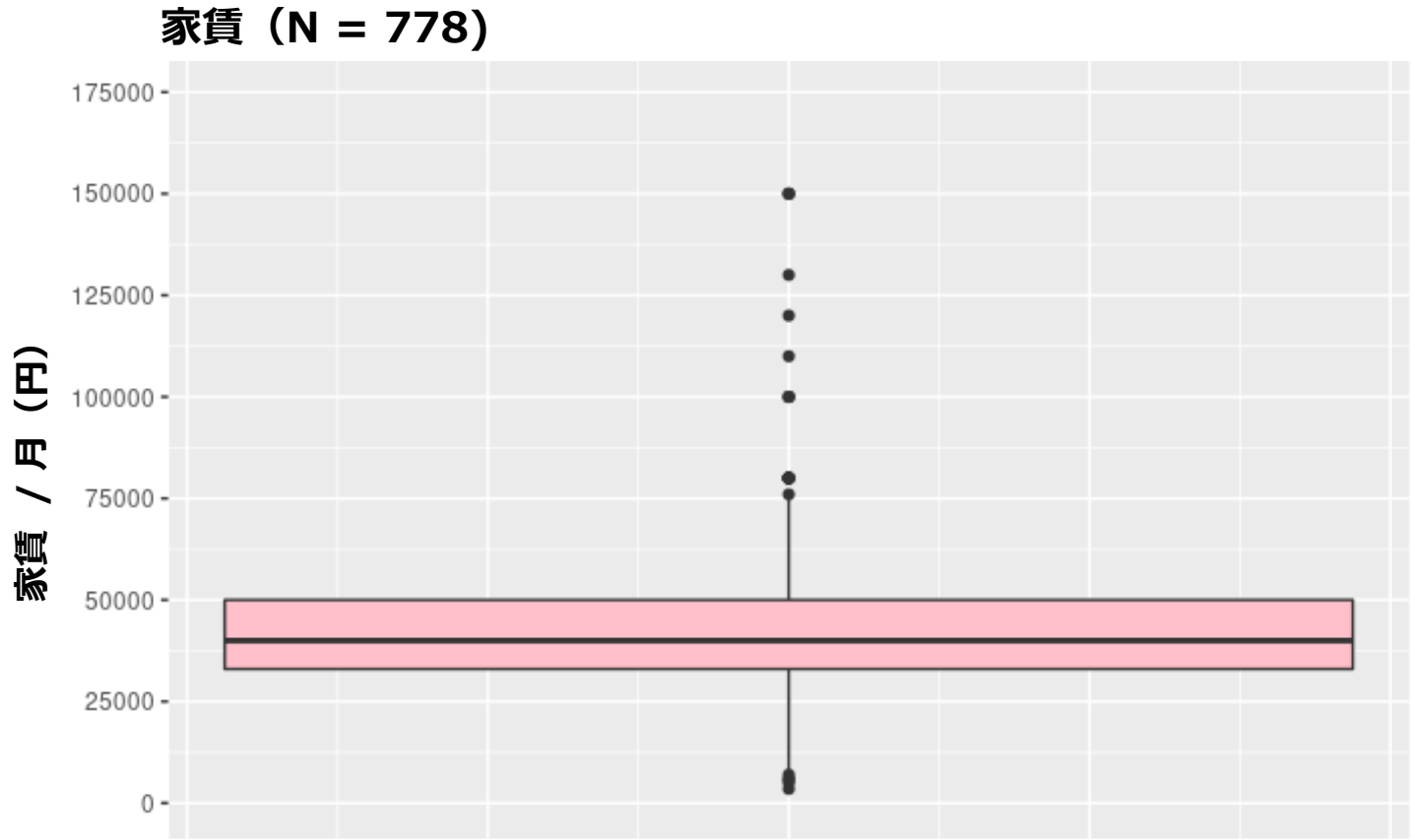
	アルバイト収入
25パーセンタイル	77,500円
中央値	100,000円
平均値	96,724円
75パーセンタイル	100,000円

N = 145

アルバイト	回答者数	割合
あり	164	95%
なし	8	5%

N = 172

家賃について

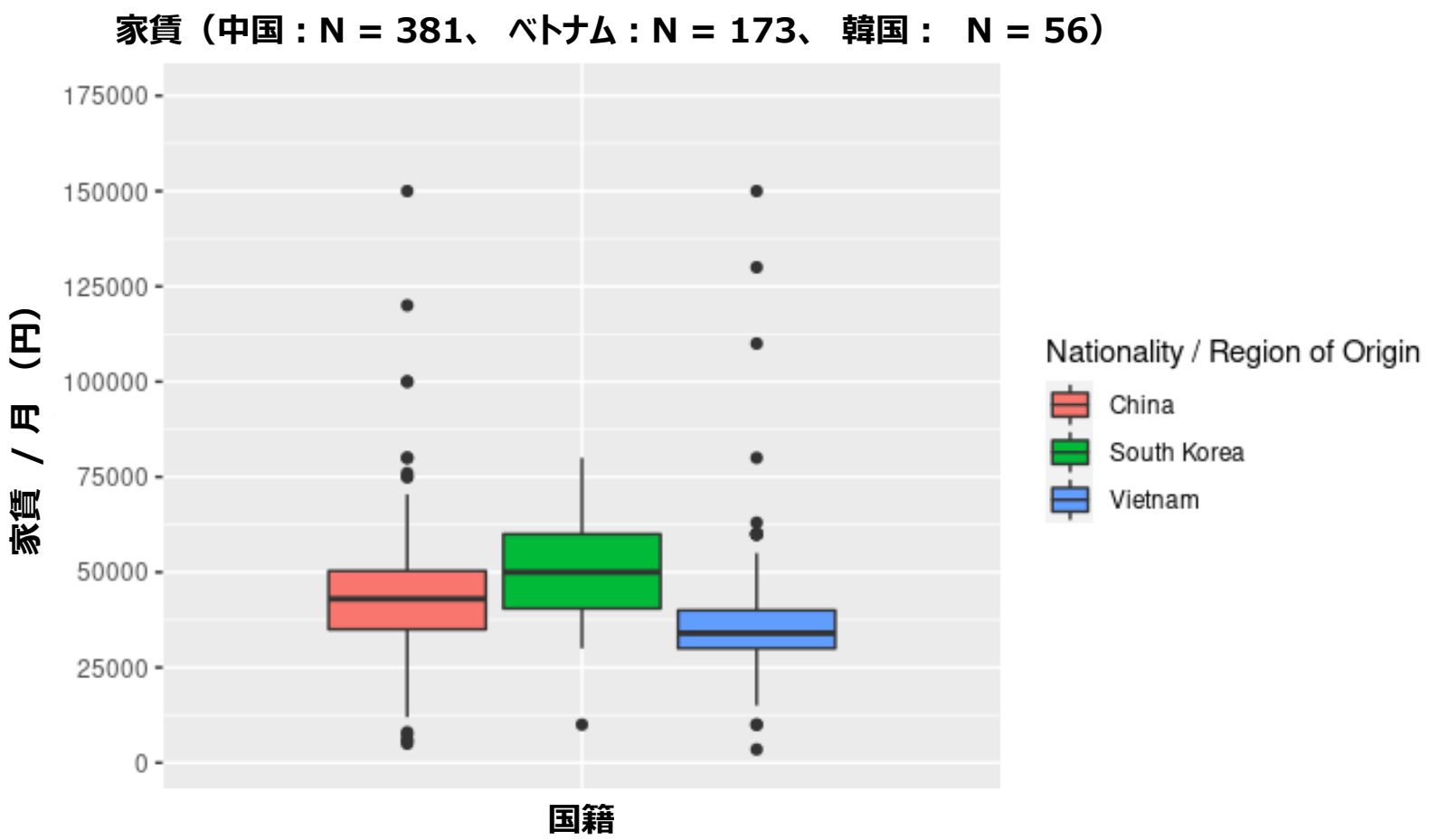


	家賃
25パーセンタイル	33,000円
中央値	40,000円
平均値	44,618円
75パーセンタイル	50,000円

回答者の真ん中の50%は３万3千円から5万円まで毎月家賃として支出している。

留学生が払っている家賃の金額について、あまり大きな幅がない。
留学希望者向けに平均の家賃はいくらかポータルサイトで示した方が良い。東京や京都などの都市の事情についてのデータもあれば良い。

家賃について　（国別）



ベトナム留学生の家賃が若干他より低い。経済的に苦しいベトナム人留学生だからかもしれない。

中国

	家賃
25パーセンタイル	35,000円
中央値	43,000円
平均値	45,900円
75パーセンタイル	50,350円

N = 381

韓国

	家賃
25パーセンタイル	40,450円
中央値	50,000円
平均値	59,569円
75パーセンタイル	60,000円

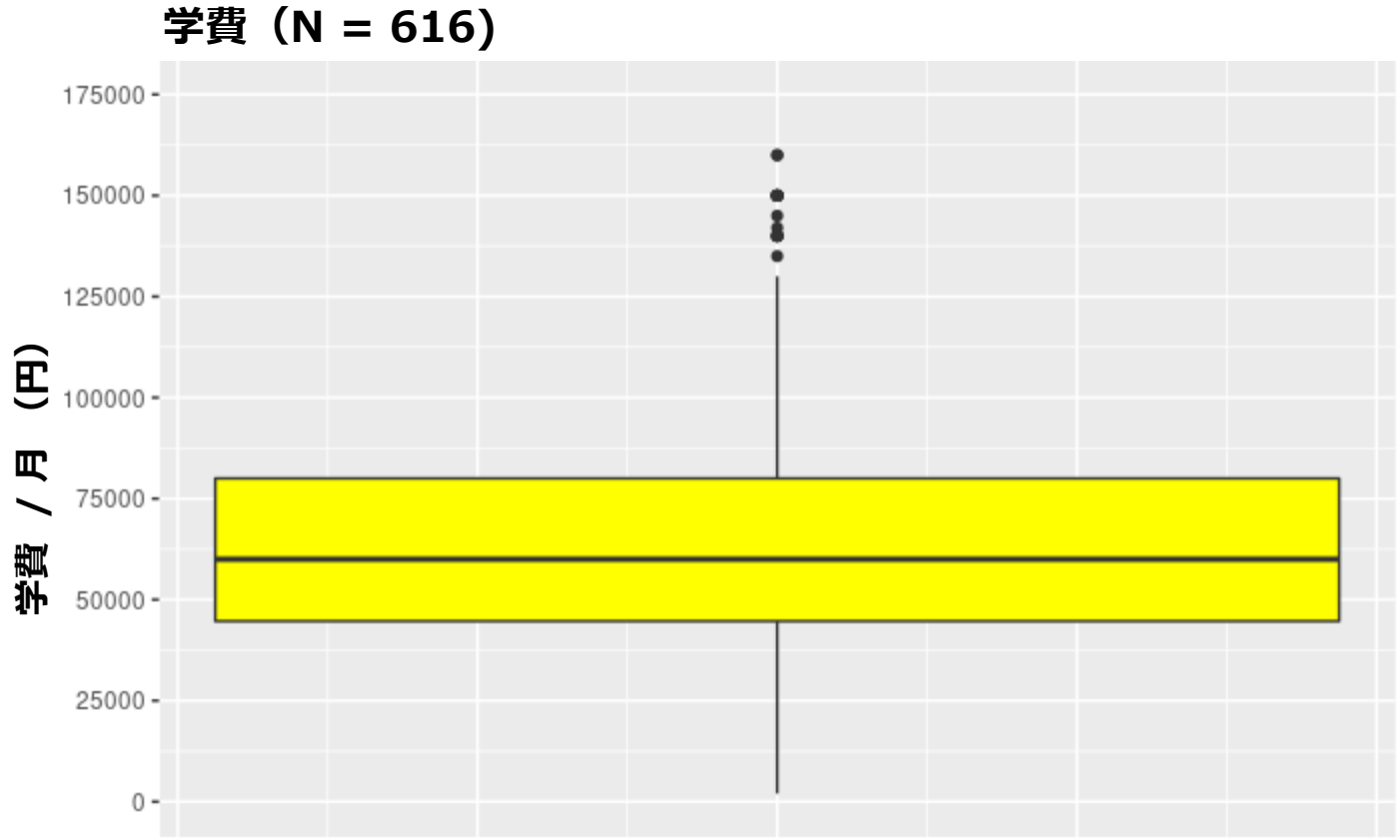
N = 56

ベトナム

	家賃
25パーセンタイル	30,000円
中央値	34,000円
平均値	37,592円
75パーセンタイル	40,000円

N = 173

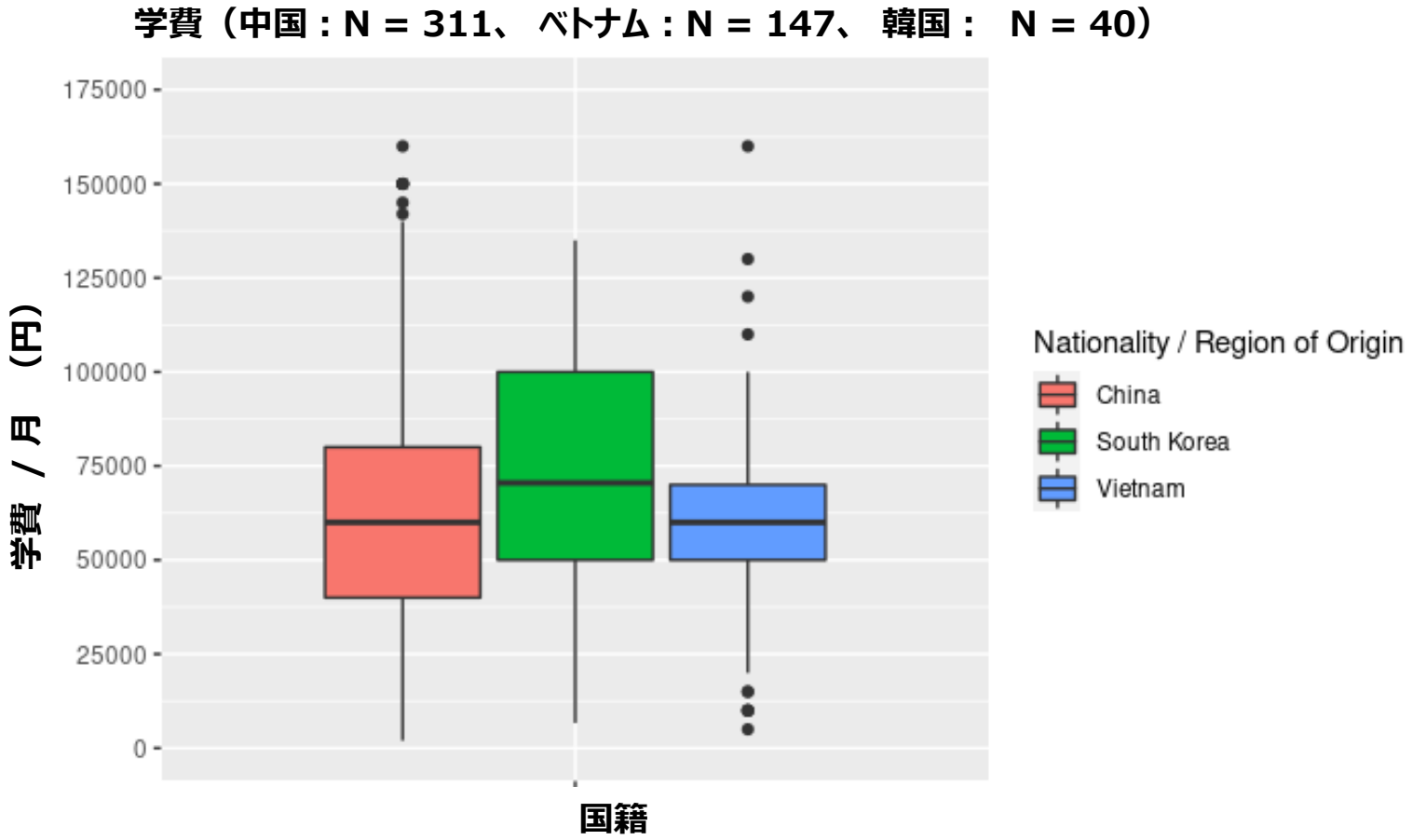
学費について



	学費
25パーセンタイル	44,680円
中央値	60,000円
平均値	75,482円
75パーセンタイル	80,000円

回答者の真ん中の50%は約4万5千円から8万円まで毎月学費にお金をかけている。

学費について　（国別）



出身地よりも、通っている学校の種類や勉強している分野の方が影響あると思われる。

中国

	奨学金の金額
25パーセンタイル	40,000円
中央値	60,000円
平均値	67,632円
75パーセンタイル	80,000円

N = 311

韓国

	奨学金の金額
25パーセンタイル	50,000円
中央値	70,500円
平均値	97,236円
75パーセンタイル	100,000円

N = 40

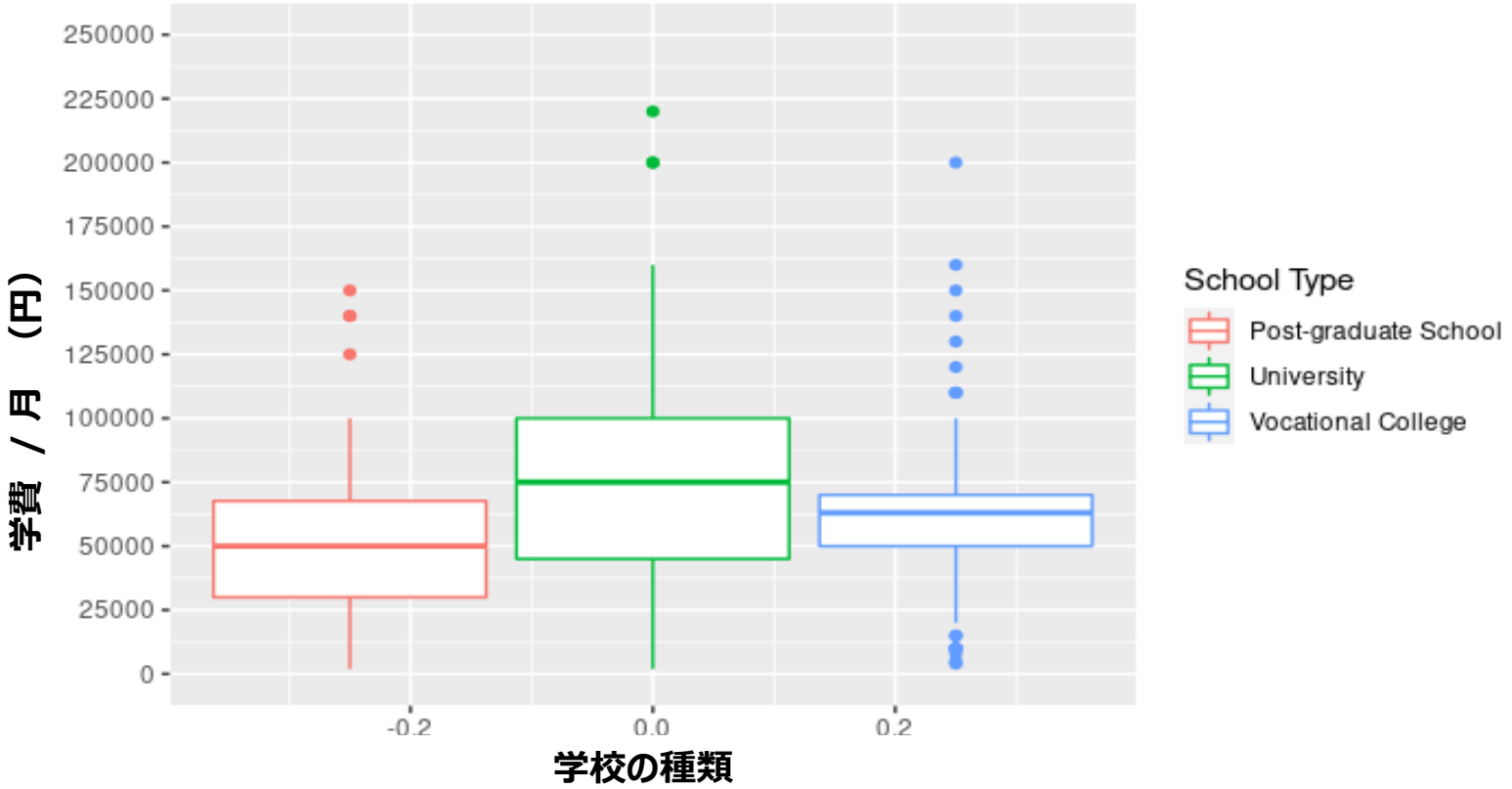
ベトナム

	奨学金の金額
25パーセンタイル	50,000円
中央値	60,000円
平均値	78,718円
75パーセンタイル	70,000円

N = 147

学費について　（校種別）

学費（大学院：N = 142、 大学：N = 235、 専門学校： N = 167）



大学院

	学費
25パーセンタイル	30,000円
中央値	50,000円
平均値	52,659円
75パーセンタイル	67,666円

N = 142

大学

	学費
25パーセンタイル	45,000円
中央値	75,000円
平均値	88,969円
75パーセンタイル	100,000円

N = 235

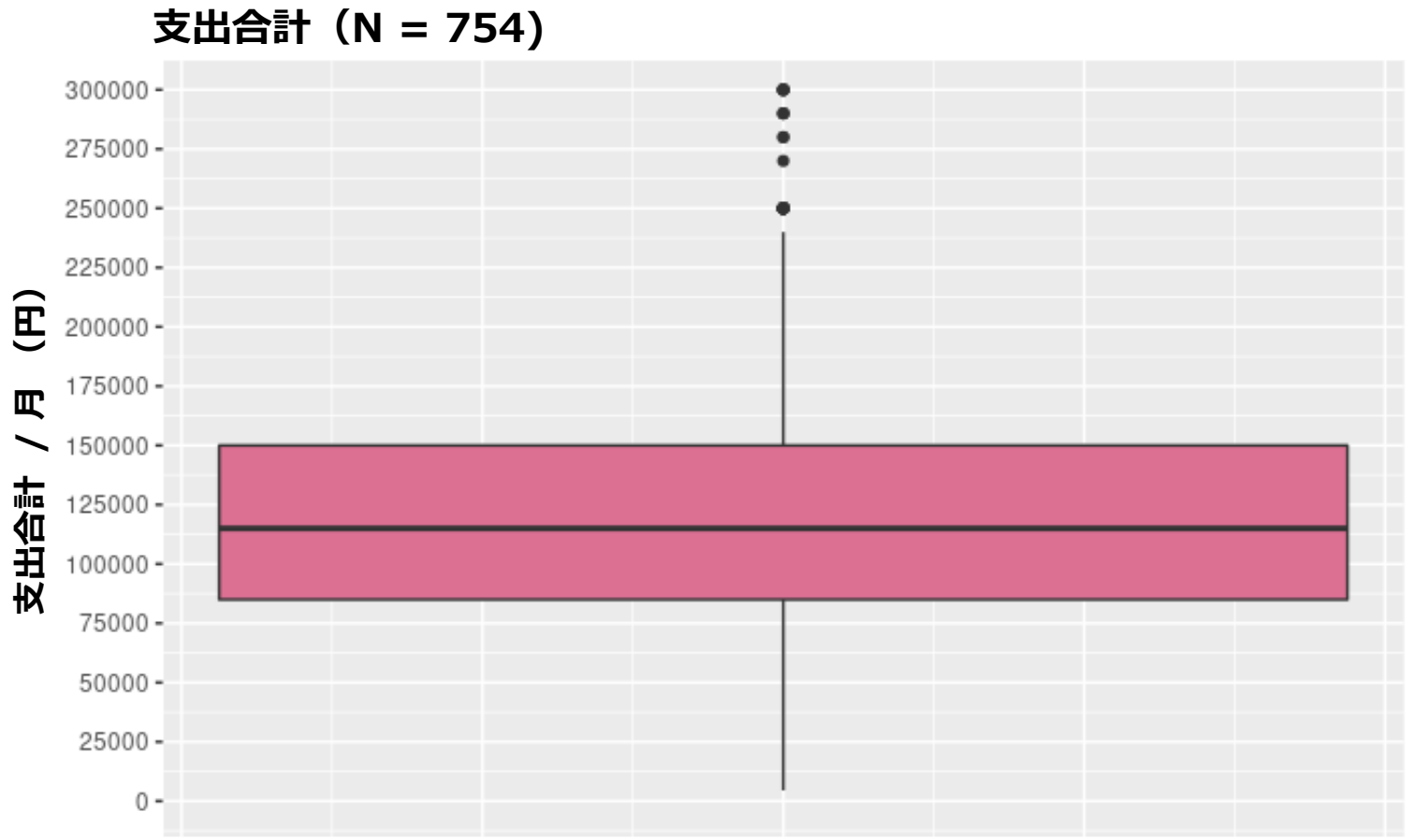
専門学校

	学費
25パーセンタイル	50,000円
中央値	63,000円
平均値	74,398円
75パーセンタイル	70,000円

N = 167

- 大学による学費の方が幅(range)が広い。
- 専門学校の学費幅が小さいのは、多くの学校が同程度の学費を求めていると思われる。
- 学校の種類だけではなく、科目別の学費について今度調査する余地がある

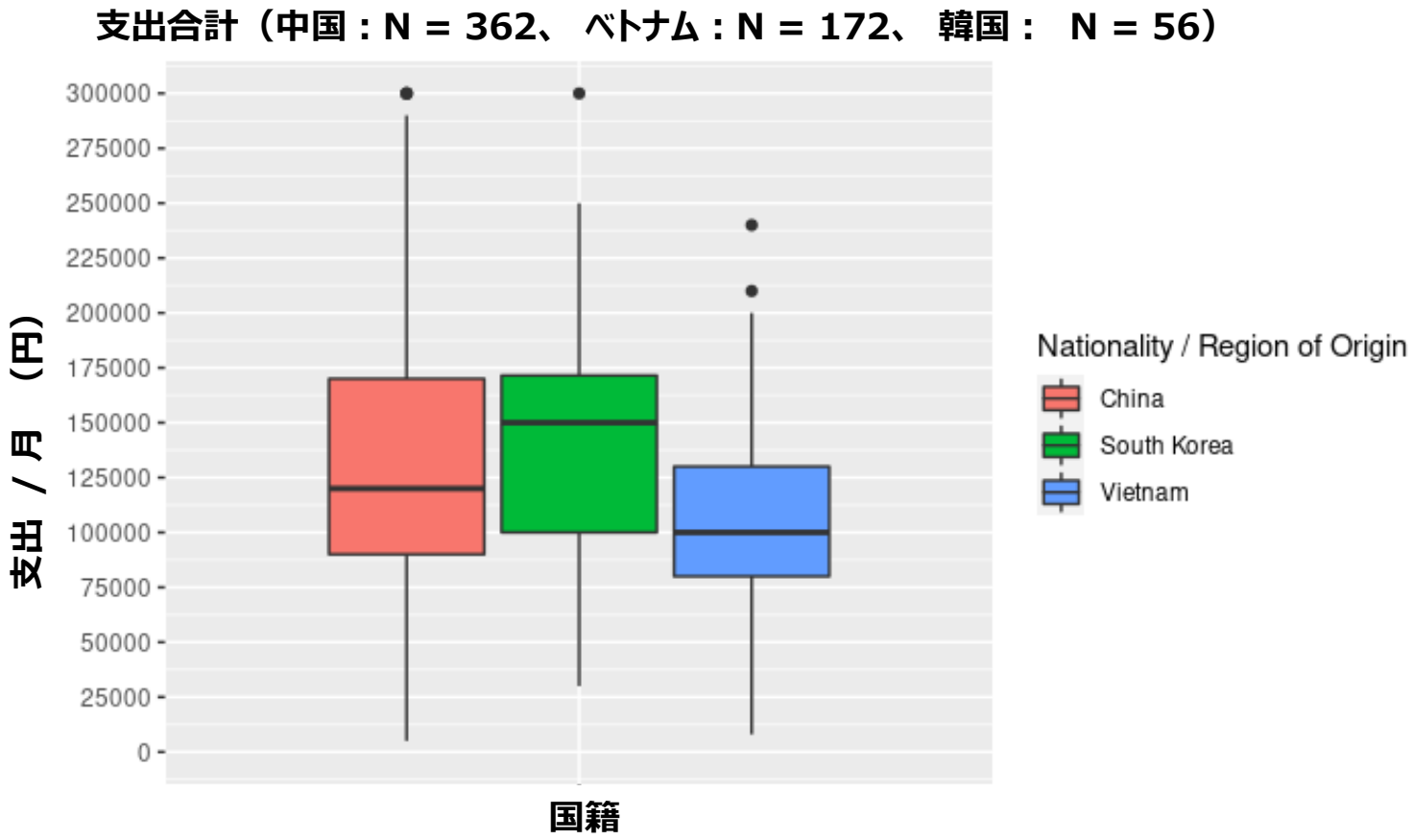
支出合計について



	支出合計
25パーセンタイル	85,000円
中央値	115,000円
平均値	141,541円
75パーセンタイル	150,000円

回答者の真ん中の50%は8万5千円から15万円まで毎月支出している。

支出合計について　（国別）



中国

	奨学金の金額
25パーセンタイル	90,000円
中央値	120,000円
平均値	147,204円
75パーセンタイル	170,000円

N = 362

韓国

	奨学金の金額
25パーセンタイル	100,000円
中央値	150,000円
平均値	218,060円
75パーセンタイル	171,500円

N = 56

ベトナム

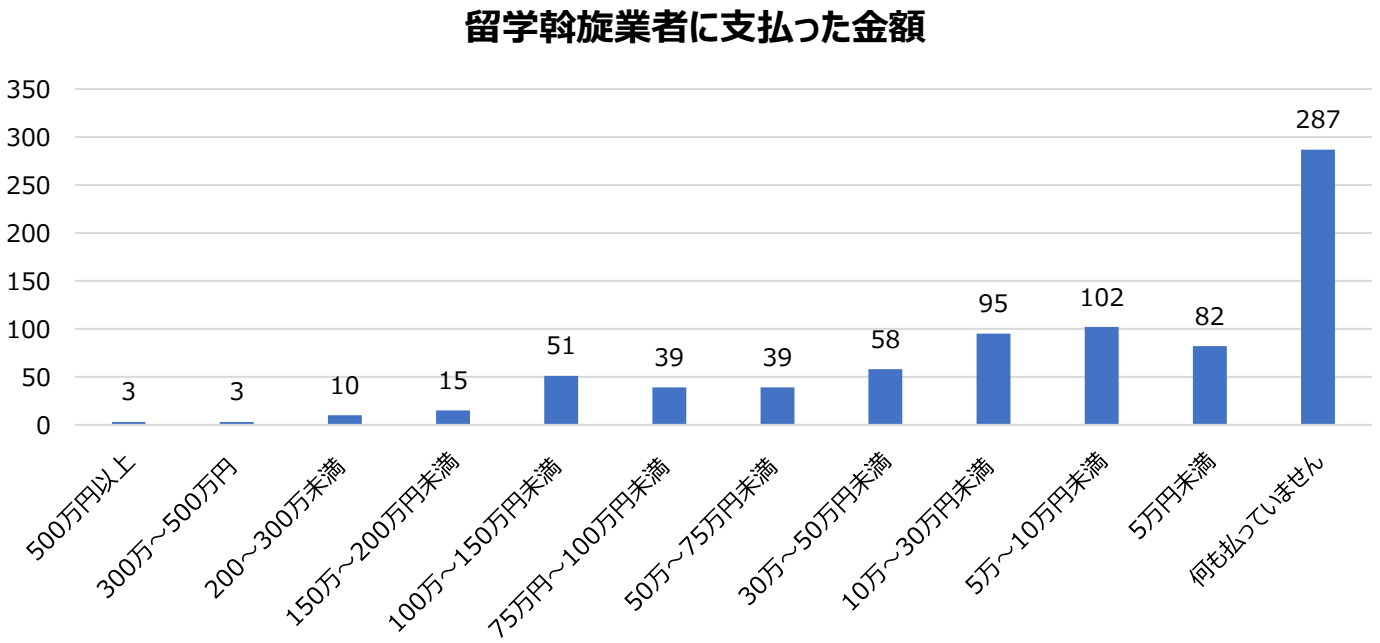
	奨学金の金額
25パーセンタイル	80,000円
中央値	100,000円
平均値	107,820円
75パーセンタイル	130,000円

N = 172

- それぞれの国の留学生による合計支出は重なっているrangeはあるが、中央値及び平均値がかなり違う。韓国＞中国＞ベトナム

留学斡旋業者への支出

Q. 日本に留学する前に留学斡旋業者に支払った金額はだいたいいくらですか



- 63%の回答者は留学斡旋事業者にお金を払っている。
- 25%の回答者は5万円～30万円を留学斡旋事業者に払っている。

支払金額	回答者数	割合
500万円以上	3	0%
300万～500万円	3	0%
200～300万未満	10	1%
150万～200万円未満	15	2%
100万～150万円未満	51	7%
75万円～100万円未満	39	5%
50万～75万円未満	39	5%
30万～50万円未満	58	7%
10万～30万円未満	95	12%
5万～10万円未満	102	13%
5万円未満	82	10%
何も払っていません	287	37%

N = 784

留学斡旋業者への支出　（国別）

中国

支払金額	回答者数	割合
500万円以上	1	0%
300万～500万円	2	1%
200～300万未満	5	1%
150万～200万円未満	4	1%
100万～150万円未満	15	4%
75万円～100万円未満	15	4%
50万～75万円未満	18	5%
30万～50万円未満	34	9%
10万～30万円未満	58	15%
5万～10万円未満	50	13%
5万円未満	47	12%
何も払っていません	130	34%

N = 446

ベトナム

支払金額	回答者数	割合
500万円以上	1	1%
300万～500万円	1	1%
200～300万未満	4	2%
150万～200万円未満	6	3%
100万～150万円未満	28	16%
75万円～100万円未満	16	9%
50万～75万円未満	16	9%
30万～50万円未満	10	6%
10万～30万円未満	20	12%
5万～10万円未満	22	13%
5万円未満	16	9%
何も払っていません	32	19%

N = 193

韓国

支払金額	回答者数	割合
500万円以上	0	0%
300万～500万円	0	0%
200～300万未満	1	2%
150万～200万円未満	1	2%
100万～150万円未満	0	0%
75万円～100万円未満	0	0%
50万～75万円未満	0	0%
30万～50万円未満	2	3%
10万～30万円未満	4	7%
5万～10万円未満	6	10%
5万円未満	5	8%
何も払っていません	40	68%

N = 64

- ベトナム人留学生の81%は留学斡旋事業者に払って、来日している。その23%は100万円以上払っている実態がわかった。
- 中国とベトナムに比べて、韓国人は留学斡旋事業者を使う傾向があまりない。

留学斡旋業者への支出　（校種別）

大学

支払金額	回答者数	割合
500万円以上	0	0%
300万～500万円	1	0%
200～300万未満	6	2%
150万～200万円未満	6	2%
100万～150万円未満	14	5%
75万円～100万円未満	7	2%
50万～75万円未満	14	5%
30万～50万円未満	20	7%
10万～30万円未満	38	13%
5万～10万円未満	46	15%
5万円未満	30	10%
何も払っていません	120	40%

N = 302

大学院

支払金額	回答者数	割合
500万円以上	1	1%
300万～500万円	1	1%
200～300万未満	1	1%
150万～200万円未満	2	1%
100万～150万円未満	1	1%
75万円～100万円未満	7	4%
50万～75万円未満	9	5%
30万～50万円未満	16	8%
10万～30万円未満	23	12%
5万～10万円未満	14	7%
5万円未満	20	10%
何も払っていません	105	53%

N = 200

専門学校

支払金額	回答者数	割合
500万円以上	1	1%
300万～500万円	1	1%
200～300万未満	2	1%
150万～200万円未満	6	3%
100万～150万円未満	30	16%
75万円～100万円未満	20	11%
50万～75万円未満	14	7%
30万～50万円未満	13	7%
10万～30万円未満	20	11%
5万～10万円未満	26	14%
5万円未満	17	9%
何も払っていません	40	21%

N = 190

日本語学校

支払金額	回答者数	割合
500万円以上	1	1%
300万～500万円	1	1%
200～300万未満	1	1%
150万～200万円未満	6	7%
100万～150万円未満	5	6%
75万円～100万円未満	2	2%
50万～75万円未満	9	10%
30万～50万円未満	13	15%
10万～30万円未満	16	18%
5万～10万円未満	14	16%
5万円未満	21	24%
何も払っていません	1	1%

N = 89

- 日本語学校に通っている99%の留学生は留学斡旋事業者にお金を払って来日している。

留学生の収支　まとめ

項目	結果
奨学金（月）	33%の回答者しか奨学金をもらっていない 中央値：48,000円　　平均値：66,919円
仕送り（月）	72%の回答者は仕送りをもらっている 中央値：70,000円　　平均値：88,306円
アルバイト（月）	63%の回答者はアルバイトをしている 中央値：80,000円　　平均値：80,720円
家賃（月）	中央値：40,000円　　平均値：44,618円
学費（月）	中央値：60,000円　　平均値：75,482円
支出合計（月）	中央値：115,000円　平均値：141,541円

VIII

質問項目

質問項目①

質問内容	回答
ナマエ：	自由記入
メールアドレス：	自由記入
性別：	男、女、その他
出身国・地域：	（別紙から選択）
今通っている教育機関の種類：	大学、大学院、専門学校、日本語学校（日本語学科）
今通っている学校の名前：	自由記入
出身国・地域の最終学歴：	高校卒業、大学卒業、大学院卒業、その他
留学生として日本に来て何年が経つのか：	1年未満、1年～2年未満、2年～3年未満、3年～4年未満、4年～5年未満、5年～6年未満、6年以上

質問項目②

質問内容	回答
日本語能力に関する資格を何ですか	N1、N2、N3、N4、N5、取得していない
悩み事について • 日本語のこと • 住居のこと • 進路（就職や進学）のこと • 経済的なこと • 学校のこと • Social life(友人関係、近隣の人たちなど）のこと	困っている ⇔ 困っていない
上の悩み事に対して、あればよいと思う支援は何ですか	自由記入
大阪での留学に関しては全体的にどのぐらい満足していますか	かなり満足、まま満足、普通、少し不満、かなり不満
コロナ支援に関してどのぐらい満足していますか	かなり満足、まま満足、普通、少し不満、かなり不満

質問項目③

質問内容	回答
卒業後、日本で就職したいですか	はい（内定済みも含む）、いいえ、日本で就職したいのか就職したくないのかまだ決めていません
どのような企業に入りたいですか。	日本の企業、外資企業、 日本で起業したい
就職活動中ですか	はい、 いいえ、内定済み
就労に関して、苦労している（苦労した）ことは何ですか？	日本語、 面接方法、 エントリーのやり方、 適正検査、 就職試験、 その他（記述してください）
Study in Osaka （www.studyinosaka.com）という留学生向けのポータルサイトを知っていますか	見たことがある、知っているが見たことはない、知らない
「留学生支援コンソーシアム大阪」という組織を知っていますか。	よく知っている、 聞いたことはあるがよくわからない、知らない
このロゴマークを見たことがありますか。（OGSANのロゴマーク）	見たことがない、見たことがあるが、よく分からない、見たことがあり、その組織を知っている、見たことがあり、すでにその組織に入っている

質問項目④

質問内容	回答
他の留学生とのネットワーキングおよび交流をしたいですか。	はい、いいえ
奨学金は月平均いくらですか？	自由記入
自国からの仕送りは月平均（円）いくらですか？	自由記入
アルバイト収入は月平均（円）いくらですか？	自由記入
家賃（シェアハウスの場合は1人分）は月平均（円）いくらですか？	自由記入
授業料は月平均（円）いくらですか？	自由記入
すべての支出（家賃＋授業料＋食費＋その他の生活費）は月平均（円）いくらですか？	自由記入

質問項目⑤

質問内容	回答
日本に留学する前に留学斡旋業者に支払った金額はだいたいいくらですか？	何も払っていません、5万円未満、 5万～10万円未満、10万～30万円未満、 30万～50万円未満、50万～75万円未満、 75万円～100万円未満、100万～150万円未満、150万～200万円未満、200～300万未満、300万～500万円、500万円以上

留学生の現状調査
結果報告
2022年

留学生支援コンソーシアム大阪

調査期間：2021年12月7日　～　2022年1月15日